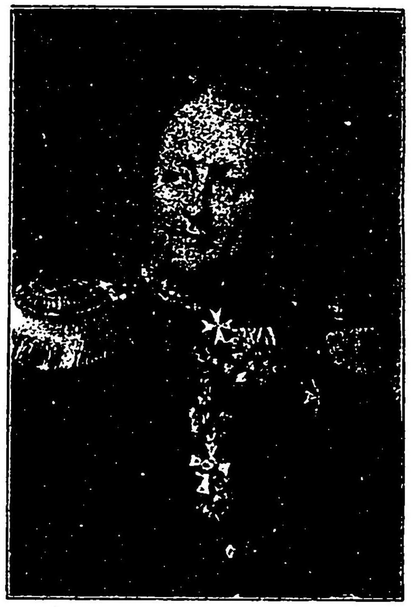
79
455

伯森警察事務

警察監獄學會校行

松井茂光著

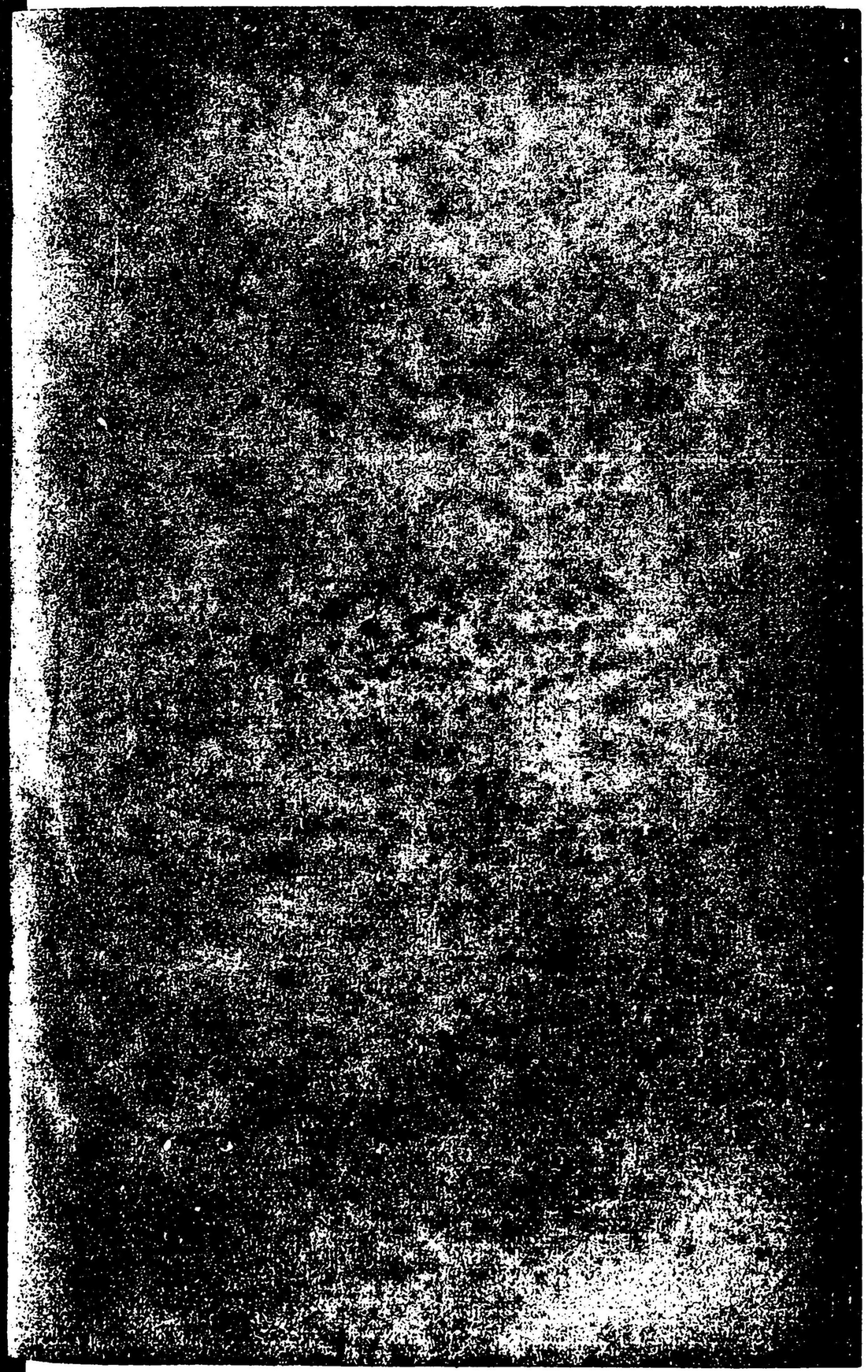
第三次警視總監
氏ンヘーホトヒリ



伯林警視廳創設ノ際ニ於ケル警視總監
氏ーデルケンロ

警察大尉
氏ンーヘ

第二次警視總監
氏ーデマ



千七百八十七年代ニ於ケル伯林警察未發達ノ狀態

千八百九十二年同盟罷工ノ際騎馬巡査暴擧鎭定ノ圖

79-455

序

余は常に謂へらく警察は國に依り時に依り其趣を異にするを
て之が研究は頗る難事に屬す然れども研究は一日も忽せにす
からず而して其最良方法は之を沿革に徴し其由て來る所を探究
するに如くはなしと

余曩に歐洲に遊ひ伯林警察の沿革を探り其今日の發達をなせる
の決して偶然に非さる所以を察し將來我邦の警察をして世界に
雄飛せしめむとするには須らく外國の沿革に徴し之を我國情に
稽へ以て施設せさるへからさるを感し歸朝後公務の閑を偸み本
書を著はし頃日警察監獄學會の請を容れ特に之か著作權を贈り
廣く世に公にすることゝなせり若し之に依り讀者に多少の裨益

明治
37 11 8
内交

を與へ我邦警察の進歩に資することを得は著者の大幸なり

此著は往年有松警保局長か外遊中特に交情を温められたる普國警察大尉「レユミツト」氏の伯林巡隊五十年史」を基礎とし余の渉獵せる諸書を參照に供したるものなり而して餘は外遊中終にレユミツト氏に面會するの機を得さりしも此書を著はすに當り深く同氏の勞を謝す

明治三十六年十一月廿七日

著者識す

警保局

伯林警察沿革史目次

第一章　緒言　（自一至六）

伯林警察ノ約期○フリードリヒ大王時代○騎馬巡査ノ設置○警視總監名稱ノ起源

第二章　巡査隊設立豫備時代　（千八百四十八年乃至千八百五十一年）　（自六至二〇）

市設保護委員○武裝市兵ノ設置○ミヌトリ警視總監ノ警察隊武裝否認說○巡査ノ名稱○巡査採用內規○パルデレーベン警視總監ノ巡査隊新組織ニ就キ人民ニ對スル告示○千八百四十八年ニ於ケル警官ノ俸給○伯林巡査必得○千八百四十八年八月暴徒蜂起シテ總理大臣邸ヲ襲ハントス○運河職工ノ一揆○勅令發布ニ依リ市兵ノ解散○千八百四十九年議會提出ノ豫算○巡査屯所暴民ノ襲撃ニ遭フ○巡査ハ軍人ヨリ之ヲ採用スルノ制○巡査隊指揮者クルベキ性格○伯林市外警察署ノ設立○執行警察官ノ分業○伯林巡査ノ員數ト人口ノ割合○市內ニ於ケル憲兵ノ廢止

第三章　確立的組織幷警察暑ノ行政權掌握時代ヨリフリードリヒ、ウイルヘルム王第四世ノ崩御ニ至ルマデ　（千八百五十一年乃至千八百六十二年）　（自二一至三二）

五方面ノ警察監督署○警察士官及巡査ノ任命權○千八百五十一年ニ於ケル

警察官吏ノ俸給○馬匹購入委員○巡査ノ服裝○警察大佐職務規程○巡査ノ準軍人タルベキ資格○パッケ警察大佐ノ軍隊的規律主義○伯林警察士官倶樂部○巡査隊ノ晩餐會○巡査隊ノ葬式規程○千八百五十三年ノ服制改革○陛下ノ巡査隊練習所行幸○巡査恩給制度ノ制定○巡査ノ敎科書○警視總監フオンヒンケルデー氏決鬪死ニ至ル○ヒンケルデー警視總監ノ功蹟○巡査ノ恩給証書取得權○千八百五十九年六月ノ職工暴動

第四章　千八百七十一年ニ於ケル普佛戰爭ノ平和ニ至ルマテ

（千八百六十一年ヨリ千八百七十一年ニ至ルマテ）　自三三　至三七

千八百六十一年十月ノ警察大改良○千八百六十一年十月國王陛下即位紀念祭ニ於ケル機關職工ノ暴動○巡査ノ肩章番號○普佛戰爭時代ノ戰時警察

第五章　ウイルヘルム皇帝崩御ニ至ル迄ノ獨乙帝國首府トシテノ伯林

（千八百七十一年ヨリ千八百八十八年迄）　自三七　至五二

獨乙帝國首府トシテノ伯林○千八百七十二年七月二千八ノ暴徒蜂起○警視總監マダイ氏ノ就職○警察勤務ノ改革○千八百七十二年ニ於ケル巡査ノ俸給○警察屯所ヲ廢シ方面屯所ヲ設ク○警察署建設物ノ不完全○車体取締委員○巡査員數ト人口トノ割合○伯林警察士官ノ水曜士官會○市外警察署ノ

權限○千八百七十三年九月ノ勤務時間改正○警察官吏ト軍人トノ敬禮○千八百七十七年三月ノ土方職ノ暴動○千八百七十八年五月十一日ヨリ皇帝陛下ノ遭難未遂事件○同年六月三日ノ皇帝陛下ノ遭難事件○騎馬巡査ノ勤務時間○皇帝陛下ノ全快御還幸○千八百七十九年乃至八十年ノ巡査員數ノ豫算○巡査ノ欠員○鐵道停車場ノ巡査派出所○刑事巡査ノ創設○マダイ警視總監ノ五十年職務勤續祭○騎馬巡査ノ帶劍改造○日蝕觀覽ノ爲巡査ノ取締○千八百八十二年三月二十二日天長節ノ取締○千八百八十三年三月九日ウイルヘルム皇帝陛下崩御ニ就キ御土葬取締

第六章　フリードリヒ皇帝及ウイルヘルム第二世時代

（千八百八十八年乃至千九百一年）　自五三　至八九

フリードリヒ皇帝御即位ニ就キ各國帝王ノ御訪問○巡査本部新警視廳構内ニ移ル○多數集合ノ場合ニ於ケル交通取締上ノ草案○囚人護送馬車○千八百九十年ニ於ケル巡査ノ員數ト人口トノ割合○千八百九十二年二月ニ於ケル大暴動巡査志願者規程ノ改正千八百九十二年四月ニ於ケル巡査俸給別○千八百八十五年警察大尉ヘーン氏日本ニ聘セラレタル事蹟○ヘーン氏ノ碑文○日本ニ聘セラレタル巡査部長フイガスセウスキ氏ノ逝去○ヘーン氏ノ逝去○伯林警察嗣度ノ廢止○巡査ノ增員○巡査ノ欠員ニ伴ヒ巡査ノ恩給法

ノ改正○巡査ノ休暇○千八百九十四年三月クラウゼ氏巡査隊指令長ニ任セラル○巡査ノ教習○巡査部長ノ教習○巡査隊ノ人員○警視總監フォンリヒトホーフェン氏ノ逝去○ヲヒトホーフェン氏ノ人トナリ○千八百九十五年六月フォンウイインドハイム氏警視總監ノ職ニ就ク○觀艦式ノ取締○クラウゼ警察大佐ヲ殺害セント謀ル者アリ○クラウ警察大佐皇帝陛下ヨリ御見舞ノ御辭ヲ賜ハル○千八百九十六年ニ於ケル工業博覽會取締○劇場取締勤務○警察官救急方法ノ取締○故ウイルヘルム皇帝百年祭取締○千八百九十七年四月ノ警察士官俸給改正○千九百年ニ於ケルチールガルテン公園内ノ巡査派出所ノ新設○千九百年ニ於ケル巡査勤務方法ノ改正○千九百年ノ終期ニ於ケル巡査隊ノ病傷基金○巡査隊ノ恩給基金○巡査寡婦救濟基金○警察士官支出金庫○ホツプ氏基金○モール氏基金○マダイ警視總監基金○ヘノホ基金

第一　伯林巡査隊五十年祭　自一至二二

千八百九十八年六月十三日今上帝王陛下宮城内ニ巡査隊五十年祭ヲ行ハセラルヲ○巡査隊員ノ出場人員○軍樂隊ノ組織○祝典ニ參列シタル來賓○陛下ノ臨御○兵營教師ゲンス氏ノ祝辭○帝王陛下勅語○祝典ニ就キ内務大臣ニ賜ハリタル勅語○警視總監フォンウインドハイム氏ノ勅語ニ對スル奉答ノ辭○數千數萬皇城内ニ蓆ク○シミクト警察大尉伯林巡査隊沿革史ヲ奉呈スル○陛下御手ヅカラ人命救助章ヲ授與シ賜フ○祝典ノ終局○巡査隊士官祝宴會○來賓ノ演說○巡査隊祝典擧行ニ關スル報告事項○六月廿二日ノ御尊影拜賀式○警視總監フォンウインドハイム氏ノ答辭○各團俸祝典○五十年祭ノ紀念章○宮城内祝典ノ寫眞○著者ノ所感

第二　獨逸普魯西王國警察組織ニ就テ　自二三至二八

我日本ノ統一的警察制度ハ世界ニ冠タリ○普國ノ内務省○普國ノ州縣○州ノ制度○縣知事○州參事會及縣參事會○州及縣ノ警察令○郡警察○郡參事會○地方警察處分ニ對スル訴願○警視廳設立ノ場合○普國ニ於ケル警察ノ總數○警察官區○普國警察執行官ノ種類

第三　伯林警視廳組織ノ概要　自二一至三七

一般警察ト地方警察○伯林警視廳ニハ九部ノ設アリ○千八百三十七年二月十六日ノ官制○第一部ハ庶務事務其他保險劇場等ヲ取締ル○第二部甲ハ衛生獸畜社會改策當鍛救助事務等ヲ掌ル○第三部ハ建設警察ヲ掌ル○第四部ハ治安警察刑事警察風俗警察等ヲ掌ル○第五部ハ旅行券及外國人事件ヲ掌ル○第六部ハ違警罪ノ事件ヲ掌ル○第七部高等警察ヲ掌ル○勞働者ノ保險事務審査委員○會計事務人口調査

係官房○判任官ノ總數○技術的在區吏員○第八部トヲ稱スヘキ在區吏員○
巡査隊ノ職員○刑事警察執行官○高等警察執行官○第九部トモ稱スヘキ消
防部

伯林警察沿革史目次 終

第一章 緒言

伯林ノ警察ハ今ヤ世界中卓絶ナル警察組織ノ一ニ數ヘラレ我國ニ於テモ之レカ制度ヲ採用シタル點少ナシトセス左レハ玆ニ之カ沿革ノ大意ヲ叙述スルコトハ斯道ノ爲メニ裨益スル所少カラサルヘシト信ス故ニ余ハ之ヲ編年的ニ叙述シ其變遷ノ推移スル所ヲ探究セント欲ス讀者之ニ據リ試ニ我國ノ沿革ト對照センカ亦多少ノ興味ナシトセサルナリ

伯林警察制度ノ沿革ハ第十八世紀ノ初期ニ至ルマテハ官書ノ之ヲ徵スヘキモノ少ナク私人ノ著述ニ係ル僅少ノ書籍之ナキニ非スト雖モ纔カニ二三ノ警察法規ヲ記述スルニ過キサルモノニテ例ヘハ千五百十五年及ヒ千五百八十年ニ於ケル伯林及ヒけるんノ警察命令アルカ如シ

松井茂著

古代ニ於テハ各人ハ自己ノ利益ヲ防禦ノ襲撃ニ對シ自ラ之ヲ保護スルノ責任ア
リシカ漸次市ノ執行機關トシテ警察上ノ用ニ供セラレタルびゅってるト稱スル市
丁ハ現時ニ於ケル一種ノ巡査タルカ如キ職務ニ從事セリ又年所ヲ經ルニ從ヒ警
察及ヒ司法ノ間ニハ嚴格ナル區別ヲ生スルニ至レリ然リト雖モ今日ノ如キ文明
時代ノ意義ニ於ケル規律的警察組織ナルモノハ比較的近時ニ於テ發達シタルモ
ノナリ宗教上及ヒ風俗上ニ關スル法規ハ已ニ古代ニ於テ之カ規定ノ設ケアリテ
千五百四十年ノ命令ノ規定スル所ニ依レハ日曜日ハ終日之ヲ安息ノ用ニ供セサ
ルヘカラス殊ニ午前中ハ神祭ヲ擧行シ其間ハ當時諸所ニ設ケラレタル我國ノ所
謂見附門トモ稱スヘキモノハ之ヲ閉鎖セサルヘカラス但シ必要ナル旅行ノ目的
ニ出テタル場合ニ限リ市長ハ特ニ門衞ニ之ヲ開放スルノ許可權ヲ附與シタリ
十七世紀ノ初期ニ於テハ見附門ノ警衞ハ晝間ニ在リテハ一人ノ警衞長幷ニ三人
ノ番人ヨリ夜間ニ在リテハ伯林ニ於テハ十二人けるんニ於テハ九人ノ番人ヨリ
成立シ而シテ之等ノ番人ハ悉ク武裝シタルモノナリ
有名ナル三十年戰爭ノ爲メ伯林モ亦タ頗ル其災禍ヲ蒙リ人口ハ漸次減少シ諸所

ニ空屋ヲ生シ兵士ハ强盜ヲ行ヒ屢々市ノ安寧ヲ妨害セリ茲ニ於テ千六百三十六
年頃ニ於テハ伯林市ハ殊ニ夕刻等ニ於テハ安全ニ道路ヲ徘徊スルコト能ハスシ
テ生命上ノ危險ニ遭遇スルコトモ少ナカラス又殺人事件モ屢々發生シ當時ノ慣
習ニ依リ商工人等ハ帶劍シテ歩行セリト云ヲ
道路警察ハ當時清潔保持ノ點頗ル發達セサリシ所ニシテ住民ノ多クハ農業及牧
畜ノ業ニ從事シ肥料ハ家屋ノ前ニ之ヲ堆積シ運搬ヲ怠ルコト稀ナリトセス斯ク
ノ如キ狀況ニ迫ラレ千六百六十年八月十四日ニ於テハ當時ノ主權者トモ稱スヘ
キ大撰公クールヒユルスト)ノ許可ヲ以テ道路規則ノ設ケアリタリト云フ乞丐ノ
取締ノ爲メニハ殊ニ七人ノ街路監督官ヲ設ケ乞丐ハ之ヲ捕ヘ貧民係員ニ之ヲ引
渡スコトトナセリ
所謂交通警察ハ當時市民ヲ代表セル市場監督官ノ掌握スル所ニシテ市場巡視官
及ヒ市僕ハ市場監督官ノ指揮ノ下ニ立ツヘキモノナリ
警察監督官ハ市長ノ指揮ノ下ニ立チ日々警察上ノ事故報告ヲ爲スヘキモノニシ
テ其ノ位地ハ曾テ軍隊ノ士官タリシ者ヨリ之ヲ採用シ又數人ノ下士官之ニ從屬

スヘキモ、ノトス警察監督官ノ俸給ハ年俸百圓ニシテ其從屬者ハ參拾六圓ナリト
ス時世ノ進ムニ從ヒ警察吏員ノ數ハ不足ヲ告ゲ千七百三十五年ノ七月ニ於テ新
ニ二人ノ警部（ポリツアイマイステル）トモ稱スヘキ吏員ヲモ設クルニ至レリ而シテ此官ハ市場巡視員及
巡査ヲ監督（ポリツアイデーネル）スヘキモノニテ市長ノ直接指揮ノ下ニ立ツヘキモノナリ是レ即チ今
日ニ稱スル伯林執行警察官吏ノ濫觴ナリトス而シテ之等二人ノ警部ハ乘馬本分
ニシテ道路、市場、見附門等ヲ巡視スヘキモノニシテ一人ノ警部ニハ三人ノ巡査從
屬シ其中一人ハ常ニ警部ノ下ニ在リテ他ノ二人ハ警察署ノ監督ニ從事スヘキモ
ノトス當時伯林ハすぷれー河ヲ中心トシテ南北兩區劃ニ之ヲ分チ兩區劃ノ長タ
ル警部ハ毎年交代スヘキモノニシテ警部ノ俸給ハ一人年俸貳百圓ニシテ馬飼料
ハ別ニ之ヲ支給セス又巡査ハ四十八圓ノ年俸ヲ受クヘキモノナリ如斯ク俸給ハ
極メテ些少ナリト雖モ警察上ノ罰金等ハ之ヲ役得トシテ收入スヘキモノトス之
ヨリ漸次警察吏員ノ數モ增加シ市內ノ安寧保持ノ狀況モ稍ヤ見ルヘキモノアル
ニ至リ晝夜共ニ安全ニ道路ヲ徘徊スルコトモ容易ナルニ至レリ
千七百八十六年ニ於テふりーどりひ大王ノ崩御セラルルヤ其相續者ハ頗ル警察

ノ改善ニ意ヲ用ヒ千七百八十七年二月廿八日ニ於テ警察規則ヲ發シ其中ニハ路
上ニ於ケル喫煙禁止ノコトヲモ規定セリ當時巡査ノ數ハ僅カニ二十人ニシテ警
部ハ執行警察ノ直接長官タリ又放逸ナル婦女子ハ夏季ニ於テハ午後十一時以後
冬季ニ於テハ午後十時後ハ道路ノ徘徊ヲ禁セリ巡査ハ其三分ノ二丈ケハ除隊兵
ヨリ其三分ノ一ハ通常人ヨリ之レヲ採用セリ其他市ノ安寧ヲ維持スル爲メニ殊
ニ市大尉若干人ノ指揮ノ下ニ立テ二十四隊ヨリ成立セル護國兵（ビュルゲルヴェヤト）ノ組織アリ警
察官ノ俸給ハ警察監督官（ポリツアイインスペクトル）一人ハ年俸九百十一圓警部二人ハ各四百四十八圓ニシ
テ十八人ノ警部補（コムミーサリエン）ハ百五十圓二十人ノ巡査ハ百八圓ナリトス
千七百九十二年十月一日ニ於テ二人ノ騎馬巡査ヲ任命スルコトトナリ其俸給ハ
一人百二十圓トス千八百年頃ニ於テ警察長官（ポリツアイガレクトル）アイゼンベルグ氏ハ家屋ニ街衢別
ニ番號ヲ附シ市民ニ至大ナル便益ヲ與フルニ至リタリ千八百四年頃ニ於ケル警
察長官ビユッシユリング氏ノ時代ニ於テハ伯林ハ痛ク佛蘭西政府ノ壓服スル所
トナリナポレオンハ當時同市保安上ノ爲メニ市民兵（ビュルゲルガルデ）ノ組織ヲ作成シ又同時ニ騎
馬巡査ハ二十五人ニ增員シ俸給ハ月給十五圓乃至十六圓ニ增俸シ警察署ノ數モ

亦タ廿三ニ增加スルニ至レリ佛蘭西兵退去ノ後ピユッシュリン氏ニ傚テ警視總監（ポリスプレフェクト）ノ職ニ就キタル者ハグルーネル氏ニシテ後世ニ稱スル警視總監ナル官名ハ實ニ氏ヲ以テ權輿ト爲ス而シテ今日ニ於ケル警視廳ノ組織ノ基礎トモ稱スヘキモノハ實ニ千八百二十二年九月十八日ノ新規定ナリトス千八百三十年ニ於ケル執行警察ノ人員ハ五人ノ警察署詰警部補七人ノ警部補四人ノ刑事警部（ポリスアイインスペクトル）十九人ノ巡査部長（シーセント）ニシテ二十九ノ警察署ノ外ニ七ノ郡部警察署ノ設ケアリ後千八百五十一年ニ於テ巡査隊（シュッツマンシャフト）ノ創設セラルルニ至ルマテハ伯林警察ノ發達ハ政治上ノ運動ノ爲メニ大ニ其妨害ヲ蒙ルノ悲運ニ遭遇スルニ至リタリ

第二章　巡査隊設立豫備時代（千八百四十八年乃至千八百五十一年）

千八百四十八年ニ於ケル種々ノ不穩ノ狀況ハ安寧秩序ヲ保持スルノ必要ヲ見ルニ至リ玆ニ於テ王命ニ依リ市吏員ノ指揮ノ下ニ於テ保護委員（レーグコムミーソシヨン）ノ創設ヲ見ルニ至レリ而シテ此委員ニ任命セラレタル市民ハ一種ノ官吏タルヘキモノニシテ處罰權ヲモ併有セリ而シテ此一種ノ警察及ヒ保護委員ナル名稱ヲ腕布ニ表白シ一尺五寸計リノ短棒ヲ有セリ軍隊ハ解來保護東ノ要求アル時ニ於テ始メテ公ノ秩序保持ノ爲メニ其業務ニ從事スヘキモノナリ

當時此ノ如キ市設的警察官吏ハ大ニ一般市民ヨリ輕侮セラレ腕章及ヒ短棒ハ勿論甚シキハ帽子ニ至ル迄モ屢々人民ヨリ奪去セラレタルコトサヘアリシト云フ玆ニ於テ市會議員ハ武裝的市兵ピユールゲルウエール）ノ設備ヲ望ミ終ニ千八百四十八年三月十九日國王ハ之ヲ許可スルニ至レリ而シテ此武裝ノ費用ハ國家之ヲ負擔スルコトトナリ市民ハ喜ンテ此種ノ義勇市兵タランコトヲ欲シ市兵ハ常ニ王城ヲ警衛シ愉快ニ喫烟シ王城ニ於テ供セラルヘキ晩餐殊ニ葡萄酒ノ如キハ彼等ノ常ニ喜ンテ飮味セント欲スル所ノモノナリシナリ

此時ニ方リ伯林ニ於テハ三月十九日ニ於テ一時兵隊ノ退去後ハ無政府ノ形勢ヲ呈シ王政ハ地ニ墜チ爲ニ數日間ハ專ラ民主政治ヲ施シタルコトサヘアリ從テ伯林市ハ暫時無警察ニシテ僅ニ市兵ニ依リテ市ノ安寧ヲ保持シタリシナリ且當時

街路ニ於ケル喫烟禁止ハ一般ニ市民ノ同情ヲ失ヒ之レカ禁止ノ解除ヲ喋々スル者多ク爭擾ヲ起スノ虞アリシヲ以テ千八百四十八年三月廿九日ニ於ケル府廳(ガバーメント)及ヒ警視廳(ポリツアイプレヂヂユーム)ノ告示ハ終ニ公ノ秩序維持ノ責任ヲ以テ之ヲ市兵ニ專任スルニ至レリ而シテ尙軍隊ノ補助ヲ要スヘキハ外部ニ對スル危險及ヒ非常事變等ノ場合ニ限ルヘキモノトス而シテ爾來四月四日ニ至ル迄ノ期間ハ警視總監フオンミヌトリ氏ハ謂ユル市兵ノ長官タリシナリ當時市兵ハ人民ヲ取扱フコト頗ル殘酷ニ失シ甚シキハ政治上ノ爲メニ利用セラレ遂ニ警察ノ行政ヲモ亦顧ミサルニ至レリ此ノ如ク市兵ハ遂ニ其弊ニ堪ヘスシテ時世ノ必要ハ市兵ノ外ニ更ニ兵器ヲ携帶セル執行巡査ノ設立ヲ認ムルニ至レリ而シテ其服裝ハ人民的タルヘキモ外見上ヨリハ一見シテ警察官タルヲ認知シ得ヘキ爲メ殊ニ特種ノ徽章ヲ附シ腰ニハ短銃ヲ帶ヒ所謂英吉利式ノコンステ!ブルニ倣ヒ所謂市民警察(ピユルゲルポリツアイ)ノ制ヲ見ルニ至レリ而シテ警視總監フオンミヌトリ氏ハ新組織ノ警察隊ノ武裝スヘカラサルノ理由ヲ内務大臣ニ上申シテ曰ク巡査タル者ハ自己ノ職責上有ヘヘキ武力ヲ用ユルコトナクシテ其職

ニ竭ササル可カラス萬一之レカ必要アルトキハ素ヨリ武力ニ依賴スヘキモ是レ抑モ例外ノ事ニ屬ス巡査ハ實ニ法律ノ平和的番人タラサル可カラス蓋シ武裝ハ此性質ヲ失フモノニシテ武器ハ畢竟創傷ニ供スルノ具タルニ過キス而シテ創傷ハ平和ヲ害スヘキ徽候タリ去レハ巡査タル者ハ或意味ニ於テ道德上ノ權力(威信)ニ依賴スヘクシテ武力ノ强迫ヲ基礎トスヘカラス玆ニ於テ巡査タル者ハ常ニ平和ノ棒(フリーデンスタープ)ニ依リテ人民保護ノ大責任ヲ盡スノ必要アリ然レトモ平和ノ棒ニ依ルモ尙人民ニシテ命ニ應セサルニ於テハ適當ニ處罰スヘキハ勿論ナリ謂ユル容易ニ汚ス勿レ日本刀ノ謂ナリ之ニ反シテ騎馬巡査ハ便宜上常ニ武裝ヲ旨トシ其他ノ者ニアリテハ特ニ非常事變等ノ場合等ニ限定スヘキモノトス

ミヌトリ氏ノ精神ハ頗ル宜シキヲ得タリト雖トモ其ノ實行方法ニ就テハ必スシモ時弊ニ適中セリト稱スルヲ得ス是ニ於テ内閣ハ千八百四十八年六月十九日ニ於テ頗ル强固ナル執行警察ノ組織ヲ決議シ非常ニ警察官ノ數ヲ增加シ各區ニ於ケル平和ノ維持ニ對シ全力ヲ注キ得ルカ爲メニ殊ニ二千人ノ警察官吏ヲ國庫ノ

費用ヲ以テ設立セントス而シテ所謂巡査トハ之レヲ保護吏(シユツツマン)ト稱シ日中ハ原則上其三分ノ一ヲ以テ當番トシ少クモ其四分ノ一以下ニ下ルコトヲ得ス而シテ是等ノ巡査ハ各區ノ屯所(ウワトロカール)ニ之レヲ配置スヘキモノニシテ此新設計ノ費用ハ毎年十萬七千四百二十圓ニ達セリト云フ是ニ於テフリードリヒ、ウイルヘルム王ハ閣議ヲ裁可セラレ是ニ新タニ舊來ノ執行警察ニ代ユルカ爲メ巡査隊ヲ組織シ左ノ人員ヲ以テ之レヲ形成セリ

一人ノ大佐　五人ノ大尉

二百人ノ巡査部長　千八百人ノ巡査(四十人ノ騎馬巡査ヲ含ム)

抑モ巡査部長及ヒ巡査ヲ採用スルニハ品行方正ニシテ規律ヲ重ンスヘキ且ツ勇敢ナル人物中ヨリ之ヲ選擇スヘキヲ要ス而シテ年齡ハ四十歳以上ニシテ伯林市民若クハ數年來伯林ニ住居セル者ニシテ成ルヘク軍人出身者タラサルヘカラス此新組織ノ用意ヲ爲スヘキ必要ナル時期ニ際シ多年伯林市民ヨリ敬服サレタルミヒトリ警視總監ハ其職ヲ去リ(バルデレーベン)氏之ニ代ハルニ至レリ而シテ前警視總監ノ辭職ハ一般ノ深ク惜ム所トナレリ何トナレハ氏ハ此ノ如キ過渡時代ニ於ケル困難ナル時期ニ於テ善ク人心ヲ收攬スルノ技能ヲ有シタレハナリ

新警視總監ハ人民ニ告示シテ曰ク

新組織ノ根本的基礎ハ秩序及ヒ人民ノ法律ニ對スル活動的精神ナリ蓋シ人民ハ此精神ニ基キ警察權ノ活動スヘキコトヲ渴望シ此ニ之レカ組織ノ改善ヲ歡迎スルニ至リタル所ニシテ人民ノ自立心ノ發達ニ伴ヒ法律ノ力モ亦從テ鞏固タラサルヘカラサルト同時ニ之ニ對スル機關モ亦其保護力及執行力ヲ行フニ於テ適當セサルヘカラス

右ノ精神ニ基キ此ニ巡査隊ノ組織ヲ見ルニ至リシ所以ニシテ警察ハ人民ノ自由ヲ尊重シ古代ニ於ケル杞憂的警察國家ノ干渉ヲ避ケ法律ノ保護者トシテ其職責ヲ盡ササルヘカラス而シテ之ニ對シテハ亦一面ニ於テ之ヲ市民ノ同情ニ待タサルヘカラス云々

警視總監ノ告示ヲ發シタルハ千八百四十八年七月廿二日ニシテ其後僅カニ二日間ヲ經テ始メテ新組織ノ巡査ハ伯林ノ街路ニ於ケル實務ニ從事シ因習ノ久シキ

地ニ墮チタル保安警察、風俗警察ノ恢復ヲ見ルニ至レリ又千八百四十八年八月二日ニ於テ内務省ハ十六人ノ中尉ニ代ユルニ九十六人ノ巡査部長ヲ以テスルヲ許可スルニ至レリ當時警察官ノ年俸額ハ左ノ如シ

大佐　千八百圓（外ニ二百圓馬飼料二百圓借宅料）
大尉　千百五十圓
中尉　七百圓
巡査部長百四人

其中四人ハ方面巡査部長トシテ三百六十圓

其他ハ三百圓

巡査　二百六十圓

但シ巡査部長及巡査ハ毎月被服料及醫料等ノ爲メ二圓餘ヲ引キ去ラルヘキモノトス

警視總監ハ内務省ノ認可ヲ得テ伯林巡査心得ニ關スル規定ヲ左ノ如ク定メタリ

第一條　巡査隊ハ伯林市ノ警察區域内ニ於ケル外部ノ靜謐安寧及秩序ヲ保持スヘキ用ニ供スヘキ政府ノ機關タリ

第二條　全體ノ巡査隊ハ一人ノ大佐ヨリ指揮セラルヘキモノニシテ警察大佐ハ警視總監ノ監督ノ下ニ立テルモノナリ

巡査隊ハ左ノ部ヨリ成立ス

第一、四個ノ歩隊

但シ歩隊ハ各一大區ヲ管轄ス

第二、一個ノ騎隊

但シ騎隊ハ市ノ郊外ヲ管轄ス

第三條　各隊ノ長ニハ大尉ヲ以テ之ニ充ツ

騎隊ノ大尉ハ同時ニ大佐ノ副官タリ

各歩隊ハ指揮官タル多クノ中尉ヲ有ス

巡査部長ノ職ハ十人乃至二十人ノ巡査ヲ直接ニ指揮スルモノナリ

第四條　各隊ニハ多クノ警察屯所（ワハトロカーレ又ハヘチルクスカヲッヘ）ヲ設ク

第五條　巡査ニハ品行方正ニシテ且ツ確實ナル人物中ヨリ採用スヘキモノニシテ市民中人格ノ正シキ者ニシテ法律上ノ保護者タルニ適スル者タラサルヘカラス

第六條　大佐ハ内務大臣ヨリ其他ノ警察士官ハ警視總監ヨリ任命セラルヘキモノトス

第七條　巡査タル者ハ上官ノ命令ハ寸分違ハサル樣遵守スヘキモノナリ而シテ之ニ違ヒタルトキハ他ノ執行警察官吏ト同シク懲戒罰ニ附セラルヘキモノトス

第八條　巡査ノ日常勤務ハ街路及公ノ場所ニ於ケル巡回ニアリトス

第九條　巡査タル者ハ執務中ハ規定ノ制服ヲ着用シ側銃ヲ携帶セサルヘカラス

第十條　巡査タル者ハ人民ニ對シ第一條ノ目的ヲハ懇諭的ニ適當ナル方法ニ依リ實行スヘキモノニシテ人民ノ法律上ノ自由ヲ侵害シ若クハ公ケノ生活上ニ對シ不必要ナル妨害ヲ繁累ヲ加フル如キハ之ヲ避ケサルヘカラス蓋シ權力ナルモノハ懇切ニ之ヲ取扱ヒタルニ拘ハラス尙其效力ナキトキ又ハ其不充分ナルトキニ於テ始メテ之ヲ應用スヘキモノナリ

第十一條　武器ハ暴力ヲ加フル者アルトキニ於テ始メテ使用スヘキモノニシテ之ヲ濫用スヘカラス

第十二條　拘留ハ法律上ノ規定ヲ精査シタル後ニ非サレハ之ヲ行フヘカラス拘留者ハ直チニ警察屯所ニ送リタル後ニ於テ當該官廳ニ引渡スヘキモノナリ

第十三條　多數ノ巡査集合體トナリ警務ニ從事スルニ當リテハ司令長官タル大佐又ハ其代理者ノ指揮ニ從フヘキモノナリ

第十四條　市兵又ハ消防部ヨリノ警報ニ接シタルトキハ非番巡査ト雖モ時ノ如何ニ拘ハラス直チニ其場所ニ急行スヘキモノナリ

第十五條　退職免職辭職等ニ就テハ一般ノ法律上ノ規定ヲ適用ス

第十六條　前條ノ規定ハ之ヲ公示スヘキモノニシテ其印刷物幷ニ特種ノ事務ニ係ルモノハ特ニ各巡査ニ交附スヘキモノトス

初メ巡査隊ノ創設セラルヽヤ既ニ千八百四十八年(今ヲ去ル五十五年前)八月二十一日及ヒ二十二日ノ兩日ニ於テ激烈ナル一揆蜂起シ創傷事件ヲモ生スルニ至レリ而シテ其計畫ハ當時ノ總理大臣邸ヲ侵シ內閣ヲ倒シ巡査隊ヲ解散セントスルニアリテ鐵格子及ヒ洋燈ハ破壞セラレ流出セル瓦斯ハ放火セラルル等亡狀殆ト至ラサル所ナシ是ニ於テ巡査隊ハ大ニ勇氣ヲ奮ヒ拔劍シテ之カ鎭壓ニ力ヲ盡シ益々其名聲ヲ發揚スルニ至レリ

十月十六日ニ於テモ再ヒ一揆ノ發生ヲ見ルニ至レリ即チ運河ノ職工ハ濫リニ蒸氣機關ヲ破壞シタルノ故ヲ以テ解雇セラレタルカ爲メ暴動ヲ試ミ巡査ハ是等集合體ニ對シ未タ强勢力ヲ行使セサリシニモ拘ハラス銃擊拔刀攻擊ニ遭遇シ巡査屯所ハ破毀セラルルニ至レリ此時ニ當リ巡査ハ警視總監バルデレーベン氏ノ命ニ依リ市兵ノ襲擊ニ遭ヒ死傷シタル職工ヲ救護シ事遂ニ平クヲ得タリ殊ニ巡査カ宮城內ニ於ケル職工ノ死骸ヲ送リ出シ人民ノ刺戈ヲ防止シタルノ事實ハ處理上事宜ニ適シタリシモノト云フヘシ此日警察大尉ホルバイン氏ハ頭部ニ重傷ヲ負ヒ其他一人ノ巡査部長十二人ノ巡査モ多少ノ創傷ヲ被リ二人ノ巡査モ被服ヲ毀損セラレタリト云フ

十一月十一日發布ノ勅令ハ遂ニ謂ユル市兵ナル者ノ解散ヲ命スルニ至レリ蓋シ市兵ノ設備ハ漸次其弊ニ堪ヘスシテ反ツテ秩序ヲ害シ人民ニ刺戟ヲ與フルコト鮮カラサリシニ依ル

千八百四十九年ニ於ケル議會提出ノ豫算ハ四十一萬七千五十圓ニシテ士官ノ員數ハ是迄ト同數ニシテ巡査部長ハ百四人巡査ハ千四百人騎馬巡査ハ四十人ト定メ巡査ノ年俸ハ二百四十圓ニシテ其內每月二圓ハ給助料及ヒ賞與等ニ充ツル爲メニ差引クコトトナレリ官服ハ每年上衣ズボン帽各一個ノ貸與ト定メ其所有權ハ國家ニ屬シ手入レハ巡査ノ自費ト定ムルモ而シテ當時巡査屯所ノ建設物ニ就テハ之カ借入方ハ頗ル困難ヲ覺ヘタル所ナリ何トナレハ所有者ハ十月十六日事件ノ如キ場合ニ遭遇スルコトヲ虞リタルヲ以テナリ而シテ此恐怖ハ實ニ至當ナリシナリ即チ前年ニ於ケル一揆ノ紀念日タル三月十八日及ヒ十九日ニ於テ當時死亡セル者ノ墓所ノ近傍ニテ一揆ノ再興ヲ見ルニ至リ千八百四十九年三月十八日ニ於テ某巡査屯所ハ暴民ノ侵擊ニ遭ヒ巡査ハ之ヲ武力ニ訴ヘテ退散セシメサルヘ

カラサルニ至レリ先是巡査ノ銃砲使用ハ豫期セサリシヲ以テ之ヲ廢シタリシト雖モ今ヤ再ヒ之ヲ使用スルコトトナレリ此ノ如キ類似ノ行動ハ尚之ヲ其他ノ場所ニ於テモ演出シ三人ノ巡査部長二十三人ノ巡査ハ負傷スルニ至レリ而シテ其ノ多クハ投石ニ原因スト云フ

千八百五十年ニ於テハ巡査ノ數ハ千二百人ニシテ殊ニ騎馬部ヲ新設スルニ至レリ馬匹ハ馬商ト契約ノ上之ヲ借入ルルコトトナセリ

初メ巡査隊ノ千八百四十八年ニ於テ増設セラルルニ至ルヤ巡査ハ多ク之ヲ軍人出身者ニ非ル市民幷ニ手工中等ヨリ採用シ適任者ヲ得ルニ頗ル困難ナリシカ漸次巡査隊ノ整頓スルニ伴ヒ今ヤ大多數ノ巡査ヲ免職セサルヘカラサルニ至レリ

何トナレハ彼等ノ中ニハ不規律不勉強其他巡査タルニ不適合ナル性質ヲ有スル者多カリシヲ以テナリ然レトモ軍人出身者ハ耐忍秩序從順勉強等ノ諸點ニ於テ頗ル卓絶シ善ク巡査タルノ面目ヲ維持シタルカ爲メ是等ノ經驗ニ基キ將來ハ免職者ヲ補充スルニハ軍人出身者ヲ以テスルノ方針ヲ採ルニ至レリ蓋シ軍人ハ概シテ意思鞏固ニシテ身體ハ肥大ニシテ善ク勞力ニ堪ヘ得ヘク禮式姿勢ハ整頓シ

亂暴ナル市民ニ對スルニハ其威信ヲ保持スルニ最モ必要ナリシナリ

巡査隊ニ尤モ必要ナルハ其指揮者ニアリ然レトモ指揮者其人ヲ得ルハ頗ル困難ナル問題ニシテ當時屢〻其人ヲ替ユルノ已ムヲ得ザリシヲ見テモ其一端ヲ察スヘキナリ蓋シ指揮者タルヘキ者ノ資格ハ敎育ヲ有スヘキハ勿論其他善ク公衆ヲ識リ世才ニ長スルニアリ何トナレハ指揮者ノ任ハ單ニ命令ヲ嚴格ニ行フニ非スシテ其目的ヲ達スヘキ手段方法ヲ時宜ニ適スル樣活用スルニアレハナリ

抑モ巡査隊ノ如キ多衆ノ者ヲ統轄スルニハ軍隊的規律ニ依ラサルヘカラサルハ勿論ニシテ伯林巡査隊ハ善ク其精神ヲ發揮スルニ至レリ亦裁判官ハ巡査ニ同情ヲ表シタルカ爲メ巡査ハ職務執行上他ヲ顧慮スルコトナク善ク其職權ヲ振フニ至レリ是ニ於テ公衆モ漸次巡査隊ニ對シ敬意ヲ表スルニ至レリ

警視廳ハ内務省ニ提議シタルノ結果三十六ノ市内警察署四ノ市外警察署ノ設立ヲ見ルニ至リ警察署長ハ警察中尉ヲ以テ之ニ充ツ而シテ十二人ノ警察中尉ハ市場警察ノ巡回事務ニ從事シ若クハ停車場ニ於ケル外人ノ交通上ニ注目シ尚副官的ノ事務ニモ從事スヘキモノナリ

市場所在地ノ警察署ハ殊ニ警察吏員ヲ市場ニ派遣セリ又警察署（五人ノ方面監督タル警察大尉（ベチルクス、ポリツア）之ヲ監督シ併セテ市場警察又ハ車體警察又ハ水上警察若クハ刑事警察衆風俗警察等ニ各之カ長タリ其他八人ノ中尉刑事警察主任トシテ任命セラル又巡査隊ハ百人ノ巡査部長千人ノ巡査五十人ノ騎馬巡査ヨリ成立シ警察大佐之カ司令長官タリ而シテ此計算ニ依レハ一人ノ警察官ニ對シ三百四十六人ノ人口ノ割合トナル之ヲ當時ニ於ケル倫動ニ比センカ三百六人漢堡ニ比センカ二百七十一人露國ノペテルスブルグニ比センカ百九十九人ノ割合トナル是ヨリ先キ伯林以外ノ他ノ大市ニ於テハ既ニ千八百四十八年前ニ於テ夙ニ現時ニ於ケル巡査ノ制アリ去レハ此點ニ就テハ伯林ハ其發達頗ル遲々タリシナリ蓋シ伯林ニ於テ俄然之カ組織ノ稍ヤ完成スルヲ見ルニ至リタルハ當時ノ内部ノ狀況然ラシメタルナリ

千八百五十年八月一日ニ於テ伯林市ニ於テハ憲兵ハ之ヲ廢シ又從來行ハレ來リタル警部（ポリツアイ、イン）警部補（ヨムミサ）巡査部長（サーセ）等ノ職モ之ヲ廢スルコトトナレリ

第三章　確立的組織并ニ警察署ノ行政權掌握時代ヨリフリードリヒ、ウイルヘルム王第四世ノ崩御ニ至ルマデ（千八百五十一年乃至千八百六十一年）

千八百五十一年四月一日以來巡査隊ハ大ニ之カ革新ヲ見ルニ至レリ是ヨリ先キ千八百四十八年ニ於テ巡査隊ノ創設セラルヽヤ以來三ケ年間ニ於テ大ニ政府ノ信用ヲ得終ニ警察署ノ行政ハ亦之ヲ巡査隊ニ委任スルニ至レリ左レハ右ノ三ケ年間ハ巡査隊カ確立的基礎ヲ得ル迄ノ豫備時代トモ稱スヘキナリ此時ニ當リ新タニ組織セラレタル三十六ノ警察署ハ之ヲ甲乙丙丁戊ノ五方面監督部ニ分チ巡査ノ定員ハ之ヲ七百二十人トシ其他二百八十人ノ巡査ハ豫備トシテ特ニ己部ヲ編成スルニ至レリ而シテ所謂豫備部トハ不意ノ事故生シタルトキ又ハ劇場其他歡樂ニ關スル事務ノ監視若クハ四人護送ノ場合ノ如キ其他警察上ノ使者并ニ全市ノ巡視等ニ充ツヘキモノナリ尚諸所ノ見附門ニ配置スヘキ四十六人ノ巡査又

ハ市場取締ノ用ニ供スヘキ十五人ノ巡査水上警察ノ爲メニスヘキ二十四人ノ巡査ハ勿論其他五ケ所ノ鐵道停車場内ノ巡査派出所ニ勤務セシムヘキ各二人ノ巡査等ハ悉ク一部ニ屬スヘキモノナリ

五人ノ警察大尉ハ自己ノ方面ヲ監督スヘキハ勿論尚各大尉ハ或ハ市場警察或ハ風俗警察或ハ水上警察或ハ刑事警察ニ長タリ尚此ニ附記スヘキコトハ千八百五十年十二月一日ニ於テ既ニ風俗警察委員（コムミツシオン、ヒユーア、ルゼツテンポリツアイ）ノ設ケアリテ妓樓ノ監視ニ從事シタルコト是ナリ又同年四月一日ニ於テハ既ニ水上警察署（ポリツアイ、シツフフアールツピユロー）ノ設ケアリ尚刑事警察監督官タル警察大尉ハ事務上ニ就テハ直接警視廳ノ指揮ニ屬スヘキモノナルモ其身分ニ就テハ其部下ノ警察中尉ト共ニ巡査隊ニ屬スヘキモノナリ又五ケ所ノ停車場ニ就テハ五人ノ警察中尉之カ監督ノ責ニ當ルヘキモノナリ

千八百五十一年四月七日發布ノ勅令ヲ以テ巡査部長及巡査ノ任命ハ警視總監ニ警察大尉及警察中尉ノ任命ハ内務大臣ニ委任スルコトトナリ警察大佐ノ任命ハ國王陛下ヨリ親任セラルヽコトヽナレリ

當時警察官吏ノ年俸額ハ左ノ如シ

警察大佐	千五百圓
	二百圓（家宅料）
	三百圓（飼馬料但シ二頭分）
警察大尉	千圓乃至千二百圓
	百圓（家宅料）
	百五十圓（飼馬料）
警察署長ニ補スヘキ警察中尉	七百圓乃至千圓
	三百圓乃至五百圓（事務費但借家料ヲ含ム）
其他ノ警察中尉	五百圓乃至六百五十圓
巡査部長	三百圓乃至三百六十圓
巡査	二百十六圓乃至二百四十圓

三人ノ騎馬巡査部長幷ニ五十人ノ騎馬巡査

巡査俸給額ノ外ニ特ニ毎月金二圓ヲ給ス

馬匹購入委員（ベルアアンカウフ）ハ三人ノ士官一人ノ獣醫及一人ノ當該管區騎馬巡査部長ヨリ成リ毎年八頭宛ノ馬匹ヲ購入スヘキナリ而シテ一頭ノ馬匹ハ平均百四十圓ナリトス

當時巡査ノ服裝ハ全ク軍人的ニシテ上衣ハ一列ノ白紐ヲ施セル者ヲ着用シ歩行巡査ノ肩章（アクセルク）ニハ當該部ノ文字ヲ附シ（ヌムメル）劍ハ巡査部長幷ニ巡査ハ黒色ノ革紐（レーアル）ヲ附スヘキモノトス又警察士官ノ服裝ハ千八百五十一年三月三十一日ノ勅令ノ定ムル所ニ依ル

千八百五十一年四月十日ニ於テ大佐幷ニ大尉ニ對スル職務規定ノ制定ヲ見ルニ至レリ即チ警察大佐ハ主トシテ形式的事務（デルプオルメル）ニ注意シ巡査隊ノ聯合ノ場合ニ於ケル總指揮ヲ行フヘキモノニシテ其他身分上及訓練上ノ事ニ就キ上申スルニ當リテハ之レヲ警視廳ニ進達スル前ニ於テ先ツ之ヲ警察大佐ニ提出スヘキモノナリ而シテ警察大佐ハ警察大尉トハ毎日一回凡テノ警察士官トハ毎週三回警視廳ニ於テ會議ヲ行ヒ其會長タルヘキモノナリ

方面監督犬尉ハ日々部下ノ警察署ノ事務ヲ査察シ毎日警視廳各部ヨリ警察署ニ送達スヘキ書類ヲ受理シ毎朝之ヲ革嚢ニ入レ當該警察署ニ送附スヘキナリ又同様ノ方法ニ依リ毎夕警察署ニ於テ處理セル事件ヲ受理スヘキナリ但シ至急ヲ要スヘキモノニ限リ方面監督署ノ手ヲ經スシテ直チニ警察署ニ送達スルヿヲ得ヘキモノトス抑モ巡査隊ノ勤務ハ頗ル軍人ノ職務ニ髣髴タルヲ以テ終ニ千八百五十二年三月廿二日ノ勅令ニ依リ巡査トナルヘキ條件資格ハ憲兵トナルヘキ條件ヲ要シ巡査拜命後ハ之ヲ軍人ト見做シ遠ク軍隊ニ召集セラルヽ等ノコトヲモ免ルヽニ至レリ而シテ之レカ撰擇ハ警視總監ノ職權ニ屬スヘキモノトス又巡査タル者ハ九ケ年間軍隊ニ勤務スヘキ義務ヲ有シ其中五ケ年間ハ下士官タルヘキモノトス尚巡査トナルニハ三十五年以下ノ者ニシテ歩隊ニ入ル者ハ五尺騎隊ニ入ル者ハ四尺ノ身ノ丈ケヲ要スヘキモノニシテ豫備期ハ六ケ月ナリトス又警察中尉ハ之ヲ軍隊ニ於ケル士官中ヨリ採用スヘキモノトス

警察大佐ボツセ氏ハ二ケ年間就職ノ後退職シ千八百五十三年七月十六日警察大

尉バッケ氏其後ヲ襲フニ至レリ氏ハ最モ軍隊的規律ノ養成ニ意ヲ用ヒ巡査ヲシテ銃砲ヲ以テ操練ヲ行ハシムル等常ニ巡査ノ姿勢ニ注意シ警察官ノ厳格ナル態度ヲ採ラサルヘカラサル所以ヲ主張セリ

氏ハ軍隊的氣風養成ニ熱心ナルノ餘リ大隊附鼓手ト共ニ六個ノ太鼓ヲモ備ヘ附ケ尚十八人ヨリ成レル樂隊（ミュザック）ヲモ創設スルニ至レリ而シテ樂器ノ代價六百五十八圓ハ士官倶樂部（オフイサーレルコール）ニ於テ之ヲ負擔セリ尚同時ニ二十四人ノ朗吟者ヲモ設クルニ至レリ而シテ樂隊ノ奏樂ハ毎水曜日午後舊警視廳ノ廣場ニ於テ之ヲ行ヒ又土曜日午後ニ於テ朗吟者ハ唱歌ヲ集會室ニ於テ催フスノ例タリ尚毎日曜日ニ於テハ巡査隊全體ハ寺院ニ赴キ禮拜式ヲ行ヒ而シテ後隊伍ノ整列式アリ此場合ニ於テ樂隊ハ樂ヲ奏シテ獻ヲ助ケ警視總監フオン、ヒンケルデー氏ハ屢々其家族ヲ率ヒテ其席ニ列シ部下ト獻ヲ共ニシタリト云フ

當時毎年二回巡査隊全體ノ催ニ係ル晩餐ノ大會アリテ樂隊ハ樂ヲ奏シテ獻ヲ助吟スヘキモノトス

巡査隊ニ死亡者アリタルトキ之レカ葬式ニ關スル規程ヲ一定センカ爲メ千八百五十三年特ニ葬式規程（ベユルザレメント）ヲ制定セリ該規程ニ依ルトキハ巡査隊員ノ葬式ニハ銃砲ヲ携ヘ樂隊ヲ率ヒテ之ニ列スヘキモノトス

千八百六十一年ノ終リニ於テ士官倶樂部ノ決議ニ基キ樂隊ハ之ヲ廢シ又同時ニ集合的寺院ノ參拜ヲモ其跡ヲ絶ツニ至レリ此ニ於テ樂器ハ之ヲ賣却シ其金額ハ之ヲ家計困難ナル士官ノ寡婦ニ分與スルコトトナレリ

千八百五十三年十一月三十日發布ノ勅令ニ依リ少シク服制ノ改革ヲ行ヒ以テ純然タル軍人ト識別シ易カラシメタリ

此ニ注意スヘキコトハ千八百五十四年四月二十八日國王陛下ハ巡査隊ノ軍隊的手腕ヲ視察センカ爲メ巡査操練所ニ行幸アリタルコト是ナリ則チ巡査隊ハ大隊ヲ形成シ銃砲ヲ携帶シ警察大佐バッケ氏指揮ノ下ニ活動セリ陛下ハ非常ニ御滿足ノ意ヲ表セラレ特ニ警視總監フオン、ヒンケルデー氏及警察大佐バッケ氏ニ賛辭ヲ玉ハリ巡査隊ノ有爲ナル能力ヲ嘆賞アラセラレ其結果終ニ千八百五十四年六月十日ニ於ヲ以來巡査隊ハ憲兵ト同シク軍隊上ノ演習ノ場合ニ於テハ殊ニ之

カ召集ヲ免除セラルヽコトヽナレリ

巡査隊創設以來六ケ年間ハ其成蹟頗ル見ルヘキモノアリシト雖モ其内部ノ待遇等ニ就テハ尚ホ改善ヲ要スヘキモノ多々アリトス而シテ巡査恩給方法ノ如キ則チ是ナリ巡査ハ曾ニ自ラ安シテ奉職セサルヘカラサルノミナラス又其妻兒ニ對シテモ顧慮スル所ナキヲ要ス而シテ巡査隊ノ職務ハ實ニ繼續的軍人的事務ニ髣髴タリ

千八百四十八年(千八百五十三年幷ニ千八百五十九年)ニ於ケル職務上ノ負傷等ノ爲メ休兵トモ稱スヘキ巡査ハ其數頗ル多數ニ達セリ而シテ是等ノ者ニハ恐ク之ニ俸給ノ全額ヲ支給シ置カサルヘカラサルノ必要ヲ生シタリ何トナレハ當時未タ斯ノ如キ國家ノ爲メニ職務上負傷シタル者ニ對シテハ恩給ヲナスヘキノ規程アラサリシカ爲メニ之ヲ免職セシムルコトヲ得サリシナリ而シテ萬一此ノ如キ場合ニ於テ之ヲ免職スルニ於テハ救民制度ノ支配ノ下ニ立チ爲ニ巡査隊ノ威信ニ影響ヲ及スコト鮮カラサルナリ是ニ於テ種々當該關係官廳ト交渉ノ末終ニ千八百五十四年十二月十八日ノ勅令ニ依リ新タニ恩給制度ノ制定ヲ見ルニ至リ大

ニ警察社會ノ歡迎スル所トナリ遂ニ千八百五十五年ヨリ之ヲ實行スルコトヽナレリ而シテ該規定ニ依レハ巡査部長及巡査タル者ハ俸給ノ十二分ノ一ヲ恩給庫(スプレシヨン、ド)ニ支出スヘキモノタリ

千八百五十三年一月三十一日以降巡査隊ノ指揮ハ之レヲ巡査本部トモ稱スヘキ巡査隊事務部ニ於テ之ヲ掌握スルコトトナレリ

千八百五十五年問答體ニ依リ一種ノ教科書(インストルクチオン、スプシフ)ヲ作成セリ而シテ該書中ニハ日常起リ得ヘキ事務ノ場合ヲ規定セリ又例ヘハ巡査タル者ハ拘留人ヲ橋上ニ於テ傳送スル場合ニ在リテハ如何ナル點ニ注意スヘキヤノ問題ニ對シ拘留者ヲシテ水中ニ投セシメサル樣ニ注意スヘキナリト論シ尚巡査ハ立番勤務中ニ在リテハ午後十一時以後ハ喫烟ヲ許サルヘキモノナリ云々ト記載セリ

警視總監フオン、ヒンケルデー氏ハ千八百五十五年以來ハ兼テ内務省警保局長ノ職ヲ奉シ殊ニ巡査隊ノ爲メニハ非常ナル同情ヲ以テ之ニ當リタリシナリ而シテ氏ハ獨リ斯道ノ爲ニハ熱心得難キ人物ナリシノミナラス國王ニモ頗ル信用アリテ其宮中ニ於ケル勢力モ亦頗ル侮ルヘカラサルモノアリ而シテ此有爲ノ警視總

盟カ一朝不測ノ禍ニ罹リ終ニ永眠ノ客トナリタルヤ伯林巡査隊員カ大ニ痛惜ノ情ヲ催フシタルハ亦自然ノ數ナリトス是ヨリ先キフオン、ヒンケルヂー氏ハ國王陛下ヨリ伯林警察ノ最上指揮官タルヘキ恩命ヲ蒙リシカ偶マ貴族院議員フオン、ロクヒヨウ氏ト爭鬪ヲ生シ終ニ決鬪ヲ試ムルノ已ムヲ得サルニ至レリ而シテ決鬪ハ千八百五十六年三月十日某森林中ニ於テ擧行セラレ警視總監ハ對手ノ爲メニ銃殺セラルルニ至レリ而シテ一タヒ此凶報ノ伯林市中ニ傳ハルヤ大ニ公衆ノ注意ヲ喚起スルニ至レリ何トナレハ古來決鬪ノ爲ニ此ノ如キ慘死ヲ見ルニ至ルハ實ニ稀有ノ事ニ屬スレハナリ是ニ於ラ國王陛下ニハ痛ク哀惜ノ意ヲ表セラレ其訃音ニ接シ玉フヤ彼レハ實ニ朕ノ爲メニ亡命スルニ至レルナリト嘆シ玉ヒタリシト云フ三月十三日ニ至リ總監ノ葬儀ハ最モ嚴肅ニ行ハレ陸下ハ親シク死者ノ家宅ヲ訪ハセ玉ヒテ殊ニ未亡人及ヒ遺兒ヲ懇慰シ玉ヒ又死後一年ヲ經テ未亡人ハ陸下ニフオン、ロツヒヨウ氏ノ謝罪ヲ上奏スルヤ陸下ハ願意ヲ嘉納セラレ益、死者ニ對シテ深キ同情ヲ寄セサセ玉ヒタリシト云フ

死者ノ友人ハ決鬪擧行ノ場所ニ於テ殊ニ紀念トシテ石造ノ十字形ヲ建設シ死者ノ姓名及逝去ノ年月日ヲモ記載シ以テ之ヲ不朽ニ傳ヘタリシト云フ又巡査隊ハ其成立上ニ於テ之ヲ死者ノ勞ニ謝セサル可ラサルヲ以テ紀念碑ハ警察大尉ホルバイン氏ノ計畫ニ依リ之ヲルムメルスブルグノ巡査隊ノ用地ニ建設シ千八百五十七年九月廿三日ニ至リ除幕式ヲ行フニ至レリ亦之ト同時ニ是ヨリ先キ始テフオン、ヒンケルヂー氏ニ依リ創設セラレタル恩給制度ニ基キ恩給金額中ヨリ四百五十圓ハ之ヲ巡査隊ノ未亡人ニ百八十圓ハ之ヲ現存者タル恩給權利者ニ附與シ又同時ニ他ノ費目中ヨリ特ニ四百五圓ヲ出資シテ現ニ巡査奉職中ノ者ニシテ家計上ノ困難ナル者ニ對シ救助ヲ施シタリト云フ千八百六十八年ニ於ケルムメルスブルグノ土地ハ他人ノ所有ニ歸シタリシヲ以テ紀念費ハ更ニ之ヲリンデン街ノ消防本部內ニ裝置シタリシカ後再タヒ之ヲ現警視廳所在地ナルアレキサンデルプラツツニ移轉スルコトトナレリ

フオン、ヒンケルヂー氏ハ獨リ警察上及ヒ貧民行政等ノ改善上ニ就テ功蹟アリシノミナラス氏ハ又新タニ今日ニ於テ尙其形狀ヲ維持セル消防及電信等ノ組織ヲ開設シ其他雇人ノ木賃宿及公立ノ浴場幷ニ洗濯館ヲ設ケ水道ヲ架設スル等氏ノ

遺業ハ頗ル見ルヘキモノアリ而シテ氏ニ繼キ千八百五十六年三月十九日新タニ警視總監ノ職ニ就任シタル者ハ男爵チエドリッツノイキルヒ氏ナリトス

千八百五十八年十二月十八日發布ノ勅令ニ依リ巡査部長及巡査ニシテ警察ノ職ニ從事スルノ前ニ於テ既ニ九ケ年間(其中五ケ年間ハ下士官トシテ)現役軍人トシテ奉職シ尚ホ引續キ六ケ年間巡査トシテ精勤スルニ於テハ恩給證書ノ取得權ヲ得ヘキコトヽナレリ尚此場合ニ於テハ千八百五十五年四月四日ノ勅令ニ依リ巡査部長及巡査ハ十二ケ年間下士官ニ仕ヘタルト同樣ノ資格ヲ有スヘキモノトス

千八百五十九年六月一日織物印刷硝子製造等ノ職工ハ巡査隊ト衝突ヲ見ルニ至レリ則チ此日職工ノフリードリヒスハインニ集會スル者其數殆ト三百人乃至四百人ノ多キニ達シ總理大臣邸ニ侵入シ以テ社會ノ注目ヲ喚起セントセリ是ニ於テ警察大佐バッケ氏ハ自ラ巡査隊ヲ率キテ之ニ當リ十一人ノ拘留者ヲ生シ事平クヲ得タリ

普魯西ノ歷史ハ千八百六十一年ニ於テ之カ新紀元ヲ見ルニ至リタルト同時ニ巡査隊モ亦此機ヲ以テ一新紀元ヲ生スルニ至レリ則チ同年一月二日ニ於テウイルヘルム第一世陛下ハ先王フリードリヒ、ウイルヘルム第四世陛下ノ後ヲ承ケ即位シ玉フヤ軍隊ハ新面目ヲ開始シタルト同時ニ巡査隊モ又頗ル有望ナル將來ヲ有スルニ至レリ

第四章　千八百七十一年ニ於ケル普佛戰爭ノ平和條約ニ至ルマテ（千八百六十一年ヨリ千八百七十一年ニ至ルマテ）

千八百六十一年ニ於ケル伯林全體ノ警察署ノ總數ハ市部ニ在リテハ三十六ヨリ四十ニ增加セラレ又伯林市ノ人口ハ當時百十四萬ノ多キニ達シ警察事務モ益煩繁ヲ加フルニ至リ從來警察署ノ書類ハ方面監督署ヲ經テ警視廳ニ送達シ來リタリシカ今ヤ直接ニ警察署ヨリ之ヲ警視廳ニ送達スルコトトナレリ又此年五月警察大佐バッケ氏ハ其職ヲ退キタルニ依リ故參方面監督警察署長タル警察大尉マヽロ氏ヲ以テ之ニ代ユルニ至レリ尋テ六月三日ニ至リ警視總監フォン、ヤエドリッツ氏モ其職ヲ退クニ至レリ

千八百六十一年十月一日以降巡査隊ハ著シキ變遷ヲ見ルニ至レリ則チ從來ハ巡

回及立番勤務ニ關シテハ八十九ノ監督中必點ヲ有シ互ニ關聯シ來リタリシカ爾來巡回及立番ノ勤務ハ劃然トシテ之ヲ分チ立番個所ハ之ヲ二十三トナシ又巡回ノ勤務ニ關シテハ各警察署管内ヲハ毎日四回警邏スルコトヽナレリ尚警察署ハ各一人ノ書記ヲ有シ書記ハ傍ラ巡回ノ勤務ニ服シ又電信係ハ書記ノ事務ヲモ補佐スルコトヽナレリ警察署ハ六部乃至八部ニ之ヲ分チ各部ニ對シテハ當該巡査組長トシテ之カ監督ノ責ニ任ス又夜勤ニ關シテハ各警察署ニ於テ一人ノ電信係ノ外二人ノ巡査之カ任ニ當レリ而シテ其中一人ハ警察署ニ留マリ一人ハ巡回スヘキモノトス尚晝間ニ於テモ一人ノ巡査ハ常ニ警察署ニ留ルヘキハ勿論ニシテ又夜勤ノ場合ハ翌日ニ在リテハ午後三時マテ休暇ヲ與フヘキモノトス

從來行ヒ來リタル方面監督署ノ毎日召集（アッペル）ハ之ヲ廢シ一週一回トナシ更ニ之ニ反シテ毎朝午前八時警察署ニ於テ自カラ訓示ヲ行フコトトナレリ警察署長ハ益其責任ノ範圍ヲ擴張スルニ至レリ又巡査ノ俸給ハ二百五十圓乃至二百七十五圓トナシ巡査部長ハ三百五十圓乃至三百六十圓トナシ方面巡査部長ハ特ニ四百圓マテヲ給與スルコトヲ得ルコトトナレリ

千八百六十一年十月ニ於ケル國王即位紀念祭ニ於ケル暴動ハ數日ニ亘リ其激烈ナルコト革命事變以來未タ曾テ見サリシ所ナリ即チ十月十八日兩陛下ノ戴冠式アリテ二十二日市中ヲ巡回シ玉ヒテ市民ノ歡迎ヲ受ケサセ玉フヤ此日些細ノ原因ヨリ一人ノ機械職工ハ王城附近ノ一市民ト爭鬪ヲ生シ尋テ流言ノ報スル所ニ依レハ伯林機械職工ハ來ル二十三日ヲ以テ大擧シテ王城ヲ襲ヒ將ニ之ヲ燒棄セントスト此風聞ニ依リ人民ハ宮城附近ニ雲集シタリシヲ以テ巡査ハ之カ退散ニ力ヲ盡シタリシカ痛ク罵倒セラレ街路ノ敷石ハ破却セラレ巡査ニシテ投石セラレタル者モ頗ル多ク騎馬巡査ノ馬匹ハ暴徒ノ打上タル煙火ニ依リテ恐怖セシメラルル等巡査隊中負傷者ヲ生シタルコト又頗ル多ク警察大尉警察中尉巡査部長巡査等皆悉ク然ラサルハナク巡査ノ負傷者ハ五十人ノ多キニ達シタリト云フ警視總監代理フォン、ウィンテル氏ハ國王陛下ヨリ暴徒鎭壓ノ功ニ依リ第三等赤鷲勳章ヲ受領シ負傷者ニハ又各御下賜金アリ

是ヨリ先キ警視總監ノ位置ハ一ケ年ノ久シキ間空位ニ在リタルヲ以テフォン、ベルヌストト氏ハ千八百六十二年六月三十日ニ於テ新タニ之レカ職ニ就クニ至レリ

千八百六十三年一月一日以降從來行ハレ來リタル甲乙丙丁戊己ト稱スル如キ方面監督部ノ文字ハ肩章ヨリ之ヲ除去シ又從來方面監督區毎ニ施シ來リタル番號ニ代フルニ巡査隊全體ニ通スル番號ヲ以テスルニ至レリ此時ニ當リ伯林市ハ益〻其版圖ヲ擴メ千八百六十八年ニ於テハ警察署ノ數モ四十六ノ多キニ達シ(千八百六十五年ニ於テハ四十三)警察署ノ行政事務モ頗ル發達シ其成績頗ル見ルヘキモノアリ是ニ於テ其名聲ハ漸ク伯林市以外ニ迄モ布及シ他ノ大都府ヨリモ往々警部ヲ派遣シテ警察事務ヲ練習セシムルモノアルニ至レリ

政治上ノ變動ハ遂ニ千八百七十年七月十九日ニ於テ有名ナル普佛戰爭ノ宣告ヲ見ルニ至リ是ニ於テ戰時警察(フェルドポリツアイ)ハ七月下旬ニ於テ執行セラルルニ至リ日日巴里ヨリノ報告ヲ查察シ深ク力ヲ敵狀偵察ニ致セリ偶〻報アリウイルヘルム王陛下ヲ弑逆シタル者ニハ二百萬フランヲ伯爵ビスマルクヲ殺害シタル者ニハ百萬フランノ懸賞金ヲ與ヘントセル氏ハ二人ノ巡查ト共ニ王城ニ起臥シ其他ノ警察官ハ警戒ノ爲メニ特ニ城內ヲ巡視シ又ビスマルク伯ノ許ニ在リテハ二人ノ警察官終始警戒ニ從事セリ尙當時ウエルザイルスト巴里トノ間ニ於ケル交通ニ付テハ警察上尤モ注意セラレタル所ニシテ之カ爲メ特ニ嚴酷ナル外人警察ハ組織セラレ身分アル者ニ對シテハ殊ニ嚴重ニ偵察ヲ加ヘラルル等ノ戰時警察ハ能ク其效ヲ奏シウエルザイルス及巴里間ノ陰謀ヲ發見シ危險ヲ未發ニ防クヲ得タリ又是ヨリ先キ農民ノ手ニ依リ密ニ立番勤務ヲ行ヒ來リタリシカ今ヤ其必要ナク遂ニ之レカ廢止ヲ見ルニ至レリ千八百七十一年五月十日普佛戰爭ハ終ニフランクフルト、アム、マインツニ於テ平和ノ局ヲ結ヒ其六月十六日ニ於テ普兵ハ伯林ニ凱旋スルコトトナレリ

第五章　ウイルヘルム皇帝崩御ニ至ル

迄ノ獨逸帝國ノ首府トシテノ伯林(千八百七十一年ヨリ千八百八十八年迄)

獨逸帝國ノ建設ト共ニ從來王國ノ首府タリシ伯林市ハ帝國ノ首府トナリタルト同時ニ新紀元ヲ形成シ千八百四十八年以來市民ハ其倍數ニ達スルニ至レリ而シ

テ舊來ノ見附門ハ千八百六十七年及千八百六十八年ニ於テ既ニ之ヲ除去シ舊時ノ伯林ハ頗ル其版圖ヲ擴張シ新市街及ヒ新家屋モ大ニ增殖スルニ至レリ

此時ニ當リブルーメン街ニ住居セル一八ノ產業商ハ偶々千八百七十二年七月二十五日ニ於テ裁判所ノ判決ノ結果執達吏ニ依リテ强制執行ヲ受クルニ至リ家具ハ路上ニ運搬セラレ遂ニ消防手ノ力ヲ藉リテ之ヲ執行スルニ至レリ之カ爲メ殆ト二千計リノ人ハ好奇心ニ驅ラレテ群集シ爲ニ警察署員ハ騎馬巡査ト共ニ力ヲ併セテ之レカ解散ヲ行ヒタリシカ漸クニシテ忽チ四千人乃至五千人ノ者ハ再タヒ集合シタルヲ以テ警察官ハ抜劍スルノ已ムヲ得サルニ至レリ而シテ不安ノ狀況ハ益、其程度ヲ進メ家屋內ヨリハ或ハ投石ヲ試ミ或ハ重量ノ硝子瓶ヲ投スル者アリ第二十二區警察署長ラート氏ノ如キハ投石ノ爲メ重傷ヲ頭上ニ負ヘリ又二十七日ニ至リテハ多クノ場所ニ於テ道路ノ敷石ヲ毀損シ巡査隊ニ投石ヲ試ムル者アル等例ノ如シ又巡回ノ騎馬巡査ハ家屋內ヨリ小刀又ハ鐵片等ヲ投付ラレ窓幷ニ街燈ハ破毀セラレ拘留者ヲ生スル三十八人ノ多キニ達シ到ル處警察ノ機關ハ罵倒セラレ投石ノ攻撃ニ遭フコト亦タ例ノ如シ尙翌二十八日ニ於テハ殆ト前

日ノ狀況ナリシカ刑事主任警部ピック氏ハ多數ノ投石者ヲ家屋內ニ圍ミ爲ニ拘留者ヲ生スル八十人ノ多キニ達セリト云フ後千八百七十二年七月二十七日再タヒ二三千人ノ群集ハ殆ント無意味ニ某所ヲ侵シ市中ヲ騷擾セシメタルコトアリ窓扉ヲ毀損シ人道石ヲ破壞シ標燈ヲ滅毀スル等殆ント至ラサルナシ是ニ於テ多數ノ暴害者ヲ拘留シ事漸ク平クヲ得タリ是ヨリ先キ巡査隊ニアリテハ一人ノ警察中尉指揮ノ下ニ於テ五人ノ巡査部長及ヒ五十八人ノ巡査幷ニ三十九人ノ騎馬巡査現場ニ出張セリ而シテ警察官ニシテ重傷ヲ負ヒタル者三十人ノ多キニ達シタリシト云フ亦以テ當時伯林人中無謀ノ輩ノ鮮カラサリシヲ見ルニ足ルヘシ

千八百七十二年七月初旬ニ於テ警視總監フオン、ウルム氏ハウイスバーデン縣知事ニ轉任シフランクフルト、アム、マインツ警視總監フオン、マダイ氏ハ八月十二日ニ於テ其職ヲ襲フニ至レリ此時ニ方リ移轉自由ノ結果伯林ニ於テハ一般ニ生命財產上ニ危害ヲ蒙ル者頗ル多ク千八百七十二年中九月十月十一月ノ三ケ月間ノ公道ニ於ケル之ニ關スル發生事故ハ三十三件ノ多キニ達セリ而シテ其中十六件ハ遂ニ之ヲ發見スルコトヲ得サリシト云フ是ニ於テ警察ニ對スル批難ノ聲漸ク

高マリ此ニ警察ノ改善ヲ促サレ警察署ノ數ハ五十ニ增加セラレ各警察署ニハ一人ノ刑事巡査ヲ詰メシメ又一方ニ於テハ執行警察官吏增員ノ必要ヲモ見ルニ至レリ尙巡査隊ノ三分ノ一ハ常ニ非番タルヘキモノニシテ但シ夜間勤務ニ在リテハ午後十時ヨリ翌朝八時迄トシ三分ノ一ノミ勤務ニ從事スヘキモノナリ故ニ晝時ニ於テハ道路警察事務ニ當ル者殆ント三百三十人ニシテ夜間ニ於テハ百六十五人ノ割合ナリトス

從來通常晝日勤務ノ者ヲ以テ之ニ充テタル劇場監視事務ハ特ニ之カ爲ニ日々十三人ノ巡査ヲ以テシ爾來ハ非番員ヲ以テ之ニ充ツルコトトナレリ尙鐵道停車場ニハ新タニ八人ノ巡査部長及二十人ノ巡査ヲ以テ駐在セシムルコトトナシ又病者ヲ生シ若クハ賜暇中ノ者等アリタルトキハ豫備部ノ者ヲ以テ之ヲ補缺ス

騎馬部ニ在リテハ馬匹ノ都合ニ依リ常ニ隔日勤務ノ制ヲ採リ日々半數ノ巡査勤務ニ從事スト雖モ時世ノ進歩ト共ニ益、其職務ノ範圍ハ擴張セラルヘキモノニシテ其主ナル事務ハ車體整理ノ爲メノ巡視及公園其他公共物ノ設備ニ對スル保護等ナリトス尙騎馬巡査ハ伯林部外ヲ巡視シ特ニ浮浪者ノ監督ヲモ行フヘキハ勿論田野盜森林盜伐等ヲモ監察ス又騎馬巡査ハ四人護送ノ事務ニモ從事シ火藥ノ運搬ヲ監督シ軍隊ノ操兵ニ際シ公衆ヲ遮斷シ其他火災行列祭典等ノ取締事務ニ從事スヘキモノナリ

巡査俸給ノ最低額ハ千八百七十二年ノ初メニ於テハ年俸三百七十五圓ニシテ巡査部長ハ四百廿五圓乃至四百五十圓ニシテ方面巡査部長ハ四百七十五圓タリ又千八百七十二年一月五日道路ノ交叉點ニ於ケル立番勤務（シュッツマン）規定ヲ設ケラル今現ニ行ハルルモノ是ナリ尙同年十一月ニ於テ三十三ノ立番所ニ對スル監督簿（ビュフヘル）ノ設ケヲ見ルニ至レリ

伯林市ノ狀態ノ變遷ニ伴ヒ時世ノ必要ニ應シ警視廳ハ千八百七十二年十月七日ニ於テ内務大臣ニ上申シテ曰ク警察屯所（レビルウワヘン）ハ之ヲ廢シ之レニ代ユルニ方面屯所（ベチルクスウワヘン）ヲ以テスヘキナリ則チ各方面監督署管轄内ニ於テ二個ノ新設方面屯所ヲ設ケ各警察士官ヲ以テ之レカ長タラシメ又伯林市内ハ之ヲ百個ノ晝日勤務的見張巡廻區域トナシ一區域ハ二人ノ巡査ヲ以テ之ニ充テ交互的ニ其一人ハ巡廻シ一人ハ一

定ノ場所ニ於テ立番勤務ニ從事セシムヘキナリ又警察署（レヒール）ニハ一人ノ警察中尉一人乃至二人ノ巡査部長二人ノ電信係一人ノ刑事巡査ヲ以テ勤務セシメ毎日方面監督訓示ヲ行ヒ謂ユル屯所（クワルテール）ノ士官幷ニ警察署長（レヒールフオールステー（ヘル）ト）モ列席シ以テ警察署ノ行政事務道路ノ執行警察事務トノ關係ヲシテ圓滑ナラシムルヲ以テ目的トスヘキナリ又拘留者ハ晝時ニ在リテハ警察署長ニ夜ニ在リテハ屯所署長ニ引渡スヘキモノナリ云々是ヨリ先キ當時ノ警察署（レヒール）ハ多クハ頗ル不便ナル僻地ニ在リテ裏家ノ二三階等ヲ以テ之レニ充テ僅カニ一室ニ二個ノ寢床ヲ備付クルニ過キサリシナリ甚シキハ拘留室ノ設備ヲサヘ缺ケル所アリ加之警察署ハ屢〻暴民ノ侵ス所トナリ拘留者モ度々逃亡スルアリシト云フ是ニ於テ警視廳ノ上申ハ採用セラレ多年困難ヲ感シタル警察ノ狀況ハ之ヲ一變スルニ至レリ則チ多年不足ヲ感シタルノ故ヲ以テ千八百七十三年ニ於テ十五人ノ警察中尉六十五人ノ巡査部長四百九十三人ノ巡査六人ノ騎馬巡査部長及ヒ百十三人ノ騎馬巡査ヲ增設スルニ至レリ又騎馬ハ之ヲ四區ニ分類シ又六個ノ各方面監督署管轄區域內每ニハ二個ノ方面屯所ヲ設ケ又方面屯所ノ新設ト共ニ道路警察ノ監督事務ハ之ヲ

警察署ヨリ分離シ方面監督ノ警察大尉ニ直屬セシムルニ至レリ蓋シ統一的ニ安寧秩序ノ效果ヲ收メンカ爲メナリ是ニ於テ從來行ハレ來リタル警察署ノ區分的勤務方法（レヒールセクチオン）ハ今ヤ全ク之レヲ廢スルニ至レリ又車體交通整理ノ爲メニハ公共的車體取締委員（コムミサール、ヒユール、ダス、エフヘントリヘフール）ノ指揮ノ下ニ於テ十八人ノ巡査部長ヲ設ク即チ所謂交通巡査部長ナル者是ナリ其初メ巡廻區域ハ之ヲ九個ニ分チタリシカ後之ヲ十一個ニ殊ニ其尤モ交通頻繁ナル街衢ヲモ含マシメタリ

此ノ如ク巡査ノ定員ヲ增加シタルハ悉ク當時ノ必要ニ迫ラレタルモノニシテ一人ノ執行警察官ニ對シ人口四百十人ノ割合ナリ之ヲ他ノ都市ニ比セン二英國龍動ニ於テハ三百四十八人埃國維納ニ於テハ二百四十二人佛國巴里ニ於テハ二百十七人ノ人口ニ對シ一人ノ執行警察官吏タル割合ナリシト云フ況ンヤ伯林ノ公衆ハ他ノ諸市ニ比シ頗ル誹謗的惡性ニ富ミタル人民ニシテ警察取締上困難ヲ感スル點多キニ於テヲヤ

千八百七十四年一月巡査隊ニ防水的兩具ヲ渡スコトニナレリ千八百七十四年始

ヌテモルケンマルクト街第三番地ノ家屋内ニ於テ有名ナル水曜士官會(ミツトウオツホナ)ノ設ケヲ見ルニ至リ爾來十ケ年間ハ伯林警察士官ノ集會所タリシナリ同年四月ニ於テハ千八百七十二年十二月十三日郡制發布ノ結果トシテ郊外警察署ハ全ク廢セラレ爲ニシヤルロッテンブルグニ於テモ千八百七十五年四月一日ニ於テ獨立ノ王國的巡査隊ノ組織ヲ見ルニ至レリ此時ニ當リ一警察署ノ管轄スヘキ人口ハ一萬五千人ヲ超ユヘカラサルコト、ナリタル爲メニ從來五十ノ警察署ハ之ヲ六十ニ增加スルニ至リ又同時ニ六个所計リノ伯林市ニ接近シ且其管轄區域ノ頗ル廣漠ナル警察署ハ(我警視廳ノ例ニ倣ヒスレハ品川警察署新宿警察署ノ如キ者是ナリ)之ヲ獨立セル警察署トナシ方面監督署ノ監督ヲ脫セシメ直接ニ巡査隊ノ指揮官ニ從屬セシムヘキコト、シ是等警察署ノ署長ニハ方面警察大尉ノ權限ヲモ或部分ハ之ヲ附與スルコト、ナレリ又此獨立セル警察署ハ三人ノ巡査部長及ヒ二十人乃至四十人ノ巡査等ヲ有セリ又從來ノ經驗ニ依リ往々交通上ニ障害ヲ與フルコト少カラサルヲ以テ千八百七十五年五月以來陛下ノ行幸ニ際シテハ豫メ特ニ巡査ヲ先驅セシムルコト、ナセリ

千八百七十三年九月三部勤務ヲ以テシ試ミニ正午交代ノ制ヲ採リタリシカ再ヒ之ヲ廢シ千八百七十六年一月一日以來四部勤務ノ制ヲ採用シ晝間ニ在リテハ半數ヲ以テ夜間ニ在リテハ四分ノ一ヲ以テ勤務セシムルコト爲セリ又再タヒ千八百七十三年前ノ制度ヲ採用シ各警察署ニ屬スヘキ巡査ハ之ヲ數部(ビクチオン)ニ分ツニ至レリ又交通巡査部長ハ車體取締委員ノ手ヲ離レ車體ノ交通ニ關シテハ再ヒ方面警察大尉幷ニ警察署長(レビールフユルステンデ)ニ委任セラルヽニ至レリ又當時街路ニ賣淫婦ノ徘徊スル者多キヲ加ヘタルヲ以テ千八百七十五年ニ於テ風俗警察ノ爲メ特ニ多クノ制服的巡査ヲ設クルニ至レリ

警察官並ニ軍人ト密接ノ感情ヲ溫メンカ爲メ皇帝及國王陛下ノ裁可ニ依リ以來巡査隊及軍隊ノ士官ハ各互ニ軍隊的敬禮ヲ行フコト、ナレリ

此時ニ方リ尙往々公共的秩序ヲ妨害スル者アリ即チ千八百七十五年九月廿二日ビオニール街ノ曲馬場ノ大火ニ罹ルヤ雇人群集シ消防上ニ妨害ヲ試ミタリ是ニ於テ巡査隊ハ兵力ニ訴ヘ之ヲ抑壓シテ善ク其効ヲ奏シ警察ノ權力ハ益〻其光輝ヲ放ツニ至レリ千八百七十七年三月十九日ニ於テモ稍〻之ニ類スル騷擾ヲ見ルニ至

レリ即チ馬場ノ建設ニ際シ土方戰ノ蜂起是ナリ賃錢ノ低價ヲ憤リタルニ因ルナリ既ニシテ再ヒ數千人ノ亂暴者ハ他人ノ所有物ヲ毀損セント企畫シ頗ル平和ヲ攪亂セリ是ニ於テ騎馬巡査隊ハ大擧シテ妨害者鎭撫ノ任ニ當リタルカ爲メ秩序ハ速カニ之ヲ恢復スルコトヲ得タリ先キニ屢、逃ヘタルカ如ク此ノ如キ暴擧ニ際シテハ屢、巡査隊ニ對シ投石ヲ試ミルコトアルヲ常トスルカ故ニ巡査隊ニ在リテハ又之ニ對シ抜刀ヲ以テ之ニ當ルコト屢、ナリトス

千八百七十八年三月廿二日皇帝陛下ノ天長節ニ際シパロヒアル寺院ニ於テ公共的ノ禮拜式ヲ行ハルヽヤ巡査隊ハ之カ警護ノ任ニ當リタルカ後數週ヲ經テ五月十一日ニ至リ先キノ天長節ノ際ニハ何人モ豫期セサリシニモ拘ハラス忽チ一暴漢ハ獨逸帝國ニ大功アル年老ノ皇帝陛下ノ御身上ニ危害ヲ試ミントスル者ヲサヘ生スルニ至レリ此事タルヤ一時全世界ニ對シ非常ナル驚愕ヲ與ヘタルモノナリトス則チ同日午後三時頃ニ於テ皇帝ハ皇女及ヒバーデン大公ト共ニシヤルロッテンブルグノ皇宮ヲ出御シ玉ヒテ伯林リンデン街ヲ馬車ニテ通過シ玉フニ當リテヤ一小街ナルマウエル町ノ近傍ニ於テ忽チ一人ノ一見禮儀正シキ容裝ヲ爲セルヘーデルト稱スル一暴漢ハ陛下ニ對シ二發ノ銃撃ヲ試ミタリシカ幸ニ玉體ニ觸ルヽコトナカリシモ犯罪人ニ對スル人民ノ激怒ハ甚シク僅カニ警察ノ權力ニ依リ拘留セラルヽヲ得テ遂ニ死刑ニ處セラルヽニ至レリ之ヨリ後三週間ヲ經テ再ヒ陛下ニ對シ弑逆ヲ試ミントスル者ヲ生スルニ至レリ則チ陛下ハ六月二日ノ日曜日ニ際シ午後三時頃御一人ニテ御遊行シ玉ヒシカ忽チウンテルデン街十八番地ノ二階ヨリノビリングト稱スル惡漢ハ二發ノ銃丸ヲ發射シタリシカ不幸ニシテ皇帝ノ頭上背部及腕部等ニ命中シノビリングハ直チニ自殺ヲ試ミタリシト云フ是ニ於テ警察ハ道路ノ取締上ニ關シ益、歩武ヲ進メ大ニ力ヲ盡スノ必要ヲ生スルニ至レリ之ニ依リ立番勤務ハ擴張セラレ警察署ノ人員ハ增加セラルヽニ至レリ其意蓋シ市内ニ於テ不意ノ事故發生シタルトキハ忽チ之レニ應シ得ンカ爲メナリ而シテ第三十三號警察署長ナル警察中尉ヘーン氏ハ立番勤務幷ニ巡回線路等ニ對シ監督ノ任ニ當リ殊ニウンテルデンリンデン街及宮城附近ニ於テハ最モ警戒ヲ加フヘキ必要アリタリ

千八百七十七年ニ於テ騎馬巡査隊ハ已ニ三部勤務ノ方法ヲ採ルニ至リシカ今ヤ

千八百七十八年十月五日以來ハ又其他ノ一般巡査ニ對シテモ之ヲ擧行シ夜間勤務ハ午後一時ニ於テ交代スルコトヽナレリ後千八百七十八年十二月一日以後ニ於テハ午前八時ニ於テ交代スルコトニ變更セリ尚ホ晝日勤務ハ午前八時ヨリ午後十時マテナリトス

皇帝陛下ハ先キニ不慮ノ禍ニ遭遇シ玉ヒテ重傷ヲ負ヒ玉ヒシカ幸ニシテ御全癒アラセラレ千八百七十八年十二月五日ニ於テ市民ノ歡迎ニ依リカールスルーヘ‖ニ病ヲ養ヒタル後目出度歸林シ玉ヒタリ此日人民ノ集ル者ハ殆ント數十萬ノ多キニ達シ軍隊及ヒ學生等ニシテ御警衛ノ任ニ當リタル者ニテモ一萬人ノ多キニ達シタリト云フ此日ニ於ケル夜光ノ催シハ實ニ陛下ノ御健康ヲ祝シ奉ランカ爲メニシテ人民ノ群集スル者亦實ニ非常ノ數ニ達シタリシナリ又見物人ノ乘リタル馬車ハ一萬臺ノ多キニ達シタリト云フ而シテ此ノ如キ混雜ナリシニモ拘ハラス殆ント警察上ノ事故ヲ見ルコトナカリシハ畢竟巡査隊カ能ク上官ノ指揮命令ヲ遵奉シ其職責ヲ盡クシタルニ基因シタルモノナリ

巡査部長及巡査ノ總數ハ千八百七十九年乃至八十年ノ豫算ニ於テハ三千二百〇四人ト定メ遂ニ之ヲ實行スルニ至レリ又豫備巡査トシテ應援等ノ場合ニ於テ補助ノ任ニ當ルヘキモノハ千八百七十九年二月ニ於テ其定員ヲ三百人ニ增加スルニ至レリ然レトモ四月頃ニアリテハ巡査全體ニ對シ欠員ノ多キ四百人ニ及ヒタリト云フ此ノ時ニ當リ警察署ノ數ハ之ヲ六十三ニ增加シ又騎馬部ニ於テハ更ニ二人ノ警察中尉五人ノ巡査部長卅五人ノ巡査等ヲ增加スルニ至レリ

千八百八十二年二月ニ於テ市内鐵道ノ開設セラルヽニ當リ特ニ三ケ所ノ停車場ニ各巡査派出所ノ設立ヲ見ルニ至レリ是ニ於テ從來既ニ設ケラレタル鐵道停車場内ノ派出所ヲ合算スレハ總計十一ノ多數ニ達スルニ至レリ

千八百八十四年八月十七日ノ勅令ニ依リ警察大尉ニ高等官五等ノ位地ヲ附與スルニ至レリ

千八百八十五年四月一日ニ於テ警察署ノ數ハ之ヲ七十四ニ增加シ同時ニ所謂第二次ノ刑事巡査ヲモ新設スルニ至レリ而シテ所謂刑事巡査ナル者ハ固ヨリ常ニ私服ヲ着用シ確然正服的巡査ノ行フヘキ職務ト其ノ分ヲ異ニセリ尚刑事警察上以外ノ場合ニ於テハ營業警察上ノ監督ノ如キ動物保護ノ如キ乞丐監視ノ如キ事

務ヲモ併セテ之ヲ行ヘリ

警視總監フオン、マダイ氏ノ爲メ千八百八十四年九月ニ於テ其ノ五十年ノ職務勤續祭ヲ擧行セラルヽニ當リテヤ皇帝陛下モ深ク之カ慶祝ノ意ヲ表セラレ又諸方ヨリモ之カ祝典ニ加ハリタル者亦甚タ多カリシト云フ而シテ氏ハ伯林ニ於テ十三ケ年ノ久シキ間其職務ニ盡瘁シタル爲メ頗ル其健康ヲ害シタルカ故ニ千八百八十五年十月ニ於テ遂ニ其職ヲ辭スルニ至レリ又氏ノ後ヲ繼キタル者ハ同月廿六日ニ於テストルプ郡ノ郡長ヨリ轉任シタル男爵フオン、リヒトホーヘン氏ナリトス

道路ニアスフハルト及木材ヲ使用スルコト漸次盛ナルニ至リ騎馬巡査ノ乘用馬一匹ハ屢轉倒シテ不慮ノ災ニ罹ルコト少カラス則チ千八百八十五年中ニ於テ此方法ニ依リ負傷シタル者五十八人ノ多キニ達シ其ノ內十四人ハ左側ヨリ轉落シ帶劒ノ爲メニ殊ニ其負傷ニ罹リタル者少カラス是ニ於テ千八百八十六年六月十五日ニ於テ帶劒ノ改造ヲ見ルニ至レリ

千八百八十七年ノ夏季ニ於テ巡査隊ハ臨時ニ非常多數ノ巡査ヲ派遣スルノ必要ヲ生スルニ至レリ則チ八月十九日午前四時ヨリ六時ノ間ニ於テ日蝕ヲ見シカ爲メ無慮五萬人ノ公衆ハテンペルホーフナル原野ニ群集シタルカ爲ナリ

千八百八十二年ノ三月廿二日ニ於テ皇帝陛下ニハ九十年ノ御高齡ニ達シ玉ヒタルニ當リ其天長節ヲ執行セラルヽヤ既ニ其前日ニ於テ學生ハ炬火ノ行列ヲ擧行シ又其二十二日ニ在リテハ市內全體ニ夜光ノ擧行アリ公衆ノ群集ハ非常ノ數ニ達シ交通上ノ困難ハ殆ント想像スルニ餘リアリ此ノ日巡査隊ハ能ク其ノ職責ヲ盡クシタルコトハ當時ノ新聞紙ニ於テモ賞揚シタル所ナリシモ惜ムラクハ宮城ノ近傍ニアリテハ廣告塔ハ群集ノ爲ニ燒毀セラレ道路ノ鐵製欄干ハ拔キ去ラルル等其ノ暴行頗ル甚シク警察中尉某ハ之ニ對抗スルカ爲ニ坎刀スルノ已ムナキニ至レリ

千八百八十三年ノ始メニ於テ既ニ皇帝陛下ノ御健康ハ御不勝克チナルノ報一般ニ傳播セラレタルカ遂ニ陛下ニハ三月九日午後八時半頃御崩御アラセラレタリ職ヲ警察ニ奉スル者一人トシテ痛嘆セサル者ナカリシト云フ是ニ於テ陛下ノ御遺骸ハ十六人ノ下士官ノ荷フ所トナリ壯重ナル儀式的行列ニ依リ之ヲ寺院ニ送

リ四日間ハ安置セラレタリ之カ爲メ寺院ハ毎日午前七時ヨリ午後十時マテハ開放セラレ公衆ハ陛下ニ最後ノ別ヲ告ンカ爲メ御棺側ニ參拜シタル者ハ其數計ヘカラス又皇城近傍ハ殊ニ數十萬ノ群集ヨリ圍繞セラレ其混雜殆ト名狀スヘカラス而シテ巡査隊ハ此鴻恩アル大帝ニ對シ最終ニ於テ其ノ名譽アル職責ヲ盡サンカ爲メ晝夜孜々トシテ其職務ニ從事シタルハ素ヨリ其所ナリ

此尤モ悲哀スヘキ出來事ニ對スル警察上ノ事故ハ公衆中ニ氣絕者及ヒ壓潰者ヲ出シタルコト是ナリ又巡査隊中ニモ壓潰ニ依リ負傷者ヲ出シタル者モ少シトセス殊ニ二人ノ巡査ハ盲目トナリ一人ノ騎馬巡査ハ劇務ニ從事シタルノ結果病ニ罹リ遂ニ數週ノ後死去スルニ至リタル者アリ又巡査隊ハ第三日ノ夜ニ於テハ前日來ノ疲勞ハ其極ニ達シ殆ト又悄トシテ力ナキニ至レリ而シテ其職責ヲ修ユルニハ尙二日ヲ餘セリ是ニ於テ警察官ハ陛下ニ對シ最後ノ名譽アル職務ヲ盡サンカ爲メニ其忠實ノ精神ニ驅ラレ勇氣ハ益、數倍シ又疲勞ノ何物タルヲ忘却スルニ至レリ而シテ御葬儀ハ遂ニ三月十六日ヲ以テ擧行セラレ御棺ノ後部ニハ皇太子殿下ヲ初メトシ各國ノ帶王陛下及皇太子殿下等之ニ隨ハセラレ巡査隊ハ警察大尉ヘフド氏其他警察中尉二人騎馬巡査廿五人ニ於テ善ク其御警衛ノ職責ヲ盡スヲ得タリシト云フ

第六章　フリードリヒ皇帝及ウイルヘルム第二世時代（千八百八十八年乃至千九百一年）

フリードリヒ皇帝ハ先王崩御ノ後即位ニ尋ヒテ各國ノ朝廷ニ行幸セラレ敬意ヲ表セサセ玉ヒタレハ各國皇室ヨリノ來臨者モ頗ル多ク警察ニ於テモ殊ニ之ニ對スル警衛上ニ就テハ頗ル注意ヲ加フルノ必要ヲ生シタリ則チ千八百八十九年五月ニ於テハ伊太利王陛下九月ニ於テハ墺太利皇帝陛下ノ來林セラルルアリ同年十月十一日ニ於テハ又露西亞皇帝陛下ノ伯林ニ行幸アリテ三日間滯留シ玉ヒタリ殊ニ巡査隊ハ此三日間ニ於テハ曾テ稀ニ經驗セル注意周到タル警衛ヲ行ヒタリシカ爲メ露國ヨリハ特ニ警視總監及總監代理幷ニ警察大佐其他二人ノ警察大尉六人ノ警察中尉六人ノ巡査部長六人ノ巡査ニ各勳章有功章等ヲ贈與セラレタリ

千八百八十九年ノ終リニ於テ巡査隊本部ハアレキサンデルプラッツ街ノ警視廳内ニ移轉スルニ至レリ即チ現今ノ警視廳是ナリ

抑モ公共的ノ行列等ニシテ公衆ノ交通上ニ妨害ヲ與ヘスシテ且觀覽人ニ滿足ヲ與ヘ同時ニ可成危險ヲ除去セント欲セハ之カ取締ノ計畫ニ對スル責任ハ亦決シテ容易ノコトニ非サルヘシ是ニ於テ之カ計畫ハ往々週餘若クハ月餘ニ亘ルコトアリ或ハ之ヲ從來ノ經驗ニ徵セラレ或ハ新案ヲ提出セラレ或ハ種々ノ計畫案ニ付キ互ニ比較セラレ爲ニ甚シキニ至リテハ其起草ノ任ニ當レル副官ノ草案ノ如キハ往々其隻影ヲモ認メサルニ至ルコトサヘアリトス

次ニ騎馬部ハ一般ニ其變更ヲ見ルコトナカリシモ獨リ注意スヘキハ千八百八十年ニ於テ囚人護送馬車ヲ以テ該部ノ監督ニ歸シタルコト是ナリ是レヨリ先キ千八百六十六年ニ至ル迄ハ囚人ノ護送ハ各警察署ヨリモルケルマルクトノ警視廳迄徒歩ニテ送ルノ慣習タリシカ種々ノ不都合アリタルカ爲メ之ヲ私人ニ受負ハシメ千八百六十六年ニ於テ新タニ囚人護送馬車（グフワンゲネンワゴン）ノ設ヲ見ルニ至レリ而シテ伯林人ハ俗ニ之ヲ綠色馬車（グリューゲン）ト稱セリ又該馬車ハ七十

年代ノ初期ニ於テハ尚黃色ヲ帶ヒタルコトアリシト云フ千八百七十年ニ於テハ該馬車ヲ以テ護送シタル囚人ノ總數ハ二萬五千六百二十三人ニシテ千八百八十年ニ於テハ七萬四千二百六十六人ニ及ヒ千八百九十年ニ於テハ十一萬一千人ノ多キニ達セリ又經費節減ノ爲メ幷ニ私人ヨリ借入ノ不便ナルカ爲メ千八百八十年一月一日以來六輛ノ車體ニハ巡査隊ニ屬スル十八頭ノ馬匹ヲ以テ之ニ充テ其中八頭ハ騎馬用ニ適セサルノ故ヲ以テ囚人護送用ニ屬セシメ又同時ニ六人ノ馬丁ハ日給雇人トシテ之ヲ採用スルコトヽナレリ又警察區域（フワールベツル）ハ之ヲ四區ノ車行區域ニ分チ毎日四回警察署ニ於ケル拘留者ハ時々ノ電報ニ依リ之ヲ送リ出スコトナレリ是ヨリ先キ囚人護送ノ事務ハ豫備部ニ屬シ馬匹車輛等ニ就テハ騎馬部ニ屬シ來リタリシカ今ヤ一般ノ囚人護送事務ハ悉ク騎馬部ニ從屬セシムルコトナルニ至レリ尚囚人護送馬車ニハ其内部ニ於テ一人ノ巡査之レカ警備ノ任ニ當リ居リタリシカ從來ノ經驗ニ徵スルニ危險ヲ蒙リタルコト鮮シトセス例令或巡査ハ同一車室内ニ於ケル單乘者タル拘留者ノ爲メニ頸部ヲ革囊ノ紐ヲ以テ擰束セラレ殆ト絞殺セラレントシタルコトアリ又或ル時ハ單乘者タル拘留者ヘ長

靴ヲ脫シテ同乘ノ巡査ニ打チ懸リタルコトアリ而シテ原則上狹キ室內等ニ於テハ短銃ノ使用ヲ禁セラレタルカ故ニ爾來巡査ヲシテ鐵槌ヲ携帶セシメ之ヲ革嚢ノ紐ニ結付シムルコトヽナシ其必要ナル場合ニ在リテハ之ヲ使用シ又一方ニ於テハ之ヲ以テ車室內ヨリ扉ヲ叩キ以テ御者ニ相圖ヲ與フルコトヽナセリ之ヲ要スルニ現時ニ於ケル伯林ノ囚人護送方法ハ頗ル完全シ其名聲頗ル噴々タリ又毎年騎馬部ニ於テ購入スヘキ馬匹ハ三十五頭ニシテ千八百九十年ニ於テハ一メーテル六八ノ大サヲ要シ年齒ハ六歲迄ナリトシ一頭ノ代價ハ五百圓ニシテ士官用ノ者ニ在リテハ六百圓ナリトス又之ヲ使用スル迄ニハ數ケ月間馬場（バーン）ニ於ウ豫メ練習セシムヘキモノトス尙馬匹ノ使用期限ハ平均十ケ年ナリトス但シ其囚人護送用ニ代用シ得ヘキモノニ對シテハ尙引續キ之ヲ使用スヘキモノトス當時執行警察官吏ハ漸次其數ヲ增シタルカ爲メ今ヤ千八百九十年ニ於テハ六百十二人ノ人口ニ對シ警察官一人ノ割合トナレリ而シテ當時巴里ニ在リテハ一人ニ對シ二百八十六人ノ人口ヲ有シ倫動及雜納ニ在リテハ四百三十五人ノ割合ナリトス又當時警察上ノ武器ニ關スル取扱ニ就テハ三人ノ士官ヨリ成立セル武器

委員（ウリツヘンコンミッシオン）ニ於テ之ヲ行ヒ警察大尉クライン氏之ニ長タリ是ヨリ先キ千八百七十七年ニ於テ一揆騷擾アリシ以來十五年ヲ經テ茲ニ千八百九十二年二月ニ於テ再ヒ之カ發生ヲ見ルニ至レリ則チ同月二十五日ニ於テフリードリヒ、ハイン ノ麥酒製造所ニ於テ二千五百人計リノ無職業者集會シ集會結了ノ後其ノ中二三百人ノ者ハマルセールノ軍歌ヲ奏シ王城ノ前ヲ通過シ二十四人ノ巡査ハ急報ニ接シ之レカ解散ニ力ヲ盡シ終ニ兵力ニ訴フルノ已ムヲ得サルニ至レリ尙此ノ如キ現象ハ處々ニ發生シタル刻六時頃ニハ千八百計リノ暴漢ハ某街ニ集リ商家ノ店窓ヲ毀チ又時計商煙草商金屬商等ハ各其賣品ヲ奪ヒ去ラレタル者モ少シトセス又暴徒中ニハ屠獸所ヲ侵シタル者アリタルヲ以テ屠手ハ小刀ヲ以テ之ニ對抗シ市內ハ殺氣益紛々タリ又商家中ニハ扉ヲ閉チテ暴徒ノ出入ヲ防クモノサヘアルニ至レリ午後六時頃巡査ハ再タヒ非常召集ノ報ニ接シ投石ヲモ拘引スルニ至レリ又某橋上ニ於テミユル避ケスシテ終ニ四十一人ノ首動者ヲモ拘引スルニ至レリ又某橋上ニ於テミユルレルト稱スル一人ノ巡査ハ暴徒ノ爲ニ投石ヲ試ミラレ暴徒ハ之ニ對シ巡査ヲ水中ニ投スヘシト呼フ者アリ又皇帝陛下ノ御通過ニ際シテハ陛下ニ對シ或ハ麥麭

ヲ與ヘヨト呼ヒ若クハ此飢ヲ奈何セント呼フ者アリ尚巡査隊中ニハ此暴擧ニ於テ武器ノ使用ヲ試ミタル者モ鮮カラス又警察官ニシテ投石ノ爲ニ負傷シタル者モ甚タ多カリシト云フ又拘留ノ總數ハ百三十六人ノ多キニ達シ其中四十三人ハ各々重刑ヲ科セラルヽニ至レリ

此暴動ニ於ケル巡査隊ノ勤勞ハ頗ル非常ナルモノニシテ又一面軍隊ノ援助ニ依リ遂ニ能ク之ヲ鎭壓スルコトヲ得タリシナリ當時内務大臣ヘルフルト氏ハ警視總監フオンリヒトホーフエン氏ニ書面ヲ送リ皇帝及國王陛下ノ命ニ依リ巡査隊ノ注意周到ニシテ且ツ活潑ナル擧動ヲ嘉ミセラレ玉ヒタル旨ヲ部下ニ傳達セラレンコトヲ乞フコトヲ述ヘタリ又右ノ勳功ニ依リ宮城所在地ノ警察署長警察中尉ラング氏及ヒ巡査隊副官警察中尉ハクチウス氏ニハ各叙勳ノ沙汰アリ又警察大佐パリス氏ハ第三等王冠章ヲ警察大尉バルコウ氏ハ第四等赤鷲章ヲ拜受セリ其他巡査部長三人巡査五人ニハ各紀念章ノ授與アリ

當時陸海軍ニ於ケル下士官待遇方法改正ノ結果ハ頗ル巡査隊志願者ニ影響ヲ及ホシ巡査ノ志願者ハ頗ル其數ヲ減少スルニ至レリ是ニ於テ内務大臣ハ千八百九十二年三月ニ於テ歩兵ノ下士官ニシテ一メートル六八ノ身ノ丈ケヲ有スル者ハ志願ノ順序ニ依リ其三百人ニ達スル迄ハ僅カニ四ケ月間ノ豫備敎習時間（プロベザイト）ニ於テ採用スルコトヽナレリ又千八百九十二年四月一日巡査部長及巡査ノ俸給令改正アリテヨリ以來三年毎ニ進級ノ制度ヲ施行スルコトヽナリ二百四十「マルク」（百二十圓）ノ宿料ノ外巡査及巡査部長ノ俸給ハ左ノ如ク之ヲ定ム

巡査

一級		七百五拾圓
二級		七百拾圓
三級		六百七拾圓
四級		六百參拾圓
五級		五百九拾圓
六級		五百五拾圓
一級		壹千圓
二級		九百五拾圓
三級	方面巡査部長	九百圓

四級　八百五拾圓
五級　八百圓

其他警察士官ノ俸給令改正モ千八百九十三年四月一日ニ於テ施行サルヽニ至レリ是レヨリ先キ伯林警察ノ名聲ハ漸ク海外ニ迄モ發輝シ千八百九十二年土耳古政府ノ如キハ其首府コンスタンチノープルニ於テ伯林式ニ依リ巡査隊ヲ形成セントシタルノ故ヲ以テ警察士官及巡査等ノ服裝及携帶品等ヲバ外務省ノ手ヲ經テ原品ノ儘取寄スルコトヽナレリ又殊ニ伯林巡査隊ニ於ケル頗ル名譽ナル事蹟ハ警察大尉ヘーン氏ノ日本帝國ニ雇聘セラレタルコト是ナリ則チ千八百八十五年警察大尉ヘーン氏ハ日本政府ノ依頼ニ應シ日本警察ノ改善ヲ圖ルカ爲ニ派遣セラレタリ氏ハ巡査敎習所ノ敎官タル巡査部長フイガスセウスキ氏ト共ニ東京ニ達シテ日本ノ少壯有爲ナル警察官ヲ養成スルカ爲メ特ニ新設ノ警官練習所ニ敎鞭ヲ採リ氏ノ盡力ニ依リ日本ニ於ケル警察ノ組織ハ頗ル其面目ヲ一新スルニ至レリ而シテ此學校ヲ卒業シタル生徒ハ殆ト日本全國中ニ分配セラルヽニ至レリ後此學校ノ數年後ニ於テ閉鎖セラルヽヤヘーン氏ハ日本全國ニ出張シテ警察

上ノ視察ハ勿論自カラ其組織ヲモ監督シテ之ガ改良ヲ圖リ其時ト處トニ應シテ適切ナル劃策ヲ當該官廳ニ提出シ又更ニ自己ノ經驗ニ基ケル警察改良上ノ意見ハ之ヲ内務大臣ニ報告セリ氏ハ此如クニシテ自己ノ抱持セル目的ハ殆ト之ヲ既往六年間ニ於テ成就シ今ヤ功成リ名遂ケテ千八百九十一年再ヒ伯林ニ歸リテ警察大尉ノ職ニ復シ方面監督官ノ任ヲ帶ルニ至レリ而シテ此俊秀ナル警察士官ノ成功ヲ表白センカ爲尚當時日本駐在獨乙公使フオルレーベン氏ハ獨乙ノ外務大臣ニ向ヒヘーン氏ノ事績ニ就キ報告セリ今其一節ニ徵スルニ實ニ左ノ辭アリ曰ク

ヘーン氏ハ終始日本政府ノ歡迎スル所トナリ日本警察官ヨリハ殊ニ非常ナル稱贊ヲ蒙リタル者ナリ蓋シ氏ノ人格及行動ハ實ニ古代ニ於ケル普魯西官吏的ノ嚴格ナル態度ニ於テ官吏ノ忠實ニ事務ヲ執ルヘキ好摸範ヲ示シ大ニ日本警察ノ爲ニ其光輝ヲ放ツニ至ラシメタリ余ハ屢日本ノ内地ヲ旅行スルニ當リ其南タルト北タルトニ拘ラス上ハ縣知事ヨリ下ハ巡査ニ至ル迄ヲ警察官ノ階級ノ何レタルトヲ問ハズヘーン氏ニ對シ其將來ニ向ヒ益々多福ナランコトヲ祈ル者多キコト

ヲ見聞シタリ而シテ此事實ハ亦日本政府ガヘーン氏ニ對シ形式的ニ如何ナル贊辭ヲ與ヘタリシヤ否ヤヲ研究スルノ必要ナキナリ否之ヨリモ尚正確ナルコトハ以上ノ事實ニ依リテ分明ナルヘシト思考ス故ニ余ハ茲ニ獨逸外務省ニ向ツテ此報告ヲ爲ス所以ナリ云々ト

ヘーン氏ハ千八百九十二年十二月ニ於テ二豎ノ侵ス所トナリ終ニ伯林ニ於テ逝去セリ日本人ハ之ガ訃音ニ接シ其首府東京ニ於テ特ニ紀念碑ヲ建設シ其碑面ハ山縣伯爵ノ題辭ニシテ清浦司法次官ノ選文ニ係ル而シテ其碑陰ニハ警官練習所出身者ノ姓名ヲ掲ケタリ其文ニ曰ク

警察ノ体ハ紀律ニ在リ紀律苟モ整ハザレバ警察ノ任何ニ由リテカ之ヲ保タン警察ノ用ハ勤勉ニ在リ勤勉苟モ至ラサレハ警察ノ職何レノ處ニカ之ヲ盡サム嗟呼普國警察大尉ヘーン君ノ如キハ實ニ一身ヲ以テ此二者ヲ具ヒ警察ノ師表タルニ餘リアリト謂フベシ我邦王政維新成ナカマレリ而シテ警察ノ事未ダ善美ヲ盡ス能ハザルモノアリキ時ノ内務卿山縣伯乃チ警察ノ事務ニ嚴正ノ訓練ヲ施スノ必要ヲ感シ遠ク君ヲ普國ニ聘ス君ノ聘ニ應ジテ來朝セシハ明治十八年三月ニ在リ爾來命ヲ奉シテ廿三年三月ニ至レリ初メ約スルニ三ケ年ヲ以テシ繼ヲ又ク二ケ年ヲ重ネ前後凡ソ五年其後一ケ年ハ警視廳ノ顧問トナリテ力ヲ其警察ニ致シタリ君ノ内務省ニ在ルヤ專ラ警官練習所ニ從事シテ各府縣警察官ヲ薫陶セリ其間授業ヲ終ヘシコト凡ソ四回卒業生ヲ出セシコト凡ソ五百五十三人月ヲ重ネシコト凡ソ千八百二十有餘日而シテ未ダ曾テ一日モ其職ヲ曠廢セズ適々疾病ニ罹ルモ務メテ其業ヲ執リ幾微モ辭色ニ見ハシタルコトナシ君ハ口ヲ以テ警察ノ勤勉ヲ說クノミナラズ其身實ニ之レカ儀表トナレリ其生徒ニ接スルヤ纖少ノ事モ淺近ノ理モ諄々トシテ敎ヘテ倦マス語リテ遺サス口若シ之ニ及ハサレハ額ノニ手容ヲ以テスルニ至リヌ授業ニ臨ムヤ一秒ダモ時間ヲ過サス音吐嚴肅容貌端正其服ハ粗野ヲ極メタレトモ敢テ一點ノ汚ヲ着ケス其靴ハ古色ヲ帶ヒタレトモ常ニ澤々トシテ光アリ君ハ以テ警察ノ紀律ヲ說クノミナラス其身實ニ之レガ模範トナレリ古人ノ言ハ行ヲ顯ミ行ハ言ヲ顯ミルト言ヒシハ君ノ謂ニアラスヤ君ハ身ヲ一兵卒ヨリ起シテ下士ニ拔擢セラレ普墺ノ戰ニハ砲烟彈雨ノ間ニ驅馳シテ忽チ少尉ニ昇リ普佛ノ戰ニ亦タ戰地

ニ在リテ中尉ニ進ミ爾後身ヲ警察ニ委チテ遂ニ警察大尉ニ任セラレ其間多クノ
榮譽アル勳章ヲ得タリキ蓋シ君ノ勤勉ナルハ之レヲ天性ニ得タレトモ君ノ紀
律ハ之レヲ軍隊ニ根帶シテ大ニ警察ニ發揚シタルモノアラサルハナシ而シテ
君ノ警察上ノ意見ハ豈多年ノ若必ヲ以テ警察ヲ實踐シタル賜ニアラサルナキ
ヲ得ンヤ君ハ敎授ノ暇ニハ命ヲ奉シテ我全國警察ノ實況ヲ視察シ西ハ九州ニ
趣キ沖繩縣ニ航シ東ハ奥州地方ヨリ北海道ニ至ル歸レハ必ス復命書ヲ呈シ其
論究スル所大觀精察各其宜ニ適シ苟モ美ナルモノハ悉ク擧ケテ之レヲ奬勵シ
其弊ノ存スル所ハ細大指摘シテ之レカ矯正ヲ勉メタリ是ノ時ニ當リ余乏キヲ
警保局長ニ承ケテ專ラ警察制度ノ釐革ニ從事セリ而シテ君ハ先ツ警察官ヲ薫
陶シ以テ警察ノ精神ヲ發輝シ次ニ警察事務ヲ視察シテ以テ警察ノ形体ヲ整理
スルニ君ノ未タ來朝セサルヤ我警察取調ノ命ヲ奉シテ普國ニ至レルモノ前ニ
佐和、小野田、林ノ三氏アリ後ニ園田、松本、小川ノ三氏アリ當時君大ニ其取調ニ便
宜ヲ與ヘテ前後裨益スル所尠シトセス君ノ我警察ニ於ケル直接ニ間接ニ其力
ヲ致セシコト實ニ大ナリト謂フヘシ故ニ我朝庭ハ君ノ功ヲ表シ勳四等ニ叙シ

旭日小授章ヲ授與セラレ尋イテ又勳三等ニ進メ瑞寶章ヲ授與セラレヌ抑々君
カ數ヘ子ハ多ク此土ニ在リ君ノ功德ノ種子ハ多ク此土ニ植ヘラレヌ他日ノ功
業若豈ニ刮目ノ情ナカラムヤ君ノ足跡ハ多ク此土ニ印ス鎭西ノ水ニ東奥ノ山
ニ君豈ニ戀々ノ情ナカラムヤ故ニ君ノ此土ヲ去ルニ臨ミテ語ルヲ日本ノ警
察ハ今ヤ進歩ノ途ニ上レリ余ハ他日再遊シテ必ス眼ヲ刮テ之レヲ觀ムト其後
余ノ歐州各國ヲ巡遊シテ普國ニ赴クヤ君方サニ伯林府ノ警察方面監督タリ亦
タ余ノ爲メニ東道ノ主人トナリ大イニ視察ノ便ヲ與ヘラレタリ而シテ余ノ歸
朝シテヨリ未タ幾クナラサルニ君ハ病ヲ以テ伯林府ニ沒ス實ニ我明治廿五年
十二月卅日ナリ君ノ余ト手ヲ伯林府ニ分ツヤ慇懃ニ再遊ヲ約シ思慕低徊殆ト
我邦ヲ忘ルヽ能ハサルモノヽ如クナリキ其音容恍トシテ今猶ホ目ニ在リ何ソ
圖ラム一朝幽明地ヲ異ニシテ再會相期ス可カラサルニ至ラントハ頃者舊故ノ
士相謀リテ表功ノ碑ヲ墨水ノ濱ニ立テ以テ君カ功ヲ不朽ニ傳ヘムトス余ノ君
ト公私ノ交リ尤モ篤キヲ以テ文ヲ余ニ徵ス余輒チ其顚末ヲ記述スルコト此ノ
如シ嗚呼君ニシテ知ルアラハ幽魂遠ク來リテ生前再遊ノ約ヲ履メ膚淺ナル我

文何ソ敢テ君ノ靈ニ告タルト云ハン但我輩ノ君ヲ思フ至誠ハ庶幾クハ君ノ魂ヲ慰スルニ足ルモノアラム

又ヘーン氏ノ隨從者タル巡査部長フイガスセウスキ氏ハ千八百八十七年ノ春日本國土ノ氏ノ身ニ適セサリシノ故ヲ以テ病ニ罹リ任ヲ解テ伯林巡査隊ニ歸任セシモ遂ニ千八百八十七年六月ニ至リ逝去スルニ至レリ其際日本皇帝陛下ハ特ニ勳六等旭日章ヲ贈與セラレ千八百八十九年五月日本警察官ハ特ニ氏ノ未亡人ニ對シテ五千圓ヲ醵出シタリト云フ

ヘーン氏ノ死ニ次キ伯林巡査隊ノ苦痛ヲ感シタルコトハ其司令官タルパリス警察大佐ノ訃音ニ接シタルコト是レナリ氏ハ四ケ年間其職ニ在リテ内部ノ組織ヲ改善シ執務上ノ簡易ヲ計リタル等巡査隊ニ貢獻セルコト少ナカラス而シテ氏ノ跡ヲ繼キタル者ハプラウンシユワイグノ歩兵隊長少佐グルナウ氏ナリトス

千八百九十三年四月一日發布ノ法律第七條ニ依リ曾テ八百三十七年七月三十一日ノ條約ニ依リ伯林市ノ負擔ニ屬シタル伯林夜警制度ハ之ヲ廢止シ千八百九十二年四月二十日發布ノ警察費負擔法律（ゲゼツツアイコス）第一條ニ依リ夜警ニ關スル費用ハ悉ク之ヲ國庫ノ負擔トナシ之レヲ實行スルニ至レリ此改革ハ巡査隊ニハ至大ノ影響ヲ及シタルモノニシテ是ヨリ先キ千八百七十年代ニ於テ既ニ市街ノ夜警制度ヲ巡査隊ニ合併スルノ議アリシモ當時ノ事情ハ未タ之ガ實行ヲ許サヾリキ抑モ該夜警制度タルヤ徹夜的ニ勤務セルガ爲其勢力ヤ甚シク監督ハ頗ル嚴重ヲ要シ其手數ヲ要スルコトモ又頗ル過度ニ出デンモノニシテ且ツ其人ヲ雇入ルヽコトモ頗ル困難ヲ覺ヘタリシ況ンヤ夜警ニハ鍵料（シユリユツセルゲルテル）及ヒ酒手（トリンクゲルデル）ヲ取得スルノ一種ノ弊害之ニ伴ヒタリシナリ是ニ於テ警視廳ハ市廳ト交渉シ之ニ要スル市費ハ之ヲ國庫ニ支拂ハシメ之ヲ以テ警察的統一事務ノ發達ヲ計ント企テタルモ終ニ行ハレズ是ニ於テ先ニ稱スル警察費負擔法律ノ發布ハ終ニ此至難ナル問題ヲ解決スルニ至レリ其結果著シク巡査隊ノ增員ヲ見ルニ至リタリ然レトモ當分ハ斷然之ヲ廢止スルコトハ實際上頗ル困難ナル事情アリヤヲ以テ先ニ述タル千八百九十三年四月一日發布ノ法律ニ依リ當分ハ尚之ヲ保存シ國庫ヲ以テ支拂ヒタリシナリ是ニ於テ徐々ニ巡査隊ノ人員ヲ增加シ終ニ千八百九十五年ニ於テ全ク整然タル巡査隊ヲ以テ之ヲ形成スルニ至レリ其結果道路

警察ニ對シテハ從前ニ比シ平均一警察署ニ就キ十五人乃至二十人ノ增員ヲ見ルニ至レリ而シテ之ガ爲メ從來方面屯所（ベチルクスクワルヘン）ニ多クノ巡査ヲ用意スルコトハ到底行ハレ難キニ至リ多少ノ例外アリト雖ト モ殆ド凡テノ方面屯所ハ之ヲ廢スルニ至レリ巡査隊ノ欠員（ツマンゲル）ハ漸次其極度ニ達シ千八百九十三年六月ニ於テハ五百十人ノ多キニ達セリ而シテ此不足ヲ補充スル爲ニハ千八百九十三年七月二十五日勅令ノ發布アリテ之レカ規定ノ改正ヲ見ルニ至レリ又巡査タルニハ陸海軍出身者中下士官タリシ者ニシテ半ケ年ノ教習ヲ經タルモノニシテ六ケ月間ハ試驗的ニ之ヲ採用スヘキモノトス又恩給權ハ六ケ年間現役ノ軍務ニ服シタルモノニシテ巡査ノ職務年限ト合算シテ十五ケ年ニ及ヒタル者ニ於テ取得シ得ヘキモノナリ尚身ノ丈ケハ再タヒ之ヲ一メートル六五ニ減スルコトヽナレリ警察署ノ增設モ人口ノ增加ニ伴ヒ千八百九十二年ニ於テハ九十千八百九十三年ニ於テハ九十六ニ達セリ

千八百九十三年巡査隊司令長ヲシテ警察士官ニハ八日間迄巡査部長及巡査ニハ四週間迄ノ休暇ヲ與フルノ權能ヲ附與セシメタリ又方面警察大尉ニハ部下ノ士

官ニ二十四時間以內ノ休暇ヲ與フヘキコトヲ許可スルコトヽナレリ尚巡査隊ノ司令官代理トシテ年長者タル方面監督警察大尉クラウゼ氏ハ司令長事故アルトキハ代務スルコトヽナレリ而シテ千八百九十四年三月十八日ニ至リ氏ハ終ニ司令長タルニ至レリ蓋シ從來二十四年間司令官ハ之ヲ現役軍人ヨリ採用シ來リタリシカ今ヤ之ヲ巡査隊ヨリ採用スルニ至リタルハ全ク巡査隊信用ノ致ス所ナリクラウゼ氏ハ曾テ陸軍少佐タリシ人ニシテ巡査隊ニ入リタルハ千八百六十七年八月一日ニシテ警察中尉ヲ經テ警察大尉ニ進ミ遂ニ警察大佐ニ昇進シタル人ナリ

新任巡査教習ノ方法ハ年來豫備部ノ管轄ニ屬シ殊ニ之カ爲ニ學校ヲ設ケ巡査ノ位置幷ニ職務上責任ノ何物タルコト幷ニ警察官ニ必要ナル智識等ヲ教習シ殊ニ道路ノ取締ニ就テハ深ク意ヲ用ユル所アリ而シテ此學校教員ハ巡査部長カスチル及ヒニユルンベルグ氏ノ熱心ニ依リ其成績頗ル見ルヘキモノアリ又學校ノ教習期間中ニ在リテハ教習生ハ實務ニ就クコトナク卒業後ハ尚警察署ニ於テ實務練習ハ勿論法規等ヲモ併セテ教習スヘキモノトス

尙巡査敎習所ノ外ニ千八百九十五年巡査部長敎習所ノ開設アリテ五ケ月間之ヲ敎習シ其生徒ハ巡査中ヨリ之ヲ拔擢セリ而シテ此場合ニ於テハ警察學上ノ事項ハ勿論其他稍々高尙ナル法律上ノ觀念文章ノ敎習獨乙帝國ノ歷史政治地理算術等ヲモ敎習シタル上之カ卒業ノ後ハ欠員アルニ隨ヒ巡査部長ニ採用シ苦シ欠員ナキトキハ二ケ年以上モ候補者タルコトアリ又該敎習所ニ於テハ伯林以外ノ警察官廳ヨリノ囑托ニ應シ之ヲ敎習スルコトアリ敎師ハ三人ニシテ二人ノ警察中尉及一人ノ司法警察主任警部之ニ該リ尙電信取扱ノ如キ技術上敎習ハ十週間警視廳ニ於テ敎習スベキモノトス

巡査隊ノ人員ハ當時五千百二十人ニ達シ其中百九十八人ハ士官ニシテ四千九百二十二人ハ巡査部長及ヒ巡査ナリトス而シテ之カ長タル警察大佐ノ直接指揮ニ屬スヘキ副官ハ警察中尉四人ナリトス又高級副官ハ千八百九十五年ニ於テハ警察大尉之ニ當ルコトヽナレリ是レヨリ先キ千八百四十八年ニ於テ巡査隊ノ創設セラルヽヤ副官ノ位置ハ大尉ナリシカ千八百五十一年改革ノ際中尉トナスニ至リシナリ

千八百九十五年六月五日警視總監フォン、リヒトホーフェン氏ハボン府ニ於テ逝去セラルヽニ至レリ氏ハ十年ノ久シキ伯林警視總監ノ重職ニアリタルノ人ナリ氏ノ如何ニ警察ニ盡悴シタリシヤハ之ヲ八日ニ於テ擧行セラレタル葬儀ノ日ニ於ケル高級書記官フリードハイム氏ノ辭ニ徵シテ明カナリトス其中ニ云ヘルアリ曰ク故ノ警視總監リヒトホーヘン氏ハ確固不拔ノ勤王心ニ(ウンエルシユッテルリヒ、トロイエ)富ミ王政主義(モナルシヒツシエゲザンヌンクヲ)ノ主唱者タリ故ニ氏ハ常ニ此方面ニ對シ全力ヲ注ケリ尙氏ノ美德ト稱スヘキコトハ氏ハ尤モ困難ナル職責上ニ關シテハ之ヲ部下ニ委任スルコトナクシテ自カラ責任ノ衝路ニ當レリ氏ハ實ニ正實ノ友(グレヒナヒカイツリーベル)ニシテ皮相ノ敵(フワインド、エー、デンシヤインス)タリ利己主義ヲ排斥シ上下左右ヲ顧ミルコトナク正義ノ方面ニ直進シ苟クモ正義ト信スルコトハ之ヲ實行スルニ躊躇セス云々』

フォン、リヒトホーフェン氏ニ繼ギ同年六月二十二日ニ於テ氏ノ跡ヲ襲ヒタル者ハステツチシノ警視總監フォン、ウインドハイム氏ナリトス

氏ノ就職後暫時ニシテ注意スヘキ事項ハ千八百九十五年六月二十一日ニ於ケルノルドオストゼーノ運河落成ノ爲ニ催サレタル開通式ナリトス而シテ此開通式

ハ凡テ海運ノ業ヲ營メル各國人ノ企業ニ成リタルモノニシテ伯林巡査隊カ之カ取締ノ任ニ當リタルハ最モ名譽トナセル所ニシテ警察大尉ハクチユース氏ハ取締上ノ指揮ヲ行フコトヽナレリ而シテ内務者ヨリハ警察事務官（ポリツアイラート）エツクハート氏出張シ之ガ總指揮官タリ是ニ於テハクチウース氏ハ豫メ現場ニ主張シ種々ノ豫備的計畫ヲ行ヒ又六月十八日ニ於テハ八人ノ警察中尉十五人ノ巡査部長百五十人ノ巡査ヲ率ヒ伯林ヨリ滊車ニ乘シキールニ出發セリ又十九日ニ於テハ試驗的ニ非常警報ヲ發シ次ノ日ニ於テ行フヘキ場所ニ就キ用意的警戒方法ヲ講セリ二十日ニ於テハ外國船ハ勿論獨逸皇帝陛下御召ノホーヘンツオルレルン號ヲ初メ軍艦輻湊シ觀覽人ハ雲集シ無數ノ蒸汽船ハキール港ヨリ數千人ノ觀覽人ヲ乘載レ波止場ニ於ケル混雜ハ殆ト名狀スヘカラス然レトモ幸ニシテ警察ノ取締ハ能ク其効ヲ奏スルヲ得タリ二十一日ニ於テハ午後ニ於テ觀艦式（フロツテンパラーデ）ノ擧行アリヲ是レ又無事ニ結了シ特ニ老練ノ人ヨリ成立シタリシ巡査隊ハ此行善ク外國人ニ對シ伯林警察ノ光輝ヲ放ツコトヲ得セシメタリ又キール近傍ノ憲兵モ來リテ應援シ警察大尉ハクチユース氏ノ指揮ノ下ニ於テ活動セリ内務大臣

フオン、ケルレル氏ハ取締上ノ成蹟ニ就キ警視總監ニ書面ヲ送リ巡査隊ノ殊功ヲ謝シ部下ニ此意ヲ通セラレタキ旨ヲモ申來レリ又皇帝陛下ヨリハ警察大尉ハクチウース氏及三人ノ警察中尉其他多クノ巡査部長巡査等ニ各勳章及名譽章ノ下附アリ尚其他阿關士等ヨリモ勳章下賜ノ沙汰アリ

此ニ奇怪ナル出來事ノアリタルコトハ此祝典ノ後數日ヲ經テ六月廿九日ノ夕刻ニ於テ警察大佐クラウゼ氏ニ對シ一箱ノ小包郵便到達シ居ルトノ郵便局ノ報知ニ接シタルコトヨリ是ニ於テ所屬警察署長ハ直ニ郵便局ニ到リ是レカ事實ヲ取調ヘタルニ是レヨリ先キ郵便吏員ノ手ニ達シタル一個ノ箱ハ其中ニペンチン的臭氣發散シ内部ニ於テハ時計ノ音響ヲ聞取ルコトヲ得タリ郵便吏員ハ謂ヘラク必ス一種ノ奇器ノ含畜スルナラントヨリ是ニ於テ試ミニ相當ノ距離ヲ以テ之ヲ庭内ニ安置シタリシニ流動物ハ蒸發シ殘リタル臭氣幷ニ内部ノ音響ハ益々其度ヲ高メ遂ニ函中ノ裂口ヨリ多數ノ曝ノ存在ヲモ發見スルニ至レリ之ニ依リ今ヤ函中ニハ全然危害物ヲ含有スルコト明瞭ナルニ至レリ又謂ユル函中ニ於ケル奇怪ナル時計ハ一定ノ時間ヲ經ルニ及ヒ破裂力ヲ作成スルノ仕掛ニテ

分時ノ進行ト共ニ危險ニ近ク所以ヲモ覺知スルニ至レリ蓋シ加害ヲ企ントシタル者ハ其クラウゼ氏ニ達スルトキハ自カラ破烈ノ時機ニ到達セント企テタル者ナリ而シテ此ノ凶行者ノ誰ナルハ頗ル研究スヘキ問題ニシテクラウゼ氏ハ其位置ヨリスルモ毫モ政事上ニ關係アルコトナシ故ニ犯人ハ政事上ニ關係アル者ノ所爲ニ非サリシ事ハ一般ノ想像シタル所ナリシカ滿一ケ年ノ後ニ於テ始メテ其犯人ノ無政府黨員ナリシ事ヲ發見スルニ至レリ

當時皇帝陛下ハ伯林ニ在ラセラレサリシカ大佐ニ向ヒ次ノ電報ヲ發シ給ヒシト云フ

朕ハ鄕ニ對シ企テラレタル惡計ニ就テ大ニ恐愕セリ神力ニ依リ朕ハ朕ノ祖先ノ有爲ナル士官ニシテ且ツ始終皇室ニ忠實アル臣ヲ失ハサリシヲ深ク喜フ所ナリ願クハ鄕ハ益々伯林城幷ニ鄕ニ從屬セル巡査隊ノ爲ニ盡ス所アレ

御名

千八百九十六年ニ於ケル伯林ノ工業博覽會ニハ外國人ノ來觀スルモノ頗ル多クシカリシトス暑中休暇ハ是レカ爲ニ大ニ節減セラレ甚タシキハ全ク之ヲ得サリシ者モ少シトセス當時劇場取締ノ勤務ニ付テハ日々四人ノ警察士官十三人ノ巡査部長七十七人ノ巡査二人ノ騎馬巡査部長十三人ノ騎馬巡査之カ取締ノ任ニ當リ又水上警察ニアリテハ更ニ一人ノ警察中尉一人ノ巡査部長及二十一人ノ巡査ヲ增員スルニ至レリ

警察官ハ路上ニ於テ負傷者アルトキハ之レカ應急手當ヲ行フノ必要アルヲ以テ千八百八十二年以來衛生事務官ドクトル、ハンブルグ氏ノ指揮ノ下ニ於テ毎年人命救助ニ關スル敎習ヲ行フニ至レリ之レカ爲メ千八百九十六年ニ至ル迄テ殆ント千六百人斗リノ警察士官及ヒ巡査ノ養成ヲモ見ルニ至リタリト云フ

千八百九十七年三月廿一日ニ於テ故ノウヰルヘルム大帝ノ百年祭ヲ見ルニ至ルヤ尋テ廿二日ニ於テハ大帝ノ國民的紀念碑ノ除幕式アリ此式場ニ列シタル者ハ七千人ナリシト云フ又廿三日ノ午前ニ於テハ千三百ノ組合ハ八百ノ旗ヲ携ヘテ行列ヲ試ミ又夕刻ニ至リテハ百五十臺ノ車輛ヲ隨ヘタル二千人ノ學生ヨリ催サレタル炬火行列ノ壯擧アリ尙同時ニ廿二日及廿三日ニ於テハ壯大ナル夜光ノ儘

此ノ祭典ニ於テハ警察大佐クラウゼ氏十八ノ警察大尉及百人ノ警察中尉二千三百三十九人ノ巡査及二百五十四人ノ騎馬巡査ヲ指揮シ市中殆ント警察上ノ事故ナク無事ニ結了スルヲ得タリ唯獨リ三人ノ騎馬巡査ハ落馬シテ之レカ爲メニ負傷シタリシト云フ

功ニ依リ陛下ハ警視總監フオン、ウインドハイム氏及警察大佐クラウゼ氏ニ赤鷲章勳三等ヲ授與セラレタリ尚警察大尉五人警察中尉六人ニ各勳章授與ノ御沙汰アリ

廿四ケ年間改正ヲ見ルコト能ハサリシ警察士官ノ俸給ハ漸ク千八百九十七年四月一日以來之レカ改正ヲ見ルニ至レリ即チ其金額左ノ如シ

警察大佐年俸三千圓乃至四千圓
同乘馬料外ニ六百圓
警察大尉年俸千八百圓乃至二千五百圓
同宿料外ニ四百五十圓
警察中尉年俸千三百五十圓乃至二千圓

警察大佐ハ二頭ノ馬匹ヲ二人ノ上級副官及ヒ騎馬部ノ指揮官及之レニ從屬スル二人ノ士官ハ各々一頭ノ馬匹ヲ得ルコトナレリ其ノ他乘馬本分ノ警察大尉ハ各々千圓ノ馬料ヲ得ヘキモノトス巡査隊ニ於ケル士官ノ補充ハ必ス現役若クハ豫備士官中ヨリ之ヲ採用スヘキモノニシテ其ノ年齡ハ廿四歳乃至三十歳ノ者タラサルヘカラス而シテ之等ノ士官ハ十五ケ月間警視廳内ニ於テ警察大尉クラキン氏ノ講述ヲ聞キ又方面警察大尉及警察署長等ヨリハ實務的ノ養成ヲ受ケ更ニ試驗ノ後警察中尉候補生ニ任セラレ年額六百圓乃至百二十圓ノ俸給ヲ得ヘキモノニシテ其本官ニ任セラルヘキ順序ハ其ノ年月ノ順序ニ依ルヘキモノトス

其他千八百九十年ヨリ千九百年ニ至ル迄ノ既往十ケ年間ニ於ケル巡査隊ノ改革中頗ル見ルヘキモノハ伯林市ノ擴張及ヒ人口ノ繁殖ニ伴ヒ其ノ組織ノ改善モ亦之ニ準シ開發シタル點是ナリ則チ警察署ノ數ハ千八百九十二年ヨリ千八百九十八年ノ間ニ於テ之ヲ百二ニ增加スルニ至レリ其他千九百年ニ於テハ我邦ノ上野公園トモ稱スヘキチールガルテン公園ニ於テ、皇帝陛下ノ御發意ニ依リ二個所ノ屯所（クワツヘン）ヲ新設シタリ而シテ該公園屯所ハ所屬方面監督署ニ屬シ巡査部長之ニ長タ

リ該屯所設立ノ趣旨ハ紀念神及公園ノ保護等ニアリトス尚千八百九十二年ニ於テハ方面監督署(ヘチロクスハウアトマンシヤアトハウスハルトエター)ニ於テハ先ヅ二百人ノ増員ヲ見ルニ至レリ

千九百一年度ニ於テハ勤務方法改正ノ結果殊ニ盡勤人員ヲ増加スルガ爲メ巡査定員増加ノ必要ヲ生スルニ至レリ則チ此目的ヲ從ヒ千九百一年ノ國庫豫算(スタート)ニ於テハ先ヅ二百人ノ増員ヲ見ルニ至レリ

千九百年ノ終期ニ於ケル巡査隊人員ハ總計五千三百七人ニシテ其内譯左ノ如シ

警察大佐	一人
警察大尉	十九人
警察中尉	百三十八人
護備警察中尉	五十五人
巡査部長	四百十二人
巡査	四千四百四十四人
騎馬巡査部長	十八人
騎馬巡査	二百二十人

附言此總數中ニハ刑事及風俗警察ニ從屬スベキ刑事巡査五百人ハ此中ニ含有セザルト雖モ政事警察ニ從屬スベキ十人ノ刑事巡査及部長百二十三人ノ刑事巡査ハ之ヲ含ム之ヲ要スルニ是等ノ巡査隊員及百〇六人ノ警察署ニ配置セル騎馬巡査ヲ除キタル凡テノ人員ヲ以テ巡査隊ヲ構成スヘキモノトス

千九百一年度ニ於テハ又巡査隊司令部ノ組織上ニモ著シキ變更ヲ見ルニ至レリ則チ警察大佐ノ職責ヲシテ容易ナラシメ且ツ巡査隊組織ノ益擴張セラレタルガ爲メ之ガ監督モ又從テ之ヲ分ツノ必要ヲ生ジタルヲ以テ新タニ四個ノ方面監督署毎ニ一大方面監督署(ポリツアイブリガデ)ヲ設ルノ必要ヲ生ジ總計三大方面監督ヲ新設シ之ガ長官ハ新設ノ警察少佐ヲ以テ之ニ宛テ警察少佐ハ其管轄區域内幷ニ巡査本部中ニ事務所ヲ有シ從來警察大佐ノ行ヒ來リタル事務ノ大部分ハ之ヲ委任スルコトトナレリ

以上述ル所ニ依リ余ハ大体巡査隊ノ沿革ヲ述ヘタルヲ以テ終ニ水上警察ニ就キ

一言ヲ試ミントス

伯林ノ位置ハ水流ニ沿ヒタルヲ以テ以前ヨリ水上警察上ノ必要アリタルヲ以テ特ニ水上警察署ノ設置アリシ迄ハ千八百五十年ニ於テ當該警察署ノ警部並ニ巡査ニ相當スル三人ノ水上監吏（ストロームマイステル）ニ於テ之カ取締ノ任ニ當リタリ後水上監吏ハ廿三人ニ其數ヲ增シ千八百五十五年ニ於テハ始メテ巡査部長ヲモ設クルニ至レリ而シテ此人員ノ半數ハ事務所ニ在リ又其他ノ者ハ水路ノ取締ニ從事セリ又之カ爲メニ三隻ノ短艇（ヨルレン）ヲモ設ケラルヽニ至レリ而シテ其建設ノ始メニアリテハ巡査ニ於テ自ラ之ガ漕手ノ任ニ當リシト云フ後同船ハ帆船トシテモ之ヲ使用シ得ルノ裝置ヲ見ニ至レリ之ヲ官廳ノ記錄ニ徵スルニ伯林ノ水上警察組織ハ昔時ノ警視總監フオンヒンケルヂ氏ノ賜物ナリトス而シテ獨リ內地ノ水上ニ對シ監督ヲ行ヒタルノミナラス又廣ク同一帝國ノ境界ニ迄モ其名聲ヲ博スルニ至レリ現時ロ於テハ警察大尉ノ指揮ノ下ニ於テ六人ノ巡査部長四十人ノ巡査從屬シ其內二人ノ巡査部長及ヒ廿九人ノ巡査ハ常ニ船舶行通取締上ノ外勤事務ニ從事セリ又曩キニ設ケタル短艇ノ外ニ警察蒸滊船ヲモ設クルニ至レリ尙水上警察ハ陸下ノ水上ニ船ヲ浮ハセ給ヒタルトキ等ニ於テハ警衛ノ任ニ當リタルコトアリ例ヘハ千八百九十六年ニ於テ陛下ハアレキサンドル號ニ乘シ給ヒテトレツプトウニ航シ給ヒタル時等ノ如キ是ナリ

余ハ是ヨリ伯林巡查隊ニ於ケル巡查救濟方法ニ付一言ヲ試ミントス

第一　巡查隊ノ病傷基金

溯給ナル巡查一朝病ニ罹ルヤ充分ニ攝養ヲ加フコト能ハサルヲ以テ巡查部長及ヒ巡查ハ每月三十三錢餘ヲ出金シ醫療基金ヲ設ケ四人ノ開業醫及ヒ四人ノ外科醫ヲ巡查隊ニ採用シ特別ノ規程ヲ設クルコトナク事實ノ發生ニ因リ便宜之ヲ取扱フコヽトセリ然レトモ一定ノ規定存セサルハ頗ル不便ヲ感スルヲ以テ遂ニ千八百六十七年內務省ノ認可ヲ得テ巡查隊ノ病傷基金ノ規定ヲ設ケラレ以テ今日ニ至レリ該基金中五千圓ハ豫備金トシテ備ヘ置クヘキモノトス該金庫ハ加入者及其家族ニ對シ內科的及外科的ノ病傷ヲ取扱フヘキモ產婦ニ對シテハ之ヲ取扱ハス又基金中ヨリ支出スヘキハ醫藥鑛水入浴綳帶眼鏡外科的手術等ハ勿論必要ノ場合ニハ病院ニモ入レシムヘキモノトス尙特ニ巡查隊司令長監督ノ下ニ於テ一

人ノ方面巡査部長二人ノ巡査ニシテ古参ナル者ヨリ委員會ヲ形成セリ而シテ管理ハ警視廳ニ於テ自ラ之ヲ行フベキモノトス又一人ノ負擔額ハ千八百八十三年ニ於テ之ヲ七十五錢ト定メタリ又藥舖及ヒ浴場ハ特ニ減價ヲ行フニ至レリ而シテ漸次金庫ニ於テ補助スル範圍ヲ擴張セリ第二ノ醫師ヲ迎フルカ如キ產婆ヲ呼フカ如キ按摩ヲ施コスカ如キ病院ニ送ルヘキ費用ニ支出スル如キ即チ是ナリ漸次囑託スベキ醫師モ其數ヲ增シテ四十人ノ多キニ達シ各區ニ散在シ其邊ニ住スル加入者ハ當該醫員ノ診察ヲ受クベキモノトス而シテ資金モ漸次增殖シ千八百九十七年ニ於テハ六万六千七百五十圓ノ巨額ニ達シ別ニ基本金モ一万五千圓ニ達スルニ至レリ

第二　巡査隊ノ恩給基金

巡査部長及ヒ巡査ノ職務ハ頗ル困難ナルモノナルガ故ニ其退職ノ後ニ於テ相當ノ金額ヲ支給シ以テ家計ヲ保護スルノ必要アルニ依リ千八百五十四年ニ於テ警視總監フオン、ヒンケルジ氏ハ巡査部長及巡査ヨリ毎月規則正シク俸給中ヨリ一人ニ付キ十五シルベルグローシェンヲ支出セシメ之ヲ以テ恩給基金ニ充ツルノ制ヲ定メ而シテ此基金ハ千八百四十五年四月八日ニ於テ巡査恩給金庫（シニッフマス、ツーシュツスカッセ）ナル名稱ヲ附スルニ至レリ而シテ國王陛下ハ同總監ノ此美擧ニ對シ深ク同情ヲ表シ賜ヒタルカ爲メ千八百六十一年六月一日ニ於テハ特ニ財團法人ノ權利ヲ附與セラレ以テ經濟上ノ獨立ヲシテ之ヲ永久ニ保持シ國家ノ恩給トシテ之ヲ取扱フコト、ナシ賜ヒタリ又巡査部長及ヒ巡査ハ其職ニ就クト同時ニ當然病傷基金ト同樣ニ當然恩給ニ對スル金圓ヲバ特ニ俸給中ヨリ引去ラルヽノ義務ヲ帶ブルコト、ナレリ初メ基本金ハ十万圓ヲ要スルノ計畫ニ基キ既ニ創立後三ケ年ノ後即チ千八百五十七年七月一日ニ於テ其時期到來スルニ至レリ又千八百五十七年九月廿三日ニ於テハ相當ノ超過額ヲ見ルニ至リタルヲ以テ初メテ之ガ分配上ノ實行ヲ見ルニ至レリ而シテ通常恩給權ノ取得ハ少クモ十ケ年ノ勤務ヲ終リタルノ後ニ於テ生スベキモノニシテ又之ニ相當スル期限内ハ相當ノ支出ヲナスベキハ勿論ナリトス而シテ自己ノ過失ニ基クコトナキニ於テハ五ケ年ノ勤務年限ノ後ニ於テモ其半額ニ對スル恩給權ヲ得ルコトアリトス當時恩給額ハ毎年十ケ年ノ後ニ於テハ三十六圓ニシテ三十ケ年ノ後ニハ六十圓

ニマテ達シ得ヘキモノトス

巡査隊創立後五十年ヲ經過シタル際恩給金庫ハ伯林市ニ於テ三ヶ所ノ耕作地ヲ有シ其中一ハルムメルスブルグニ於テ存在シ之ヲ以テ公共的經濟上ノ使用ノ目的ニ供スルコトナリ漸次其範圍ヲ擴張シ益々之ガ發達ヲ見ルニ至レリ即チ磨機及ヒパン燒場等ハ巡査隊及ヒ消防員ニパンヲ供給スルノ用ニ供セラレ其他尚ホ該地ニ於テハ耕作及ヒ牧蓄ヲモ營ムコトヽナレリ又新フリードリヒ街ニ於ケル耕作地ニ於テハ巡査隊員ニ燃料ヲ廉價ニテ供給セシメンガ爲メ薪置場ノ設置ヲモ見ルニ至レリ尚右ニ述タル三ケ所ノ耕作地内ニハ官廳ニ屬スベキ建設物ノ外警察士官及ヒ巡査部長巡査等ノ私宅ヲモ建設シ相當ノ代價ヲ以テ之ヲ貸與スルコトヽナレリ又其地内ニハ巡査隊ノ練習所ヲモ設ケタリ偶々千八百六十三年以來經濟界ノ不運ニ際會シ遂ニ之等ノ土地ヲバ千八百六十八年マデノ時期ニ於テ賣却スルニ至レリ若シ夫レ今日ニ於テモ尚ホ之ヲ所有シタランカ幾百万圓ノ價額ヲ有シタリシヤ必セリ

此時ニ當リ該金庫ノ管理上ニ就テモ亦之ガ變更ヲ見ルニ至レリ即チ千八百六十三年十一月十四日發布ノ勅令ニ依リ巡査隊ノ警察士官モ任意ニ之ニ加入スルコトヲ許可セラレタルノ結果千八百六十三年三月二十一日ノ規程ニヨリ最モ古參ナル警察大尉某ノ指揮ノ下ニ於テ各部隊中ニ於ケル古參ノ巡査中ヨリ特ニ十五人ノ委員ヲ設ケ共同的ニ之ヲ管理スルコトナレリ而シテ漸次該基金ハ益之ガ擴張ヲ見ルニ至リ千八百七十年ニ於テハ殆ント三十二万五千圓ニ至リ又千八百九十年ニ至リテハ殆ト六十二万圓ノ巨額ニ達スルニ至レリ從テ又恩給支給額モ漸次之カ增率ヲ見ルニ至レリ尚千八百九十三年十月以來ニ於テハ恩給基金ニ投スヘキ金額モ殆ント其倍額ニ達シ即チ毎月一圓五十錢ヲ收ムヘキコトヽナレリ又恩給額モ千八百八十一年以來ニ於テハ其額ヲ增シ三十ケ年勤務ノ後ハ毎年百十二圓五十錢ヲ受クルコトヽナレリ尚千八百九十八年ノ調査ニ依レハ該基金ハ七十万圓ノ巨額ニ達スルニ至レリ

第三　巡査寡婦救濟基金

警察大佐パツケ氏カ千八百五十三年七月六日創設シタル所ニシテ當時國家ハ尚ホ今日ノ如ク寡婦幷ニ孤兒ニ對シテハ其恩惠ヲ施サヽリシナリ該資金ハ大方有

志ノ義捐ニ依リテ成立セルモノニシテ千五百圓ノ元資金ヲ有シ之ニ對スル利子其他ノ取入ヲ以テ之ニ充テタリシカ千八百九十八年ノ調査ニ依レハ六千圓ニ達シタリト云フ

第四　警察士官支出金庫

該金庫ハ警察大佐ヘルケ氏ノ創設ニ係ルモノニシテ警察士官年額一圓ヲ支出シ巡査部長及ヒ巡査ノ寡婦ヲ救助スルヲ目的トシ別ニ一定ノ資金ヲ有セサルモノトス

第五　ホツフ氏基金

最初ハ僅カニ三百圓ノ基金ヲ有シタリシガ後創立者タル麥酒製造者ヨハンホツフ氏及ヒ其子孫ノ出資ニ依リ著シク其額ノ増加スルニ至レリ而シテ毎年五月廿日ナルホツフ氏ノ家族紀念日ニ於テ品行方正ニシテ熱心ナル巡査ニ小額ノ金員ヲ贈ルノ慣例タリ尚創立者ノ遺志ニ因リ殊ニドローテン街ニ於テ勤務スル巡査ニ出金スルコトトナレリ

第六　モール氏基金

珈琲店主人モール氏ノ創設ニ係ルモノニシテ氏ハ千八百八十六年九月死去スルヤ遺言ニ依リ遺産中ノ利子千圓ノ金額中ヨリ七十圓乃至三百圓ヲ最モ多ク動物虐待防止ノ事務ニ從ヒタル巡査部長及ヒ巡査ニ贈與スルコトヽセリ

第七　マダイ警視總監基金

先キニ述ヘタルマダイ警視總監ノ病氣全快ヲ祝センカ爲メ千八百八十三年ニ於テ某伯林市民ハ匿名ニテ一万二千五百圓ノ巨額ヲ投シマダイ基金ノ名稱ノ下ニ之ヲ義捐シ同總監ノ認定ニ任シ警視廳ニ於ケル功勞アル且有爲ナル官吏幷ニ警察官吏ノ寡婦及孤兒ニ對シ之ヲ救濟スルノ目的ニ供シタリ此創立者ノ之ニ對スル主意書ハ特ニ一般市民ノ深キ同情ヲ惹キタル所ナリ其言ニ曰ク伯林市民ニシテ公共ノ安全ノ爲メニ盡力セントスル者ヲシテ益々進ンテ之ニ加入セシメンカ爲メニ茲ニ基礎ヲ定メタルモノナリ云々

其後千八百八十四年ノ九月廿六日ニ於ケルマダイ警視總監ノ五十年ノ職務紀念祭ノ際ニ部下ノ警察官吏ハ基金擴張ノ爲メニ二千五百五十圓ノ金額ヲ寄贈セリ

暫時ニシテ基金ノ總金額ハ二万五千圓ノ巨額ニ達スルニ至レリ創立者ノ意思ニ

基キ毎年アウグスタ皇后陛下ノ御誕生日ナル九月三十日ニ於テ五百圓乃至千圓ノ金額ヲ救助金トシテ支出スルコトセリ千八百八十四年ニ於テ該基金ハ之ヲ法人ニ組織シ定款ヲ定メ伯林ノ警視廳會計係ニ於テ之ヲ保管スルコトトナレリ

第八　ヘノホ基金

伯林一市民ナルヘノホ氏ハ市吏員ヲ救助センカ爲メ基金ヲ創設シタリシカ該基金ハ後之ヲ伯林警視廳吏員ニモ分配スルコトトナレリ即チ疾病若クハ其他ノ不幸ニ陷リタル下級官吏ニ對シ毎年五回乃至八回伯林市ノ媒介ニ依リ一回五十圓計リノ補助ヲ爲スコトヽナレリ

其ノ他已ニ千八百二十四年以來警察官吏死亡基金ノ設立アリ即チ伯林警視廳ノ官吏ニ對シ其階級ノ如何ヲ問ハス職務上ノ死亡ナルト否トニ拘ハラス死亡者ニ對シテハ之ニ出金スルコトヽナレリ而シテ之カ組織ハ或一定ノ會員ニ限リ之ヲ支給スヘキモノニシテ千八百九十七年ノ末ニハ會員ノ數ハ殆ト百十人ニ及ヒ基金ハ千二百五十圓ニ達セリ之カ保管方法ハ會員ノ決議ニ基キ其互選ニ成レル會長ニ於テ之ヲ定ム先是又伯林巡査隊ノ企畫ニ成レル警察士官ノ衣服基金ノ設ア

イタ頗ル永久之カ持續ヲ見ルニ至レリ即チ該基金ハ千八百五十一年ニ於テ設ケラレタルモノニシテ毎月俸給中ヨリ十圓ヲ引去リ之ヲ貯金スルコトヽナレリ而シテ或特定ノ裁縫師ト契約ヲ結ヒ制服及ヒ其附屬品ヲ供給スルコトトナレリ千八百六十一年以來之カ加入ハ任意的トナリ遂ニ千八百六十四年ニ於テ該基金ノ廢止ヲ見ルニ至レリ

其他警察官吏カ麵麭並ニ煙草等ヲ共同シテ可成廉價ニ購入センカ爲メ之カ方法ヲ實行セリ甚シキハ巡査隊員中其道ニ經驗アル者ヲ田舍ニ派遣シ馬鈴薯其他豆類等ヲ購求シタルコトサヘアリタリト云フ之ヲ要スルニ巡査隊ニ於テハ可成共同シテ經費ノ節減ヲ行ヒ衣食ノ便益ヲ謀レリ

伯林警察沿革史　完

附錄

第一　伯林巡査隊五十年祭

千八百九十八年六月十三日今上帝王陛下宮城ニ巡登内ニ隊五十年祭ヲ行ハセラルヽニ

巡査隊員ノ出場人員

故フリードリヒ、ウヰルヘルム第四世王、伯林巡査隊ヲ創設セラレテ以來千八百九十八年六月二十三日ニ至ルマデ、實ニ滿五十年ノ星霜ヲ經タリ、是ニ於テ、今上帝王陛下ノ勅諭ニ基キ、此紀念日ヲ以テ宮城内ニ、巡査隊ノ性質タル軍隊組織ニ適合セル、祝典ヲ擧行スヘキ筈ナリシカ、此日、陛下ニハ伯林ニ在城アラセラレス、爲メニ期日ヲ繰リ上ケ、六月十三日ヲ以テ之ヲ執行スルコトトハナレリ。

此日、幸ニ天氣晴朗、午前十時、現職警察士官總員ハ、警察曹長百六十八人、巡査二千百四十人ヲ率ヒテ入場シ、城内ニ軍隊的整列ヲ爲セリ、騎馬部隊ニハ、曹長十二人、巡査百二十人徒歩臨場シ、其他軍服ヲ著セサル司法警察曹長及巡査ノ出場セルモノ、二百三十八人ノ多キニ及ヘリ。

警視總監フオン、ヴヰンドハイム、巡査隊指令官警察大佐クラウゼー、及一等副官警察大尉ビヒマン諸氏、騎レモ騎馬ニテ參列セリ。

附錄　伯林巡査隊五十年祭

軍樂隊ノ組織

宮城附近ニハ、第一、大尉團隊ヲ配置シテ、見物ノ群衆取締ニ宛テ、各城門ハ、騎馬巡査隊ニ於テ警衛セリ。

警察大尉クライン、第十一、大尉團ルツ氏ノ指揮ノ下ニ、祝典ニ要スル奏樂ノ任ニ當ラシメタリ。

祝典ニ參列シタル來賓

其他、祝典ニ參列セル者ハ、內務大臣フォン、デル、レッケー閣下ヲ始メトシ、警視廳總代、千八百四十八年就職シタル警察士官、巡査ニシテ、後退官恩給ヲ受クルモノ、巡査隊各階級ノ受恩給者總代等ナリトス、又招待ニ應シタル多數ノ來賓中ニハ伯林府知事、近衛都督、後備監督、伯林市長等ヲ見受ケタリ。

陛下ノ臨御

正十一時、帝王陛下二人ノ翼軍副官ヲ從ヘテ、馬上優ニ臨御シ給フヤ、警察大佐クラウゼー氏、「氣ヲ附ケ……敬禮」ノ號令ヲ下タシ、樂隊ハブロイセンマルシュヲ吹奏シ、士官ハ皆敬禮ヲ行ヒ、陛下ニハ辱クモ「グーテン、モルゲン、巡査隊！」ナル麗詞ヲ賜ハリ、團隊ノ前面ヲ通御アラセラレ、巡査隊中ノ老兵ニ優渥ナル御下問アリ、而シテ又舊式ノ軍服武裝ニテ整列セル巡査ヲ點檢アラセラレタリ「進メ」ノ號令ニ從ヒ、樂隊ハ贊美歌ヲ吹奏シ、參列員一同之ニ合唱セリ、是ニ於テ、兵營牧師ゲンス氏、徐ニ祝辭ヲ

兵營牧師ゲンス氏ノ祝辭

演ヘテ曰ク。

死スル迄、忠實ナレ、予ハ汝ニ與フルニ生ノ王冠ヲ以テセントハ、之レ聖ヨハンス第二章ニ明規セル所テアル。

敬愛スヘキ同胞、竝ニ同僚諸君、今日ハ、諸君カ既往五十年ノ經歷ヲ追懷シテ、當然功名ヲ誇リ得ル、諸君ノ爲メニハ實ニ名譽ノ日デアリマス、諸君カ終始市ノ爲メニ盡サレ、市ト共ニ成長發達シテ偉大ナル團隊ニナラレタ事ハ、檢閱執行ノ光榮アル今日此日カ證明シテ餘リアルノデアル、然リト雖モ、諸君ハ單ニ市ト共ニ生長發達シタルノミニ非ス、實ニ市ト一體同心ノ生長發達ヲナシタルモノト謂ハサルヲ得ナイ、言ヲ換ヘテ之ヲイヘハ、諸君ト市トハ相知ノ間柄テアリ、諸君ハ市ヲ識リ、市モ亦諸君ヲ識ル、而モ之レ單ニ面識タルノミニ止マラスシテ、互ニ心底ヲ洞察シ、相信賴セル間柄テアル、今王城ヲ圍繞セル世界ノ都府タル伯林ヲ以テ、堅牢ナル建設物ニ譬ヘンカ、實ニ諸君ハ其柱石トナルモノデアル、故ニ伯林ヲ知レル者ハ、諸君アルヲ知ルト同時ニ、或ハ諸君ヲ仰慕シ、或ハ諸君ヲ畏敬スルノテアル、凡ソ善事ノ爲メニ盡セリト自覺スル程、感情ノ高潔ナルモノハナイ、而シテ、

附錄　伯林巡查隊五十年祭

敬愛スヘキ同僚諸君、諸君ハ今日此時ニ於テ、此高潔ナル感情ヲ樂シムモ、敢テ不可アラスノテアル、然レトモ、抑モ紀念祭ナルモノハ、吾人人類ノ爲シタル事績其物ノ披露以上ノモノテアル、之ヲ詳言スレハ、吾人ヲ祐ケ、吾人ノ爲メニ爲シタル神ノ仁慈ヲ稱揚スル爲メノ祝典テアル、而シテ、吾人ハ今日特ニ神ノ仁慈ヲ稱揚セサル可ラサル時機ニ達シタノテアリマス。

吾人ハ、法律ノ永久保護者トシテ、諸君ヲ庇護セル神ニ謝セントシト欲スルノテアル、諸君ヲ祐ケテ暗憺タル夜氣ヲ冒シ、危險ヲ踏ミ、困苦ト戰ヒタル神ニ謝セント欲スルノテアル、諸君ヲシテ清廉潔白ナル知覺ヲ保有セシメ、以テ名聲ヲ嘖嘖タラシメタル神ニ謝セントト欲スルノテアル、斯ノ如ク、神ノ仁慈ヲ謝シマスル所以ハ、吾人カ、コレニヨリテ、吾人ノ神ニ對スル忠實ノ誓約ヲ、更新セントスルニ他ナラサルノテアリマス、吾人ハ神ヨリ命セラレタル、吾人ノ責務ニ忠實ナランヲ期スルノテアル、而シテ、此責務ノ容易ナラサルコトハ勿論ニシテ、吾人カ公共事務ノ爲メニハ、其責務タルヲ忘レテ、盡ササル可ラサル責務テアル、而モ或ハ優優其行路ヲ辿レル、勵勉ナル市民ノ注意ヲ引クコト無キモ、或ハ車馬行人雜閙場裡ニ於テ知レル者ナキモ、一旦、或ハ良民ヲ苦シムル者アラント カ、或ハ車馬行人ノ混雜スルニアラント カ、諸君ノ救護ヲ要スル者ニ對シテハ、其何人タルヲ問ハス、盡ササル可ラサル責務テアル、例ヘハ、一人ノ杖ニ倚レル老婆、群集ニ圍マレテ、進退スルヲ得ストセン、諸君ハ其子トナリテ、之ヲ救護セチハナラヌ、無辜ノ良民ノ、追迫セラルルモノアラハ、諸君ハ其救濟者、擁護者トナリ、又父母ニ離レテ、號泣セル兒童アリトセン、諸君ハ第二ノ父トシテ、之ヲ腕上ニ抱キ、其家鄉ニ伴ハチハナラヌ、思案ニ暮ルヽ者アラハ、諸君ハ其忠告者タラネハナラヌ、而モ一旦、破戒無殘ノ犯罪人アラハ、諸君ハ鐵腕以テ之ヲ捕ヘ、正義ノ刀刃ニ引渡サチハナラヌノテアル、要ハ、諸君ハ全市、到ル處、長官ノ指揮命令ノ使者、負擔者タラサル可ラサルノテアル、沈勇自重、苟モ輕佻ノ風ナク、忿怒ニ驅ラレス、熱情ニ偏セス、煩悶タル眼光、温温タル心情、而モ威容儼然、恰モ鑄像ノ如キ、泰然自若、激浪中ニ突兀セル巨巖ノ如キ、之レ諸君ノ責務タル "In Treue fest" カ諸君ニ示ス態度テアリマス。

斯ノ如キハ、人ニ强キルニ多ヲ以テスルモノト謂ザルヲ得ナイ、之レ予ノ能ク知レル所テアリマス、然トモ、又一方ヨリ、之ヲ見ルニ諸君ハ皆、善良ナル學校ヲ通過

セラレタルニ非スヤ、言ヲ換ヘテ之ヲイヘハ、諸君ハ、其子タルヲ感シツヽアル、否ナ、終生感スルナラン軍隊トイヘル、慈母ヲ曾テ有シタル方方テアル、故ニ勤務ノ何物ナリヤ、軍紀ノ如何、服從ノ何タリヤハ、諸君、能ク之ヲ知レルノミナラス、尚諸君ノ多數ハ、砲聲地ヲ震ハシ、硝烟天ニ漲ルノ狀ヲ知リ、而シテ、燦然タル十字章ハ諸君ノ胸ヲ飾リツヽアルノテアル、然レトモ、當時ト今日トヲ比較スレハ、其間ニ大ナル差アルヲ見ル、當時、部下ニ對スル諸君ノ命令ハ、今日自由市民ニ對スル訓示トナリ、今日帝國ノ子タル民衆ニ臨ム諸君ハ、昨ハ敵ニ向ヒタルノテアル、唯、古今ニ通シテ易ラサルハ、君ニ對スル忠、神ニ對スル忠ノ一事テアリマス、同僚諸君、死スルマテ忠實ナレ、諸君カ昔時鍛錬セル兵卒的精神ヲ保持スルト共ニ、國民ノ爲メニ忠實ナランコトヲ、予ハ切望スルノテアル、諸君ハ國民ノ一員ヲ爲スモノニアラスヤ、國民ノ幸福安寧ハ、諸君團隊ノ目的トスル所ニ非スヤ。

吾人ハ、癒著セル痼疾ヲ、茲ニ再ヒ開切スルモノニ非スト雖モ、今尚、吾人ノ心ニ浮フモノハ、今日諸君ノ體拜堂タル玉宮カ、邪道ニ迷ヘル民衆ノ爲メニ、圍ム所トナリタル時、創設サレタル諸君團隊ノ歷史テアル、年長者諸君、當時、諸君ハ王室ノ守護者テアリマシタ、而シテ、經營慘憺、爲メニ王者ノ强迫セラルルナキヲ致シタルテアル、後チ王者月桂冠ヲ戴テ凱旋スルヤ、途上歡迎セル民衆ノ愛情ハ溢出シ混雜中何等危難ヲ免レタルモ、諸君ノ力ノ致ス所テアル、斯クノ如ク喜憂向背ノ轉變定マリナキハ、歷史上常ニ看ル所ナリト雖モ、同僚諸君諸君ノ忠誠ハ、風雨ニモ、晴天ニモ、終始一貫易ラサルモノテアル、君主ノ在マス處ニハ、諸君ハ死スモ生クモ、In Treue fest テアルノテアル。

然リト雖モ、此忠誠ノ根本的不變ヲ以テ、神ノ久永ナルカ如クナサント欲セハ、忠誠ニシテ、未來ノ巡査隊ノ父タルモノノ心裡ニ之ヲ附植セヂハナラス、政府ヲ以テ神ノ下婢トナセハ、諸君ハ、諸君ノ生活ヲ飾ルニ、模範的行爲ヲ以テセヂバナラヌ。諸君ハ、天ヨリ授ケラレタル權力ノ敬重セラルヽヲ望マハ、其之ヲ與ヘタル手ニ接吻セヂハナラヌ、而シテ、妻子ト共ニ、宗教的敬神的家庭ノ好模範ヲ世ニ示サヂハナラヌ、斯ル場合ニハ、神ノ力ハ、人力ヲ祐クルノミニアラス、敏腕ナル者ニハ、特ニ萬能的手腕ヲ貸與シ、以テ其欲スル所ヲ貫徹セシムルテアラウ、我カ敬愛セル同僚諸君。諸君カ百年ノ後、權利法律ノ主宰タル

帝王陛下ノ勅語

神ヨリ呼ハレテ、現職ヲ去ルノ時期到來センカ、諸君カ前額ニ戴ケル銀冠ハ、變レテ名譽ノ金冠トナルノテアル、予ハ切望ス、死スルマテ忠誠ナランコトヲ、責務ニ忠實ニ、王ニ忠實ニ、神ニ忠實ナランコトヲ、神ハ汝ニ與フルニ生ノ王冠ヲ以テセン、アーメン。

音樂洋洋ノ中ニ參列員一同、警察大佐クラウゼ氏ノ作ニ係ル唱歌ヲ合唱セリ。

帝王陛下ニハ、團隊ニ向ヒテ左ノ勅語ヲ下シ賜フ。

朕ハ今日、卿等ノ名譽アル日ニ於テ、茲ニ伯林巡査隊ニ對シテ、祝詞ヲ宣言ス、朕カ、今日ノ祝典ト、朕及皇室ニ對スル卿等ノ態度ニ、如何ニ重ヲ置クカハ、此所ニ朕カ家ニ卿等ヲ招待セル一事ヲ以テ知ルヲ得ン、朕ハ卿等ノ祝典ヲ以テ、朕カ祝典トナスモノナリ。

卿等ハ、國家多難ノ秋ニ於テ、朕カ祖先ノ組織スル所、未曾テ普魯西王ノ瞻望ニ背カサリキ、朕ハ伯林巡査隊カ、到ル處ニ享受シツツアル、卓越セル名聲ノ、將來尚ホ卿等ニヨリテ保維セラレンコトヲ望ム、雄壯敢爲ナル兵士トシテ、勇壯確實ナル巡査隊トシテ、市民ノ忠告者ニシテ、扶掖者タリ、救護者タルト同時ニ、犯罪人ノ強敵タル、卿等カ、獻身的精神ヲ以テ、依然其職ニ耐ヘンコトヲ望ム、惟フニ、報賞ト確認トハ、決シテ卿等ニ拒絶セラレサル可シ。

就キ内務大臣ニ賜ハリタル勅語

次イテ警視總監フオン、ウィンドハイム氏ハ五十年祭擧行ニ付キテ内務大臣ニ賜ハリタル詔勅ヲ朗讀セリ曰ク。

朕茲ニ伯林巡査隊ニ、其職務ニ盡瘁セル忠誠ヲ承認シ、五十年祭紀念トシテ、別揭ノ雛形ニ依レル 1848, 1898 間ニ挿箝セル In Treue fest ナル兜章ヲ授與シ、而シテ、伯林警視總監ニモ亦其佩用ヲ許可センコト欲ス、汝、朕カ意ヲ體シテ遺計ナカラシメヨ。

朕ハ尚、警視總監ニ朕カ好意ノ表彰トシテ、朕カ肖像ノ油畫壹幅ヲ附與センコト欲ス、宜シク直接ニ之ヲ受領セヨ

ポツダーム千八百九十八年六月九日

ウィルヘルム、

警視總監フォン、ウゥンドハイム、警察大尉クライン二氏ノ進級敘任、其他勳章敘授ノ榮典ニ與レル者ノ披露後、勅語ニ對スル奉答ハ、警視總監ニヨリテ、演ベラレタリ。

警視總監フォンウインドハイム氏ノ勅語ニ對スル奉答ノ辭

今日爰ニ、意味深キ紀念日ニ際シ、警視廳ニ、殊ニ伯林巡査隊ニ、仁慈ナル聖詔ヲ賜ヒ、臣等一同、謹テ聖恩ノ至大ナルヲ奉謝イタシマス。

尊敬スヘキ伯林城ニ於テ、今日巡査隊ノ紀念日ニ際シ、神前ニ會合シ、以テ伯林巡査隊過去歷史ノ第一期五十年ノ祝典ヲ擧クルノ光榮ヲ得タルハ、臣等ノ特殊ナル榮譽トスル所デアリマス。

然レトモ、今日ハ特殊ナル壯嚴ト、特殊ナル意義ヲ有スル日ト謂ハヌハナリマセン、即チ至尊、親ラ臣等ノ隊伍ニ臨御シ給ヒ、巡査隊ノ成績ニ就キテ、麗詞ヲ下シ給ヒタルノミナラス、忠良ナル部員ニ賜フニ御尊影ヲ以テシ、又勅語 Iu Treue fest ヲ以テシ給ヒ、此等諸種ノ榮譽ニヨリテ、確認ト奬勵トヲ與ヘ給フノ聖恩ヲ辱フシタル日デアリマス。

臣ハ、臣カ部下ノ諸員ニ代テ、有難ク此榮譽ヲ奉戴シ、鞠躬盡瘁、天祐ニヨリテ、伯林警視廳ノ威信ヲ損セサルコト從來ノ如キヲ神ニ矯ツテ居ルノデアリマス。

此盛典ニ際シ、臣ハ部員一同ニ代テ、謹テ茲ニ忠誠ノ確乎タルト、奉公ノ不易ナルヲ、更ニ誓約シ奉ル、冀クハ、震襟ヲ安ンセラレンコトヲ。

臣等茲ニ聲言セン、神ヨ、願クハ帝王陛下及皇室ヲ幸福ナラシメ、庇護シ、扶持シ給ヘ。

帝王陛下、萬歲萬歲萬萬歲！

數千ノ歡聲、一度ニ起リ、皇城內ニ轟キ渡レリ、蓋シ斯ク多衆ノ感激シタル盛況ハ、宮城內ニ於テ、近來稀ニ看ル所ニシテ、其此所ニ出テタルハ、敬愛セル皇帝陛下ニ親シク感謝ノ意ヲ表シ、以テ至尊ヨリ直接ニ賜ヒタル麗詞ニ報スルト同時ニ、之ニヨリテ、恭順ノ誓約ヲ親シク更新セントスル、各個人衷情ノ表顯ニ他ナラサルナリ。

此賑ハシキ恭順ノ誓約ヲ、陛下ニハ嘉納アラセラレタル樣見受ケラレ、警察中尉シュミッド氏期年祭擧行ニ付キテ、特ニ官命ニヨリ編纂セル巡査隊沿革史ヲ自ラ奉呈シタルニ、龍顏、殊ニ麗ハシク親シク之ヲ受ケサセラレタリ。

警察大尉リツケー、及同中尉ワロイスノ二氏ニハ、陛下、手ツカラ人命救助章ヲ授與シ給フ、蓋シ、此盛典ヲ機トシテ、勳ニ二氏ハ死地ニ入リテ遂行セル人命救助ヲ賞セラレタルナリ。

數千ノ歡聲皇城內ニ轟ク

シュミッド警察大尉伯林巡査隊沿革史ヲ奉呈ス

陛下御手ヅカラ人命救助章ヲ授與シ賜フ

是ヨリ先キ、榮典授與ノ光榮ヲ受ケタル士官及隊員ハ二團ニ分レテ整列シ、御還行ヲ奉送セリ、ヤガテ、陛下ニハ、其前ヲ通御アラセラレ、尚出生地、往時ノ所屬軍隊、從軍セル戰爭等ニ就キテ、各員ニ一一御下問アリタル後、還御ノ途ニ就キ給ヘリ、殊ニ此際、名譽ヲ博シタルヲ、前掲警察中尉シュミット氏トナス、氏ハ、カノ千八百四十八年ノ三月事件ニ付キ、再ヒ歷史的淵源ニ關スル長時間ノ御懇話ヲ辱フシタリ。

榮典ノ經過

是ニ於テ、大尉團隊ハ、音樂洋洋ノ中ニ、各隊伍ヲ組ミテ、各自ノ集合場ニ退散シ、茲ニ六月十三日午後、巡査隊士官ハ、同隊ノ首席者、知人其他ノ貴賓ヲ招キテ、カイゼルホーフニ祝宴會ヲ開キタリ、會場内ニハ五十祭ニ因メル諸種ノ裝飾ヲ施シ、其入口ニハ、沿革的正服ヲ著セル巡査ヲ配置シタリ。

巡査隊士官ノ祝宴會

此際用キタル獻立書ハ、歷史畫家リッハルド、クネーテル氏ノ美術的考案ニ係ルモノニシテ、上部ニ創設者タル至尊ノ御名ヲ表ハシ、之ニ金色燦然タル月桂樹ノ輪環ヲ付シ、而シテ、種々異レル正服ヲ纏ヘル一團ノ巡査隊ヲ中央部ニ畫キテ、時代別ノ標本ヲ示シ、尚伯林市ノ紋章ヲ其下ニ描出シタルモノトス。

開會第一、祝盃ノ端緒ヲ開キタルハ、内務大臣フォン、デル、レッケー閣下ニシテ、帝王陛下ノ萬歲ヲ三呼シ、近衛歩兵第三聯隊附軍樂隊ハ國歌ヲ吹奏ス、次テ警視總監フォン、ウォンドハイム氏、言ヲ勅語 In Treue fest ニ及ホシテ帝國軍隊ト伯林巡査隊トノ關係ヲ說キ、巡査隊ニ向テ、其享受セル榮譽ヲ贍フセサランコトヲ切望シ酒盃ヲ擧ケテ、健康ヲ祝シ、伯林府知事騎兵大將伯爵フォン、ウェーデル閣下ハ、軍隊ト巡査隊トノ關係ニ付キテ特ニ演フル所アリ、而シテ伯林巡査隊ト守備隊トノ和協一致ノ依然繼續センコトヲ希望シ、祝盃ヲ傾ケ、市長ツェルレー氏ハ、例ノ無邪氣ナル態度ヲ以テ、巡査隊ノ爲メ、竝ニ其伯林市民トノ共同生活ノ爲メ、祝盃ヲ捧ケタリ。

祝宴ノ演說

警察大佐クラウゼ氏ハ、先ツ、巡査隊ニ代テ祝辭ヲ述ヘ、更ニ進ンテ、巡査隊ノ中興者タル、故警視總監フォン、ヒンケルデー氏ノ功績ヲ說キ、最後ニ、警視廳及警視總監ノ爲メニ、萬歲ヲ三呼シテ、祝辭ノ局ヲ結ヒタリ。

此爽快ナル、アラユル關係ニ於ヲ成功セル祝宴カ散會ヲ告ケタル、ハ暮色蒼然タル頃ナリキ。

フォン、デル、レッケー閣下ノ名ヲ以テ宣言サレタル、内務大臣ノ賀狀ノ外、尚ホ近衛軍

隊モ亦書ヲ寄セテ祝意ヲ表シタリ、若シ夫レ他ノ設備ニ至リテハ、警視總監ノ公報ニ依リテ、之レヲ知ル可シ。

巡査隊祝典擧行ニ關スル報告事項

一、團隊創設以降、遠逝セル警視總監及巡査隊指令官ノ墓上ニハ、本月十三日、花及花環ヲ供ヘタリ。

一、警視廳第五大門前、公衆交通ニ最近接セル廣地ノ右方ニ、大理石碑ヲ建設シ、公務ニ斃レタル巡査ノ氏名ヲ、金字ヲ以テ刻シ、一一年月日ヲ附記セリ。

一、右紀念碑ハ巡査隊士官ノ寄附ニ係リ、其建設ノ主旨ハ、尊敬的確認ヲ永遠ニ表彰シ、併セテ、忠誠的勤務共通連鎖タルヲ不巧ニ傳ヘントスルニ在リ。

一、予ハ、巡査隊ノ名ニ於テ警察中尉シュミッド氏ニ感謝ス、氏カ「伯林巡査隊五十年祭」ヲ著ハシ、團隊沿革史ヲ編述サレタルハ、啻ニ過去及現在ノ警視廳官吏ニ價値アル賜物タルノミナラズ、古來ノ精神ヲ將來ニ移植スルニモ、偉效アルモノト信スレハナリ。

一、官吏經濟上ノ位置ニ於ケル手當ニ至リテハ、法律上一定ノ制限アリ、故ニ現職曹

巡査隊祝典擧行ニ關スル報告事項

長、巡査ノ家族ニ於テ、妻子ノ疾病ニ由リ、急要ノ場合生スルモ、必シモ扶助シ得ルコトヲ保セス、士官團體諸君此ニ見ル所アリ、限リアル國家ノ財源ニシテ、不足ヲ告クルコアルモ、之レカ救助ノ途ヲ杜絶セシメサランカ爲メ、舊ツテ醵金セラレ、爲メニ一財團ヲ成スノ基本財産ヲ獲タルハ、予ノ欣喜ニ堪ヘサル所ナリ、而シテ、多數協會、社團、其他、慈善家ノ補助ニヨリテ、其資金、今ヤ、七萬九千マルクノ巨額ニ上レリ。（其後八萬五千マルクニ增加ス）

一、隊員增加シ、從テ需要增進スルモ、財團ハ當然、之レカ供給ニ當ラサル可ラサルハ勿論、尙夥多ノ支出ヲ要スル場合ト雖モ、資金ノ流入、富饒ナランヲ以テ、決シテ缺乏ヲ告ケサル可キハ、予ノ信シテ疑ハサル所ナリトス。

一、予ハ大方慈善家カ、勸誘ニ應シテ救恤セラレンヲ謝ス。

一、至尊仁慈ノ實現竝ニ團隊ノ享受セル名譽、其他ノ賜物等、一トシテ巡査隊ニ一新紀元ヲ與ヘサルナシ、巡査隊タルモノハ、誓テ君ニ忠ニ、職ニ誠ナランコトヲ期セサル可ラス。

伯林、千八百九十八年六月十五日

警視總監、フォン、ウヰンドハイム

尚、茲ニ附言スヘキハ、此紀念日ニ方リテ、警察士官扶助資金ノ設立アリタル事ナリトス、而シテ、該資金ハ巡査隊士官ノ繼續的醵金ヨリ成ルモノニシテ、一人ノ出額、年十マリクナリトス。

六月十八日、皇帝陛下御發車ニ付キ、職務上、停車場ニ在リタル、巡査隊一等副官警察大尉ビヒマン氏ハ、紀念祭擧行ニヨリ、四等赤鷲勳章、追加下賜ノ光榮ヲ得タリ。

六月九日ノ詔勅ヲ以テ御下賜アリタル御尊影ノ拜受式ハ、六月二十三日、(團隊創立日)伯林警察官吏總代、參列ノ上、警視廳入會議室ニ於テ擧行セラレ、巡査隊總代トシテ、巡査隊指令官、其副官三人、大尉四人臨場セリ。

式場ニ警視總監フォン、ウヰンドハイム氏ノ爲シタル演說左ノ如シ。

諸君、今回、伯林巡査隊五十年祭紀念ヲ永遠ニ傳ヘントノ思召ヲ以テ、御尊影ヲ下シ賜ハリタルニ付キテハ、天恩ノ辱キヲ感激ヲ致シ居ルノテアリマス、仍テ此恩賜ヲ拜受致シマスルニ付イテ、六月二十三日ヲ特ニ選ヒマシタルハ、他ノ理由アルテハアリマセン、此六月二十三日トイフ日ハ、伯林巡査隊創立ノ第五十年期ニ當ルカラテアリマス。

先王陛下カ、御裁可アリマシテ、吾等ノ記臆セサル可ラサル勅令ニヨリテ伯林巡査隊ヲ設置致サレマシタルハ、實ニ千八百四十八年六月二十三日テアリマス、故ニ今日ハ滿五十年ニ相當スルノテアリマシテ、巡査隊カ、既往五十年ノ名譽アル職務富饒ニシテ忠誠ナル職績ヲ追懷シ得ル日テアリマス。

至仁至慈ナル聖恩ハ、設立以來、未タ曾テ巡査隊ニ曠缺シタルコトナク、又警察官ニ對シテ、下シ賜ヘル聖慮ノ事例ハ、茲ニ一一枚擧スル遑アリマセン。

殊ニ十日前、吾等ニ賜ハリタル至高ノ榮譽ハ、未曾有ノ特例ニ屬シ、從テ參列者一同、忘レント欲スルモ能ハサル所テアリマス、辱クモ、普魯西王城ニ吾等伯林巡査隊ヲ召サレ、親シク第一期五十年紀念祭ヲ擧行セラレマシテ、敬愛セル帝王陛下ニ恭順ノ誠意ヲ奉呈シ、忠誠ノ誓約ヲ更新スルノ機會ヲ與ヘ賜フ、聖恩ノ至大ナル、唯タ感泣ノ他アリマセン、陛下カ確認的奬勵ノ麗詞ヲ、伯林警察ニ下シ賜ヘルヲ思ヘハ、賞功授勳ノ榮譽ヲ、吾等ニ與ヘ給ヘルヲ考フレハ、吾等ハ高潔ニシテ、壯

六月二十三日ノ御尊影拜受式

警視總監フォン、ウヰンドハイム氏ノ演說

嚴ナル祝典ノ、有力ナル感覺ニ今尚制セラレツツアリマス。

吾等カ今日、伯林巡査隊ノ誕生日ニ方リテ、警視廳會議室ニ集マリタルハ、巡査隊ニ向ツテ、再ヒ祝意ヲ表シ、併セテ御尊影拜受ヲ賀センカ爲メデアリマス、此恩賜ノ由リテ起リマシタル思想トイフハ、陛下ノ麗詞ニモアリマシタル如ク、伯林警視廳ト伯林巡査隊トカ、終始互ニ相一致團結致シマシタルコト、從テ伯林巡査隊カ主トシテ執行致シタシタル祝典カ同時ニマタ警視廳全體ノ祝典デアリマシテ、警視廳ニ隷屬スル者ハ、皆ナ溫溫タル心ヲ以テ、此祝典ニ列スル權利義務ヲ有ストイフ思想ニ基イタノデアリマス、一人ハ全員ノ爲メ、全員ハ一人ノ爲メトイフ諺モアリマスルカ、吾吾團體ニ於テモ、實ニ斯クアリタイコト、否ナ是非トモ此諺ノ如クナケレハナラヌト信シマス、然シ、吾吾團體ニ於テハ、未タ曾テ、如何ナル日ニ於テモ、不祥ヲ見タルコトナキハ、大ニ悦ハサルヲ得ナイ所デアリマス、故ニ強テ、希望ヲ求メマスレハ、鞏固ナル共同生存、及共同進取ノ必要缺ク可ラサルヲ自覺シ、其自覺心ヲ永續セシメンコト、予不肖ナカラ首席ノ名譽ヲ有シ居リマス警視廳ニ、隷屬スル者ニハ、凡テ右ノ自覺カ肉血ニ浸潤スルコト、益々多多ナラシコトヲ偏ニ希望致シタイノデアリマス、吾等ハ、吾等ニ緣故アル、重大ナル、利益及問題ノ保持安全ヲ以テ大目的トシテ、合同團結スル例ヘハ人身ノ四肢關節ニ他ナラサルモノデアリマス。

吾等ハ敬愛セル帝王陛下ニ、茲ニ更ニ恩賜ノ辱キヲ謹テ奉謝致シマス、而シテ吾等カ此會議室ニ會合シ商議ニ與ル毎ニ、御尊影ヲ拜シテ、職務ニ忠實ニ陛下ノ賜ヒタル模範ニ奬順センコトヲ戒ムルノデアリマス。

右ノ決心覺悟ヲ確メンカ爲メニ、吾等ハ呼ハント欲ス、帝王陛下、至仁至慈ナル帝王陛下、萬歲ー

大書記(兼警視總監常任代理)フリードハイム氏、答辭ヲ述ヘテ曰ク。

總監閣下、予ハ警視廳官吏ノ名ニ於テ、一言述ヘタイノデアリマス、閣下ガ巡査隊ノ祝典ニ警視廳官吏及職員ノ全體ヲ加ヘラレマシタルハ閣下ニ謝スル所デアリマス從テ、予カ之ヨリ演ヘマスル所モ、警視廳ノアラユル官吏ノ意味ニ於テ、申ソフト考ヘルノデアリマス。

抑、吾吾カ、巡査隊ト一心同體デアルコトハ、吾吾ノ能ク知リテ居ル所デアリマス、

如何ナル職ニ在リマシウトモ、苟モ職ヲ警視廳ニ奉シマスル者ハ、巡査隊ノ有力ナル腕ヲ借ルニ非サレハ、何等ノ事ヲモナシ得ナイトイフコトハ、皆ナ自覺シツアル所テアリマス、且ツ其有力ナル腕カ決シテ吾吾ニ拒否スル樣ノコトナキヲモ、熟知シテ居ルノテアリマス。

皇帝陛下、將來ノ警語トシ、過去ノ確認トシテ、勅語 In Treue Fest ヲ賜ハリマシタルハ、巡査隊ニハ無上ノ恩惠ト云ハヽ云ヒ得ラレマセン、然シ吾吾モ亦此勅語ヲ奉戴シ致尊及職務ノ爲メニ盡サンコトヲ、予ハ今茲ニ警視廳官吏全體ノ名ニ於テ明言至シテモ敢テ不當テハアルマイトト信シマスル。

總監閣下、閣下ハ、祝典ニ際シテ皇城内ニ於テ、警視廳官吏ヲ代表シテ、帝陛下ノ玉手ニ忠誠ノ誓約ヲ更新サレマシタ、乃チ予ハ信スルノテアリマス、警視廳官吏タルモノハ、如何ナル位地ニ在リマシヤウトモ、閣下ノ爲メニ、此誓約ノ履行ヲ容易ナラシメ、且ツ之ヲ貫徹セシメント祈ラナイモノハナイト信シマス、吾吾カ、此會議室ニ於テ、始メテ閣下ノ馨咳ニ接シ、閣下新任ノ現職ノ爲メ、忠實ニ微力ヲ盡サンコトヲ誓約致シマシタルハ、三年前ノ事ニ屬シマスカ、將來ニ於キマシテモ、吾

吾閣下ヲ戴カン限リ、マタ同一ノ誓約ヲ致シマスルノテアリマス、冀クハ、心ヲ安セラレンコトヲ。

各團隊ノ祝典ハ、士官參列ノ上、六月二十日ヨリ七月二日ニ至ル間ニ於テ執行セラレタリ、就中、第二、第七、第十二大尉團隊、騎馬部隊及後備隊ニテハ、半數交代ニテ二日間執行シ、其他ノ團隊ニテハ、部員全體參列シタルヲ以テ、祝典中ハ近接大尉團隊ノ交代ヲ仰キタリ。

祝典ノ設計ハ、首席者ノ醵金ニヨリテ補助セラレ、祝辭、演說、餘興等ノ催シアリタリ、而シテ、主トシテ隊員ヲ以テ之ニ當ラシメ、之ヲ助クル唱歌隊、音樂隊ノ如キモ亦隊員ヲ以テ編成セリ、何レノ團隊ニテモ、家族ノ參列ヲ許シ、大抵屋外ニ於テ、イト靜肅ニ催サレタリ、團隊ニシテ、警視總監、其他警視廳高等官臨場ノ榮ヲ受ケタルモノ尠ナカラス、就中、六月二十六日ヲ以テアイスケルレル、エタプリスマンニ擧行セル第十二大尉團隊ノ祝典ニハ内務大臣閣下ノ臨場アリ、式場警視總監ハ指令官ト共ニ官吏ノ團欒中ニ列セラルルコト多時、數年前ノ創設ニ係リ、此種ノ團隊中最古キ團隊附屬音樂隊ノ、利益ノ顯著ナルヲ稱揚セラレタリ。

表面ニハ、プリードリヒ、ウヰルヘルム第四世王、皇帝ウヰルヘルム第二世ノ半身像裏面ニハ創設者タル至尊ノ御名ヲ、王冠ヲ以テ飾レル、團隊ノ徽章ニ、桂月樹ノ輪環ヲ施シタルヲ描出シ、之レニ適應セル題辭ヲ附記シタル五十年祭紀念章、私設商會ニ託シテ、製造發賣セラレ(伯林マチオイ街三、オットー、ノルテー商會注文ニ應ス)尚警察中尉ウヰッシュフーゼン氏ノ撮影ニ係ル宮城内祝典ノ寫眞モ亦廣ク公衆ノ需ニ應スル所ナリ。

五十年祭紀念章

宮城内祝典ノ寫眞

著者ノ所感

祝典ノ歡聲ハ響ヲ止メヌ、今ヤ伯林巡査隊ニハ眞面目ナル新問題ヲ發生セリ、而シテ、カノ名譽及確認ヲ有スル盛典其物ハ事過去ニ屬シタリト雖トモ、其爽快ナル紀念ハ永ク巡査隊ニ大紀念タル可シ、冀クハ聖旨ヲ奉體シテ、益々進ンテ止マサランコトヲ、而シテ團隊ノ名譽章ヲ以テ、將ニ來ラントスル百年祭ノ爲メニ、益々燦然タラシメンコトヲ至尊ノ警語ニ謂ハスヤ。

市民ニハ忠告者ニシテ扶掖者タリ、救護者タリ、犯罪者ニハ强敵タリト。

著者熟ラ推ミルニ我邦ニ於テハ國体自カラ彼國ト異リ我忠勇ナル警察官ニ敕語ヲ待タズシテ當然其戰ニ忠ナルベキハ自明ノ理ニシテ他山ノ石以テ磨クベカラザリ

第二　獨逸普魯西王國警察ノ組織ニ就テ

我日本ノ統一的警察制度ハ佛國ニ冠ス

獨逸帝國ニ於テハ各聯邦國ガ個個獨立ニ警察組織ヲ形成ル帝國全體ヲ通ジテ我邦ノ如キ統一的ノ制度ヲ見ルニ至ラサルハ、國家ノ成立狀況彼我ニ於テ頗ル異ル所アルカ爲メナリ、去レバ此點ニ就テハ我帝國ノ統一的警察ハ遙カニ彼ニ優ル所アルヲ以テ、我警察タルモノハ此點ヲ利用シ世界ニ卓絶セル警察タルニ恥ザル樣努力セサル可ラス、余ハ是ヨリ獨逸國中最モ警察組織上整頓ノ聞ヘアル普魯西王國警察ノ制度ニ就テ述ベント欲ス。普國ニ於テハ警察ハ我邦ト同ク普魯西王國内務省ノ系統ノ下ニ屬シ内務省ニハ次官、部長、勅任參事官若干人其他補助吏若干人下級吏員等ノ設アリ。我邦内務省ト普國内務省ト異ル點ハ彼邦ニ於テハ宗教警察及保健警察ハ内務省ニ屬セズシテ廣義ノ文部省(宗教及醫務モ含ム)ニ屬シ、又營業警察ノ多數ハ商務大臣ニ屬シ、獨リ浴場、旅店、居酒屋、興行人、俳優等ノ如キハ内務省ニ屬スルノ點ナリトス(千九百二年七月一日ユーテグレー普國行政法第三一六章)

普國ノ内務省

普國ノ州

普國ニ於テハ内務大臣ノ指揮ノ下ニ於テ十二州三十四縣ノ設アリ、州ノ最モ大ナルモノハ萊因州ニシテ五百萬以上ノ人口ヲ有シ、又其最モ小ナルモノハシュレス

附錄　獨逸普西王國警察ノ組織ニ就テ

ウイヒホルスタイン州ニシテ百十萬計リノ人口ヲ有セリ、而シテ州ニ在リテハ州知事、縣ニアリテハ縣知事之ガ監督ノ責ニ當ルモノトス。

州ノ制度

州ノ制度ハ我邦ニ於テ見ザル所ニシテ州知事ノ行フベキ事項ハ例ヘバ暴動ノ起リタルルトキ之ニ對スル緊急處分ノ如キモノニシテ、其他特ニ法律ニ於テ規定セルモノニ對シテモ之ヲ行フハ勿論ナリ。

州知事

州知事ハ縣知事ヲ監督スベキモノニシテ州ニハ亦州參事會ノ設アリ、參事會員ハ七人ノ會員ヨリ成リ知事之ガ議長トナリ州廳ノ參事官一人其他ノ會員ヨリ成立ス

縣知事

縣知事ハ郡長ヲ監督スベキモノニシテ縣ニハ亦縣參事會ノ設アリテ七人ノ會員ヨリ成リ、縣知事議長トナリ其他高等官二人及四人ノ會員ヨリ成立ス

州參事會及縣參事會

州參事會及縣參事會ハ議決官廳タルト同時ニ行政裁判所タルモノナルガ故ニ、其中一人ノ會員ハ行政裁判官タル資格ヲ有シ終身官トス其意蓋シ司法官ト同樣ニ其位置ノ鞏固ヲ保證シ公平ノ判斷ヲナサシメンガ爲ナリ。

次ニ縣知事ハ鑛山警察及鐵道警察ノ如キ部分ヲ除クノ外一般警察事務ニ就キ之ヲ管掌スルモノトス。

州及縣ノ警察令

船舶、水路、港務等ノ警察ハ自治體ノ警察ニ屬セズシテ州知事及縣知事ニ屬スベキモノナリ、尙日曜、祭日等ニ於ケル外形上ニ亘ル祭典方法ニ關シ州令及縣令ヲ發スルコトモ州知事及縣知事ノ職權ニ屬スト雖尙此ニ附記スベキコトハ一般警察及地方警察ノ區別ナリ、此區別ニ依リテ其種類ヲ分ツトキハ州知事及縣知事ノ行フベキ警察ハ共ニ一般警察ニ屬スベキモノナリ。

郡ノ警察

次ニ縣廳ニ次ギ警察權ヲ施行スルモノハ郡ナリ、郡警察ハ近時ニ於テ發達セルモノニシテ郡長ハ素ト縣廳トノ委員ナリシモ、終ニ獨立シテ警察權ヲ有スルニ至リシナリ、又郡役所ニハ通常郡長ノ外尙一人ノ高等官ノ設アリ、而シテ其職ノ重ナルモノハ町村ノ警察ヲ監督シ警察規則ヲ發令スルコヲ得尙其外郡長ノ職權ニ屬スベキモノハ獸畜警察狩獵警察等ナリ(ヒューアグレー行政法第二五章)

郡參事會

郡參事會ハ郡長ノ外、郡會ガ郡民中ヨリ撰ビタル會員六人ヨリ成立ス、郡長ハ參事會ノ會長ニシテ郡參事會ハ官治及自治行政機關ニシテ同時ニ又下級ノ行政裁判所ナリ。

以上述ヘタル所ニ依ルトキハ、行政裁判所ハ州參事會縣參事會及郡參事會ニシテ尙伯林ニ於テ特ニ普國全體ニ通スル高等行政裁判所ノ設アリ。

地方警察處分ニ對スル訴願

次ニ法律ニ別段ノ規定ナキ限リハ地方警察官廳ノ處分ニ對シ訴願ヲ提起シ得ベキモノニシテ、其場合ハ左ノ如シ。

(一)町村及一萬以下ノ人口ヲ有スル場所ニ於ケル地方警察官廳ノ處分ニ對シテハ郡長ニ、又郡長ノ裁決ニ對シテハ縣知事ニ訴願ヲ提起シ得ベキモノトス。

(二)市制ヲ布キタル市(伯林ヲ除ク)竝ニ一萬以上ノ人口ヲ有スル市郡以外ノ場所ニ於ケル地方警察官廳ノ處分ニ對シテハ縣知事ニ又縣知事ノ裁決ニ對シテハ州知事ニ訴願ヲ提起スベキトノトス。

(三)伯林ニ於ケル地方警察處分ニ對シテハ州知事ニ訴願ヲ提起シ得ベキモノトス最終訴願ノ決定ニ對シテハ高等行政裁判所ニ訴訟ヲ提起シ得ヘキモノトス(千八百八十三年七月三十日發布地方行政規則第二十七條)又右ニ述ベタル場合ニ於ケル訴願ニ代ユルニハ行政訴訟ヲ以テシ得ヘキモノトス即チ(一)ノ場合ニハ郡參事會ニ(二)ノ場合ニハ縣參事會ニ對シ起スヘキモノナリ。

警視廳設立ノ場合

次ニ市ニ於テハ市長警察權ヲ施行スルヲ以テ原則トス、而シテ市ニ於テモ市參事會ハ會長タル市長ト市會ヨリ選ヒタル會員四人ヨリ成立ス。

人口一萬以上ノ人口ヲ有スル市ニ在リテハ內務大臣ノ許可ヲ得テ特ニ王國的警察官廳ヲ設ルコトアリ(千八百五十年地方行政法第二條)而シテ此場合ニ於テハ警察費ハ國庫ニ屬スヘキモノナリ、市ニ於テモ亦其大小ニ依リ異ル所アリ一人平均參拾七錢乃至壹圓貳拾五錢ヲ負擔スベキモノトス、其中官吏其物ニ屬スヘキ種種ノ費用ハ國庫ニ屬スヘキモノニシテ、行政ノ設備ノ爲ニ要スル費用例ヘハ梅毒病院ノ如キ强制治療院ノ如キハ然ラサルモノトス。

普國ニ於ケル警視總監ノ總數

此場合ニ於ケナル王國的警察官廳ハ之ヲ稱シテ警察廳(ポリツアイプレヂデユーム)又ハ警察管理局(ポリツアイヴヰルクチオン)ト稱シ、警視廳ノ長官ハ之ヲ警察總監(ポリツト・アイレクルデ)ト稱シ、警察管理局ノ長官ハ警察長官(ポリツアイプレヂデント)又ハ警視總監ト稱ス、又通常警察管理局ニアリテハ其長官ハ就任後二三年間ハ之ヲ警察長官ト稱シ、而シテ後警視總監ノ名稱ニ改ムルヲ例トス。

普魯西ニ於テハ警視廳ノ總數ハ八箇所ノ多キニ達ス、ベルリンノ如キケーニヒスベルダノ如キステツチンノ如キマグデブルグノ如キハンノベル

ノ如キフランクフルト、アム、マイン、ツノ如キケルンノ如キ是ナリ尚警察管理局ノ設ハ十箇所以上ニ亘レリ、ダンチヒノ如キボーゼンノ如キポツダムノ如キキールノ如キカツセルノ如キウイスバーデン、ノ如キアーヘンノ如キコブレンツノ如キハナウノ如キフルダノ如キシエーンベルグノ如キリクツスドルフノ如キ是ナリ。

警察官區

普國六州ニ於ケル千八百七十二年十二月十三日發布ノ郡制ハ其後千八百八十一年三月十三日ニ於テ改正塡補セラレタリシカ、其中ニ町村警察上ニ關シ各郡內ニ於テ市ハ之ヲ例外トシテ他ハ之ヲ官區（アムツベツケル）ニ分タルベキ規定アリ、而シテ官區內ニ於ケル行政機關（アムツアウスシユツス）ハ官區長（アムツベツケル）及官區參事會（アムツアウスシユツス）ナリ（第四十七條及第五十條）官區參事會ハ官區長ノ發令權ニ屬スル警察命令ヲ評議シ得ヘキモノトス（第五十二章）又町村ニ依リテハ之ヲ合併セズシテ一官區ヲ形成スルコトアリ、此場合ニ於テハ郡參事會ノ決議ニ基キ町村長ガ同時ニ官區長タルヘキモノトス（第五十七條）サレバ官區ノ設アル場合ニ於テハ町村長ハ別ニ警察權ヲ有セザルモノニシテ管區長ノ命令ヲ執行シ臨機ノ處分ヲナシ得ヘキモノトス、乍然又右ニ述ベタル六州以外ノ或州ニアリテハ町村長ヲシテ直接ニ警察權ヲ行ハシムルモノナキニシモアラス。

總リニ臨ミ執行警察官ノ事ヲ一言セン、執行警察官ハ一般ノ官吏權限法ニ依ルノ外種種ノ規定アリ、拘引搜査、逮捕ハ勿論尚ホ必要ノ場合ニハ武器ノ使用ヲモ許サルヘキモノトス。

次ニ普國ノ執行警察官ハ之ヲ憲兵巡查及町村警察吏ノ三種類ニ分ツコトヲ得（ヒユーデアクレ第二一六章）

憲兵ハ服務上ニ關シテハ陸軍武官ニ異ルナキモ其職務上ニ關シテハ特ニ郡長ノ指揮ノ下ニ立ツヘキモノニシテ、又町村警察ニ對シテハ其請求アリタルトキニ於テ之ニ應スヘキモノトス。

巡查ハ千八百四十八年始メテ之ヲ伯林ニ置キタルニ始マリ自餘ノ都市ニモ之ヲ設クルニ至レリ、伯林ニ於テハ警察士官トシテ警察大佐、警察少佐、警察大尉、警察中尉等ヲ初メトシテ曹長（巡查部長ニ該當ス）等ノ設アルモ其他ノ市府ニ於テハ警部及警部補ノ設アルノミ、而シテ警部補ハ刑事警察車輛警察等ノ爲ニ特ニ之ヲ設ケ若クハ一定區域內ニ於テ其職責ヲ盡スヘキモノトス。

町村警察官吏ハ警察使僕ト稱シ既ニ兵役ヲ畢ヘ尋常官吏ニ就職

シ得ル權利ヲ有スル者ニ限リ三箇月乃至六箇月間試驗ヲ行ヒ其任命ニ就テハ縣知事ノ認可ヲ要スヘキモノトアル、亦其監督ハ、中等ノ都市ニアリテハ警部補ニ依リ尚大都市ニアリテハ其他警部ヲシテ監督ノ任ニ當ラシム（ヒューデグレー行政法第二一七章乃至第二一九章）

第三　伯林警視廳組織ノ概要

伯林市内ニ於ケル一般警察及地方警察ハ悉ク警視總監ノ統一的直轄ノ下ニ立ツモノナリ、但シ道路建築警察及學校警察ハ例外トシテ市ノ行政ニ委任セラレタルモノナリ、警視總監ハ其他ジャルロッテンブルグ、シエーネベルグ、リックスドルフ等ニ於ケル一般警察ノ長官タリ、其他警察總監ハ一般及地方警察ニシテ刑事及風俗ノ兩警察竝ニ其他ノ警察的行動ヲ視察スルコトニ就テハ、ニーデルバルニーム及テルトー兩郡内ニモ其職權ヲ及ホス可キモノナリ、尚或警察上ノ行動ニ付テハ警視總監ハ伯林郊外ニ於テモ其管轄權ヲ有セリ、其他警視總監か伯林市内ニ於ケル管轄スヘキ職務上ノ範圍ハ甚タ廣シ。

（一般警察ト地方警察）

伯林警視廳ニハ九部ノ設アリ

警視廳ニ於ケル事務ヲ處理ス可キ爲メ廳内ニハ同等ノ權限ヲ有ス可キ多クノ主部ノ設ケアリ、殊ニ第一部第二部ノ甲第二部ノ乙第三部乃至第七部其他消防ニ就テハ特別ナル獨立的行政部ヲ組成セリ、而シテ此等事務ノ分配ニ就テハ千八百三十年七月二十六日ノ官制ニ基クモノニシテ、該官制ハ千八百五十四年十二月二十七日千八百六十一年一月二十一日及ヒ千八百六十三年六月十三日ノ勅令ニヨリ之カ變更ヲ見ルニ至レリ、又千八百三十年以來ノ行政上ニ新タナル立法ヲ試ミ且ツ種種ノ之ニ關スル規定ヲ設ケタルカ爲メ、各部ノ掌握ス可キ職務ノ範圍モ又頗ル之カ變更ヲ見ルニ至レリ、殊ニ注意ス可キハ政治警察ニ就テハ之ヲ特別ナル一部ニ組成シタル事竝ニ千九百一年ニ於ケル行政整理ハ從前ノ第一部及第二部ノ變更ヲ見ルニリ至タルコト是ナリ。

（千八百三十年七月二十六日ノ官制）

第一部ハ警察事務其他保險等ヲ取締ル

第一部ニ於テハ部員ハ特ニ高等官ヲ以テ之ニ充テ警視總監ノ諸間府タリ、又從來ノ多クノ管掌事務以外ニ於テ第二部ノ甲及乙ニ屬セサル一般及地方警察事務ヲモ之ヲ監督ス、其他懲戒處分及强制執行事務等ニ就テモ第一部ハ之ヲ決定ス可キモノナリ、第一部ニハ二人ノ部長アリ、其中上席部長ハ警視總監ノ代理トシテ警視廳全體ヲ統轄スヘキモノナリ、其他七人ノ高等行政官一人ノ書記官兼醫務官及二人ノ書記官兼建築事務官アリ、又該部ニハ五人ノ保險監督官竝ニ一人ノ建築監

督官之ニ從屬ス可キモノトス、尚劇場事務ヲ總轄スル爲メニハ二人ノ高等行政官吏ヨリ成立セル一課ノ設アリ。

第二部甲　ハ主トシテ衞生警察、獸畜警察ノ事務竝ニ社會政策事項其他其七部ニ屬セサル結社事項竝ニ富籤、救助事務、徽發事項ヲ掌ル可キモノトス、該部ニハ部長トシテハ高等書記官之ニ當リ其他部員ニハ二人ノ高等行政官吏、一人ノ書記官兼醫務官竝ニ一人ノ獸醫アリ、尚九人ノ警察事務官及警察試補之ニ屬ス又衞生警察上ニ對スル獨立機關トシテハ王國的衞生委員竝ニ其常設委員之ニ從屬ス。

第二部乙　ノ掌ル可キ事務ハ道路警察交通警察營業警察ニシテ一般警察及地方警察ニ屬スルモノ悉ク之ニ屬シ高等書記官之ニ部長タリ、其他二人ノ高等行政官吏一人ノ書記官兼營業事務官一人ノ技師補及六人ノ警察事務官及警察試補之ニ屬ス。

第三部　ハ建築警察ヲ管掌スヘキモノニシテ高等書記官之カ部長タリ、其他三人ノ書記官兼建築事務官及一人ノ建築監督官アリ。

第四部　ニ於テ掌ル可キハ千八百三十年ニ於ケル如ク治安警察刑事警察風俗警察等ナリトス、而シテ部長ハ之ヲ三大課ニ分ツ、即チ一般ノ治安警察及ヒ刑事警察竝ニ風俗警察ニ屬スヘキモノ是ナリ、又一般治安警察事務ハ五人ノ警察事務官之ヲ管掌シ、部長事故アルトキハ部長ノ代理ヲ行フ可キモノトス、又刑事警察事務ニ就テハ之ヲ五係ニ分チ其中ノ二係即甲ノ一及甲ノ二ハ土地ニ依リテ之ヲ區別シ、重罪及ヒ輕罪ニ就キ之ヲ取扱フ、次ニ乙ノ一及乙ノ二ノ二係ハ習慣犯人ニ付キテ之ヲ追求ス可キ任務ヲ有シ、又丙ナル係ハ特別ノ智識ヲ要ス可キ犯罪事項ヲ取扱フヘキモノトス。

各係ノ長ニハ一人ノ刑事監督官アリテ多クノ刑事警部之ニ從屬ス、而シテ全警部ノ總數ハ三十八人ナリトス、而シテ風俗警察ニ就テハ一人ノ刑事監督官之ヲ監督シ刑事監督官事故アルトキハ一人ノ刑事警部之カ代理者タリ。

第五部　ハ旅行券及外國人事件ニ就キ之ヲ監督シ部員ハ當時一人ノ警察事務官部長トシテ之ニ當リ其他六人ノ警察事務官及警察試補アリ。

第六部　ハ違警罪ノ事件ヲ取扱フヘキモノニシテ、一人ノ警察事務官之カ部長ノ

事件ヲ掌ル

任ニ當リ其他四人ノ警察事務官及警察試補アリ。

第七部ハ高等警察ヲ掌ル

第七部ニハ高等警察之ニ屬シ出版警察ノ書記官之ニ當リ其他二人ノ高等行政官一人ノ警察事務官竝ニ一人ノ警察試補アリ。

以上述ヘタル七部ノ外ニ、警視總監指揮ノ下ニ九人ノ高等行政官ヲ以テ組織セラレタル勞働者ノ保險事務ニ關スル審判委員ノ設アリ。

勞働者ノ保險事務審査委員

其他特別事務トシテハ會計係人口調査係及官房等ノ設アリ、會計係ニハ十三人ノ會計吏員アリ、人口調査係及官房ニハ一人ノ警察事務官之ヲ監督ス其他警視廳中獨立シタル位置ヲ有スヘキモノハ警察監獄ニシテ、上級監督官之ヲ監督ス。

會計事務人口調査係官房

抑モ既往十箇年間ニ於テハ判任官ノ組織等ニ於テモ頗ル大ナル變更ヲ見ルニ至レリ、則チ千九百一年ニ於テハ警視廳ハ判任官トシテ二百三十四人ノ警察書記十五人ノ技術的事務員(中此ニハ十一人ノ建築書記ヲモ含有ス)九十五人ノ人口調査係助手三十六人ノ官房書記九十八人ノ雇員百人ノ使僕執達吏員監視員等竝ニ二十一人ノ筆耕等ニシテ總計五百四十九人トナス但シ此中ニハモアビドニ於ケル

判任官ノ總數

監獄吏員六十一人ハ之ヲ含有セス、因ニ云フ該監獄ハ伯林警視廳ノ創設後五十年ヲ經テ始メテ警視廳ノ監督ニ屬セシモノナリ。

技術的在區吏員

技術的在區吏員トシテハ警視廳ノ指揮ノ下ニ十三人ノ區醫、四人ノ裁判醫、五人ノ獸醫十一人ノ察察獸醫九人ノ警察獸醫總監補、十一人ノ建築監督官及十一人ノ建築監督官補其他五人ノ營業監督官助手二人ノ女性ノ營業監督官助手トス。

第八部トモ稱スヘキ巡查本部

右ニ述タル各部外ニ執行警察機關トシテ巡查本部ノ設アリテ、其組織ハ警視總監直接指揮ノ下ニ於テ警察大佐之カ指揮ノ任ニ當ル、又巡查本部ニ屬スル行政事務ニ就テハ第一部ニ於テ之ヲ取扱フ可キモノトス、又巡查隊ハ之ヲ三ツノ警察社團及十二ノ方面監督署竝ニ百二ノ警察署ニ之ヲ分チ尙此外ニ騎馬部及豫備部ノ設アリテ各警察大尉ノ指揮ノ下ニ立ツヘキモノトス、其他四ノ專門的執行機關アリ則チ第一ニハ水上警察官廳第二ニハ營業監督廳第三ニハ車體監督廳第四ニハ點火、町名取調軍人事務救濟事務等ヲ掌ル官廳是ナリ、巡查隊ノ職員ハ左ノ如シ、

巡查隊ノ職員

警察大佐	一人	
警察少佐	三人	
警察大尉	十九人	
警察中尉	百九十三人	

巡査部長　四百十二人　巡査　四千八百八人

騎馬巡査部長十八人　騎馬巡査　二百二十二人

其他特別執行吏員トシテ第四部タル刑事警察部ニ屬スヘキモノハ即チ六八ノ刑事監督官、三十九人ノ刑事警部、三十四人ノ刑事巡査部長、三百一人ノ刑事巡査、百二人ノ警察署所屬刑事巡査部長及百二人ノ警察署所屬刑事巡査、其他伯林近郊ニ對シテハ一人ノ刑事警部七人ノ刑事巡査部長及二十七人ノ刑事巡査ノ設アリ。

又第七部ナル政事警察部ニハ其執行警察ノ目的用トシテハ十人ノ巡査部長、百二十三人ノ巡査之カ求メニ應シ何時ニテモ巡査隊中ヨリ之ヲ使用シ得ヘキモノニシテ、此部ニ於ケル高等執行官吏トシテハ一人ノ警察事務官之カ長トナリ十人ノ刑事警部之ヲ補佐ス。

次ニ特別ナル執行機關トシテ警視廳ニ從屬スヘキモノハ消防部是ナリ、消防部ニ在リテハ消防司令長之ニ長タリ、消防全隊ハ之ヲ五隊及十八小隊ニ分チ吏員ハ一人ノ消防司令長、六人ノ消防監督官、十五人ノ消防監督官補、七人ノ曹長、十二人ノ上級機關手、七十七人ノ上等消防手、六百八十九人ノ消防手及四十一人ノ喇筒係等ナリトス、（最近ノ伯林消防報告ニ依ルトキハ喇筒手ハ之ヲ十七人ニ減シ消防手ハ七百八人トナセリト云フ）其他消防部ニハ中央電信係ノ人員悉ク之ニ從屬ス、即一人ノ電信技師之ニ長トナリ、三十五人ノ吏員之ニ從屬ス。

以上述ヘタル警視廳ノ組織ハ之ヲ千八百二十二年九月十八日及千八百三十年七月二十六日ノ官制等ト之ヲ比較スルトキハ最近十年間ニ於テ著シキ進歩ヲ見ルニ至レリ、初メ警視廳ノ成立スルヤ今日ノ如ク伯林市ハ未タ大都會タルニ至ラス、其交通モ頗ル稀疎ナリシモ今ヤ伯林市ハ其繁盛ニ伴ヒ獨逸帝國ノ首府トナリ世界中屈指ノ都市タルニ及ヒ、獨逸帝國中警視廳ノ組織ニ就テハ他市ヲ凌駕スルニ至レリ。

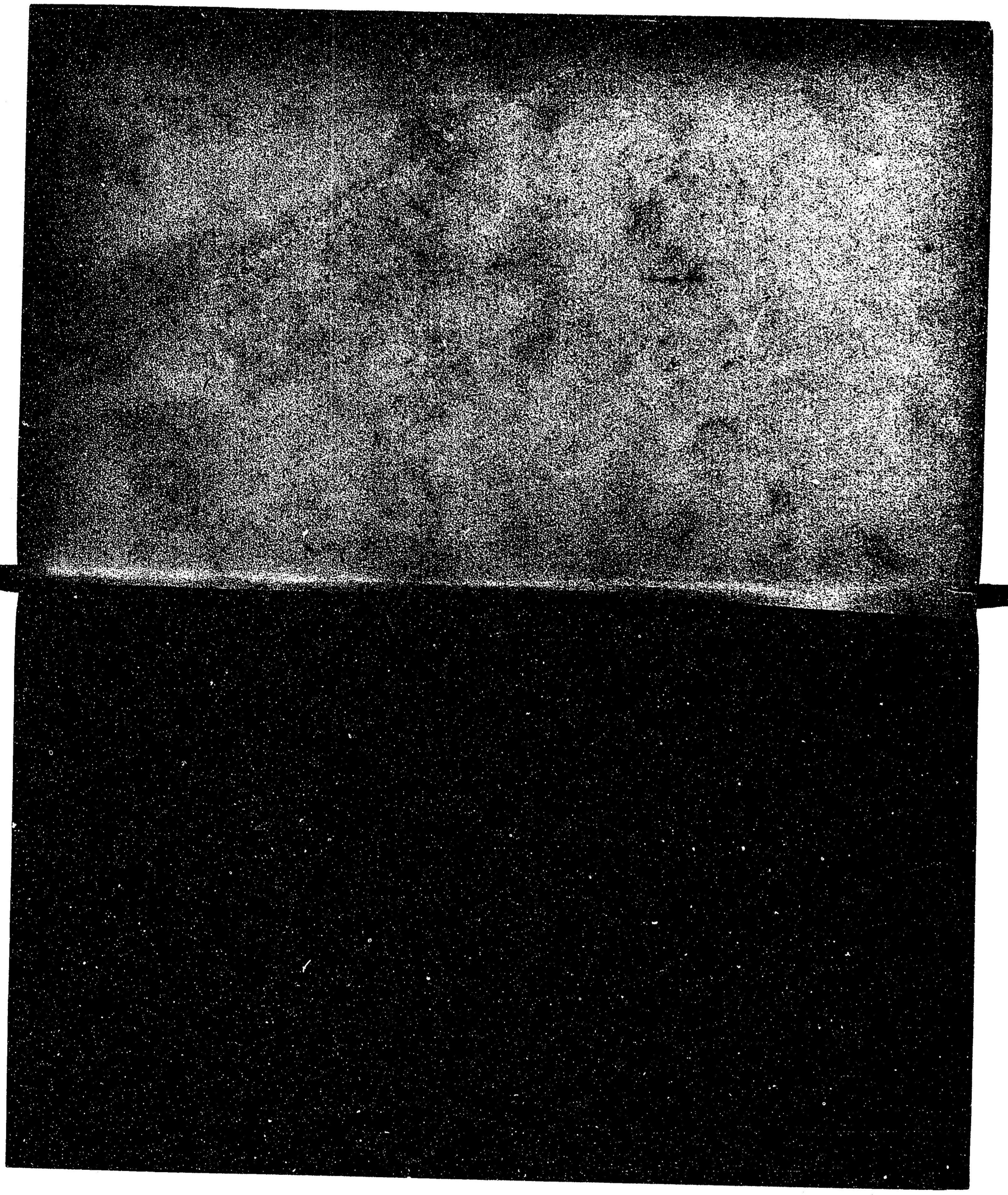
明治三十六年十二月十日印刷
明治三十六年十二月十三日發行

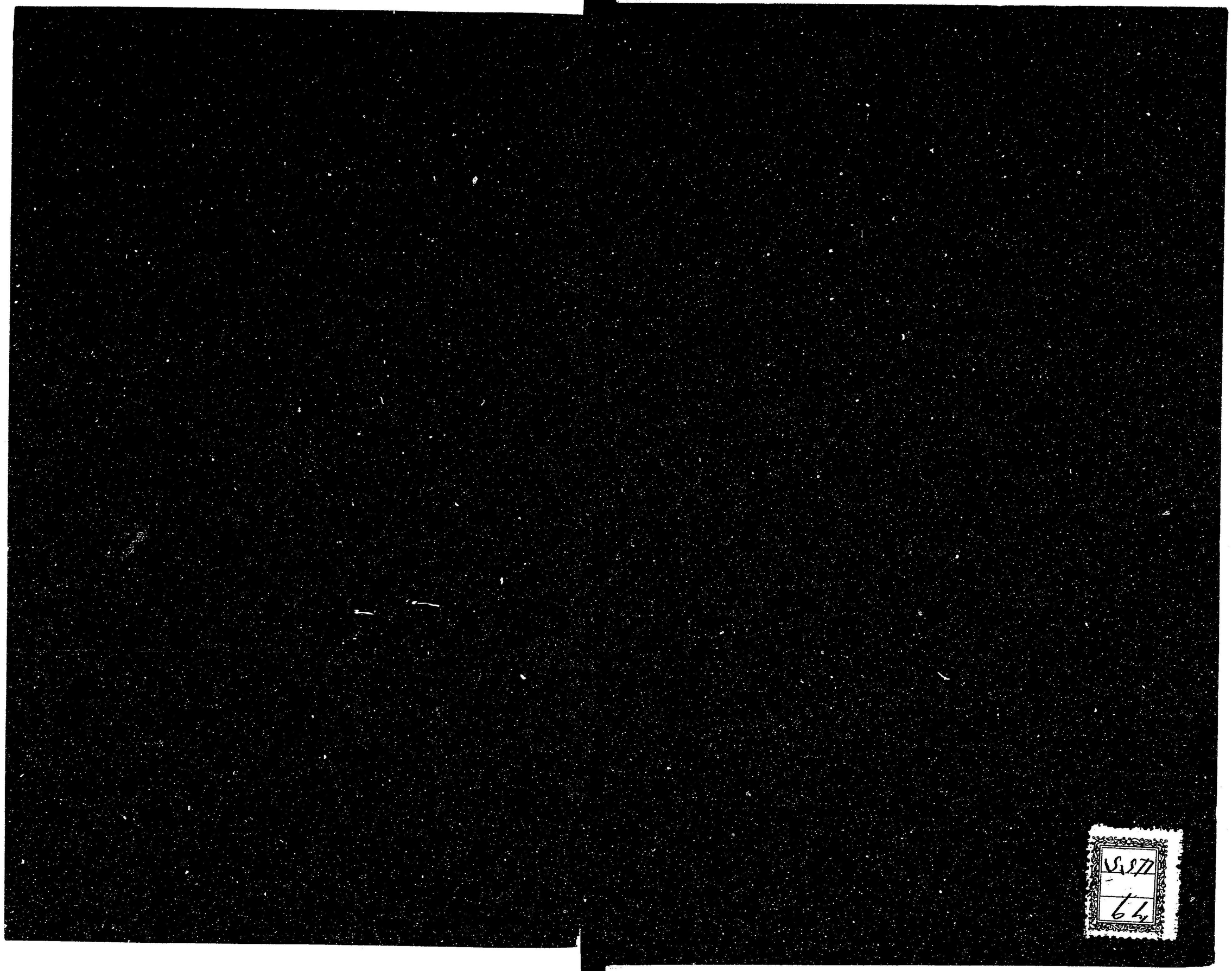
伯爵警察沿革史奥付
定價金參拾錢

版權所有

著作者　東京市麹町區八重洲町二丁目四番地　松井茂
發行者　東京市神田區今川小路三丁目四番地　津田利八郎
印刷者　東京市神田區表神保町十番地　今成温平
印刷所　東京市神田區表神保町十番地　今成活版所
發行所　東京市神田區今川小路三丁目四番地　警察監獄學會

479
455





029449-000-8

79-455

伯林警察沿革史

松井　茂／著

M36

BAF-0389